令和８年度　　高等部　　１年　（Ⅱ課程A）　国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部１学年　Ⅱ課程Ａ類型　14名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。（高１段階） (思判表力)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書や言葉に親しみを持ち、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間	70	(知及技)社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(高１段階) (思判表力)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	自分の意思を言語化しよう 他者を意識した言葉を用いよう	・自分自身の体験等を振り返り、出来事や感情を言語化して相手に伝える。 ・他者の意見や考えに触れ、自分の考え方や価値観を広げたり、他者理解をするための話し合い活動を行う。 ・意識を自分の外にも巡らせ、世の中の出来事を捉えて社会に目を向ける。
1学期	5	(知及技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。(高１段階) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	自己紹介をしよう 自分のことを伝えよう 相手のことを知ろう	・簡単な文章やイラストなどを用いて、読み手に相手に伝わるように自己紹介シートを作成する。 ・自分の好きなことや得意なこと、長所などの情報を簡単にまとめ、仲間や先生などへ紹介をする。 ・友達の自己紹介シートを見たり、自己紹介を聞いたりして、気づいたことや感じたことを発表する。 新入生歓迎会、コーポレーション、先生などの相手や目的を想定して話す。
	6	(知及技)日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高１段階) (思判表力)社会の中で関わる人の話などを聞き、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容をとらえることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、丁寧なことば遣いで話すことができる。(高１段階)	(知及技)日常よく使われる敬語を理解し使おうとしている。 (思判表力)社会の中で関わる人の話などを聞き、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容をとらえようとしている。 (学･人)言葉がもつよさを認識し、丁寧なことば遣いで話そうとしている。	挨拶の意義を考えよう 他者を慮る言葉遣い	・挨拶の場面をイメージし、挨拶をすることで与える印象について話し合う。 ・はなさき７ルールを理解し、話し合い活動で実践する。 ・具体的な場面（校内実習や現場実習）を想定して、挨拶や言葉遣いを繰り返し練習する。
	5	(知及技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧なことば遣いを意識して活用することができ、主語と述語を使った短い文章を書くことができる(高１段階) (思判表力)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧な言葉遣いを意識して活用しようとし、主語と述語を使った短い文章を書こうとしている。 (思・判・表)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	実習体験記① 平和学習	・実際に体験したことを振り返り、「出来事」と「感情・考えたこと」を結びつけて短い言葉で相手に伝わるように表現する。 ・平和について考え、自分の思いを「平和メッセージ」として表現する。
	5	(知及技)はがきの「あて名」の書き方や、文面の正しい書き方を理解できる。(中１段階) (思判表力)相手や目的を意識した表現ができる。(高１段階) (学･人)言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝えようとすることができる。(高１段階)	(知・技)はがきの「あて名」の書き方や、文面の正しい書き方を理解しようとしている。 (思・判・表)書く相手や目的を意識した表現をしようとしている。 (主学) 言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝えようとしている。	手紙の書き方① （暑中見舞い）	・はがきの書き方について学び、時節の挨拶と自分のこと、相手を気遣う言葉を送る。

2学期	6	(知及技)生活に身近な方言のことわざや慣用句を知り、様々な表現に親しむことができる。(高１段階) (思判表力)身近なしまくとぅばの使い方を知り、分かったことや感想を伝え合うことができる。(中１段階) (学･人)郷土の言語文化に親しむことができる。(高１段階)	(知・技)生活に身近な方言のことわざや慣用句を知り、様々な表現に興味を持ち、親しもうとしている (思・判・表)身近なしまくとぅばの使い方を知り、分かったことや感想を伝え合おうとしている。 (主学) 郷土の言語文化に親しもうとしている。	沖縄の方言を学ぼう うちなーぐちカルタ	・うちなーぐちでの挨拶や沖縄の昔話を学び、うちなーぐちカルタの札を用いて短い物語を作る。
	6	(知及技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧なことば遣いを意識して活用することができ、主語と述語を使った短い文章を書くことができる(高１段階) (思判表力)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧な言葉遣いを意識して活用しようとし、主語と述語を使った短い文章を書こうとしている。 (思・判・表)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	実習体験記②	・実際に体験したことを振り返り、「出来事」と「感情・考えたこと」を結びつけて短い言葉で相手に伝わるように表現する。 ・他者の体験談を聞いて、色々な仕事や感情を知る。
	10	(知及技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組むことができる。(高１段階) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえることができる。(高１段階) (学･人)本に親しみ、さまざまな表現を楽しむことができる。(高１段階)	(知・技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組もうとしている。。 (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえようとしている。 (主学) 本に親しみ、様々な表現を楽しもうとしている。	本を読む 本を紹介する	・図書館を利用し、好きな本を探して読む。 ・自分が選んだ本を読み聞かせをしたり、紹介したりする。 ・紹介された本を読む。
	9	(知及技)古典作品を音読し言葉の響きやリズムに親しみ、内容の大体を理解することができる。(高１段階) (思判表力)作品の登場人物の行動や心情を叙述を基に捉えることができる。(高１段階) (学･人)古典作品に親しみ、音読することができる。(高１段階)	(知・技)古典作品を音読し言葉の響きやリズムに親しみ、内容の大体を理解しようとしている。 (思・判・表)作品の登場人物の行動や心情を叙述を基にとらえようとしている。 (主学) 古典作品に親しみ、音読しようとしている。	古典作品に親しむ	・随筆を読んで、現在と昔の考え方・感じ方を比較する。 ・共通する考え方を身の回りの出来事に置き換えて考えを深める。
3学期	8	(知及技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書くことができる。(高２段階) (思判表力)自分で選んだ文字について理由を説明することができる。(高１段階) (学･人)毛筆に興味を持ち、特性を理解して繰り返し書こうとすることができる。(小２段階)	(知・技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書こうとしている。 (思・判・表)自分で選んだ文字について理由を説明しようとしている。 (主学) 毛筆に興味を持ち、特性を理解して繰り返し書こうとしている。	習字に親しむ	・毛筆でひらがなの練習をしたり、自分の名前を書いたりする。 ・新年の目標を立て、毛筆で丁寧に書く。
	5	(知及技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書くことができる。(中１段階) (思判表力)話の中心を考えて、メッセージを書くことができる。(高１段階) (学･人)言葉のもつよさを理解し、感謝の気持ちを伝えることができる。(高１段階)	(知・技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書こうとしている。 (思・判・表)話の中心を考えて、メッセージを書こうしている。 (主学) 言葉のもつよさを理解し、感謝の気持ちを伝えようとしている。	手紙の書き方②（送辞の原稿作り）	・１年間を振り返って、先輩との思い出を言葉で表現する。
	5	(知及技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えることができる。(高１段階) (思判表力)自分の経験したことを順序よく表し、意見やその理由を伝えることができる。(中２段階) (学･人)言葉のもつよさを理解し、自分の考えや思いを素直に表現できる。(高１段階)	(知・技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えようとしている。 (思・判・表)自分の経験したことを順序良く表し、意見やその理由をつたえようとしている。 (主学) 言葉のもつよさを理解し、自分の考えや思いを素直に伝えようとしている。	手紙の書き方③（お礼の手紙）	・高校１年間を振り返って、お世話になった人（保護者や先生、関わってくれた方々）に感謝の思いを書く。
留意点 引継ぎ等		[評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。			

令和８年度高等部　２年　（Ⅱ課程A）　国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	２学年　Ⅱ課程Ａ類型（２２名）		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。（高１段階） (思判表力)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書や言葉に親しみを持ち、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間	70	(知及技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。(高１段階) (思判表力)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使おうと、句読点の使い方を意識している。 (思・判・表)間違いを正そうとしたり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	語彙を増やそう 正しく読もう書こう 情報の聞き取り 郷土の言語文化	・漢字の読み書き 小学校中学年～高学年までの漢字の読み書きに取り組む。 ・情報の聞き取り 社会生活で必要な情報を聞き取る学習に取り組む。
1学期	2	(知及技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。(高１段階) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	自己紹介をしよう	・簡単な文章やイラストなどを用いて、読み手に相手に伝わるように自己紹介シートを作成する。 ・自分の好きなことや得意なこと、長所などの情報を簡単にまとめ、仲間や先生などへ紹介をする。 ・友達の自己紹介シートを見たり、自己紹介を聞いたりして、気づいたことや感じたことをを発表する。
	6	(知及技)日常生活でよく使われる敬語を理解し、様子や気持ちを表す語句を丁寧なことば遣いを意識して活用することができ、主語と述語を使った短い文章を書くことができる。(高１段階) (思判表力)社会の中で関わる人の話などを聞き、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容をとらえることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、丁寧なことば遣いで話すことができる。(高１段階)	(知・技)日常生活でよく使われる敬語を理解し、様子や気持ちを表す語句を丁寧な言葉遣いを意識して活用しようとし、主語と述語を使った短い文章を書こうとしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを聞き、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容をとらえようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、丁寧な言葉遣いで話そうとしている。	挨拶と丁寧語	・はなさきセブンルール「ていねいなことばづかい」の取組み。 ・敬語の学習を実施する。 ・校内実習や現場実習の事前挨拶や受け答えの際に丁寧な対応ができるようにする。 ・具体的な場面を想像し、取り組みができるようにロールプレイを実施し、丁寧なことば遣いが与える印象に気づく。
	5	(知及技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧なことば遣いを意識して活用することができ、主語と述語を使った短い文章を書くことができる(高１段階) (思判表力) 経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧な言葉遣いを意識して活用しようとし、主語と述語を使った短い文章を書こうとしている。 (思・判・表)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	実習俳句をつくろう① 平和学習	・実際に経験したことを振り返り、短い言葉で気持ちや情景を表現する。 ・平和の詩を読み、自分の考えを『平和メッセージ』として短い言葉で表現する。
	5	(知及技)はがきの「あて名」の書き方や、文面の正しい書き方を理解できる。(中１段階) (思判表力)相手や目的を意識した表現ができる。(高１段階) (学･人)言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝えようとすることができる。(高１段階)	(知・技)はがきの「あて名」の書き方や、文面の正しい書き方を理解しようとしている。 (思・判・表)書く相手や目的を意識した表現をしようとしている。 (主学) 言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝えようとしている。	手紙の書き方① （暑中見舞い）	・はがきの使い方を知り、送る相手に応じた表現方法の違いを知る。
	8	(知及技)生活に身近な方言のことわざや慣用句を知り、様々な表現に親しむことができる。(高１段階) (思判表力)身近なしまくとぅばの使い方を知り、分かったことや感想を伝え合うことができる。(中１段階) (学･人)郷土の言語文化に親しむことができる。(高１段階)	(知・技)生活に身近な方言のことわざや慣用句を知り、様々な表現に興味を持ち、親しもうとしている (思・判・表)身近なしまくとぅばの使い方を知り、分かったことや感想を伝え合おうとしている。 (主学) 郷土の言語文化に親しもうとしている。	身近な方言の学習 うちなーぐちカルタ	・うちなーぐちのあいさつや、沖縄の昔話を学習する。 ・うちなーぐちカルタを使い、身近な方言の学習を行う。

2学期	5	(知及技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧なことば遣いを意識して活用することができ、主語と述語を使った短い文章を書くことができる(高１段階) (思判表力) 経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧な言葉遣いを意識して活用しようとし、主語と述語を使った短い文章を書こうとしている。 (思・判・表)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	実習俳句をつくろう②	・実際に経験したことを振り返り、短い言葉で気持ちや情景を表現する。
	10	(知及技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組むことができる。(高１段階) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえることができる。(高１段階) (学･人)本に親しみ、さまざまな表現を楽しむことができる。(高１段階)	(知・技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組もうとしている。 (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえようとしている。 (主学) 本に親しみ、様々な表現を楽しもうとしている。	本に親しむ	・図書館を利用し、様々な本の中から好きな本を選ぶ。 ・読み聞かせの取組みを行う。
	8	(知及技)古典作品を音読し言葉の響きやリズムに親しみ、内容の大体を理解することができる。(高１段階) (思判表力)作品の登場人物の行動や心情を叙述を基に捉えることができる。(高１段階) (学･人)古典作品に親しみ、音読することができる。(高１段階)	(知・技)古典作品を音読し言葉の響きやリズムに親しみ、内容の大体を理解しようとしている。 (思・判・表)作品の登場人物の行動や心情を叙述を基にとらえようとしている。 (主学) 古典作品に親しみ、音読しようとしている。	古典作品を読もう	・枕草子、方丈記、徒然草の音読、暗唱
3学期	10	(知及技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書くことができる。(高２段階) (思判表力)自分で選んだ文字について理由を説明することができる。(高１段階) (学･人)毛筆に興味を持ち、特性を理解して繰り返し書こうとすることができる。(小２段階)	(知・技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書こうとしている。 (思・判・表)自分で選んだ文字について理由を説明しようとしている。 (主学) 毛筆に興味を持ち、特性を理解して繰り返し書こうとしている。	習字に親しもう	・毛筆による創作活動 ・自分の名前を書く
	7	(知及技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書くことができる。(中１段階) (思判表力)話の中心を考えて、メッセージを書くことができる。(高１段階) (学･人)言葉のもつよさを理解し、感謝の気持ちを伝えることができる。(高１段階)	(知・技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書こうとしている。 (思・判・表)話の中心を考えて、メッセージを書こうしている。 (主学) 言葉のもつよさを理解し、感謝の気持ちを伝えようとしている。	思い出のメッセージを書こう	・先輩へメッセージを書こう（送辞の原稿作り）
	5	(知及技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えることができる。(高１段階) (思判表力)自分の経験したことを順序よく表し、意見やその理由を伝えることができる。(中２段階) (学･人)言葉のもつよさを理解し、自分の考えや思いを素直に表現できる。(高〇段階)	(知・技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えようとしている。 (思・判・表)自分の経験したことを順序良く表し、意見やその理由をつたえようとしている。 (主学) 言葉のもつよさを理解し、自分の考えや思いを素直に伝えようとしている。	一年を振り返ろう お礼の手紙を書こう	・一年間の思い出を作文で書く。 ・お世話になった先生へ感謝のメッセージを書く。
留意点 引継ぎ等		[評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。			

令和８年度高等部　３年　（Ⅱ課程A）　国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3学年　Ⅱ課程Ａ類型（１３名）		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。（高１段階） (思判表力)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間	70	(知及技)文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高２段階) (思判表力)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書こうと意識している。 (思・判・表)間違いを正そうとしたり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとしている。 (主学）言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	語彙を広げよう 正しく読もう書こう	・実習に関することば、卒業後の生活に関することばを読んだり書いたりする。
1学期	2	(知及技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。(高１段階) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学）言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	自己紹介をしよう （自分のことを伝えよう）	・簡単な文章やイラストなどを用いて、読み手に相手に伝わるように自己紹介シートを作成する。 ・自分の好きなことや得意なこと、長所などの情報を簡単にまとめ、仲間や先生などへ紹介をする。 ・友達の自己紹介シートを見たり、自己紹介を聞いたりして、気づいたことや感じたことを発表する。
	6	(知及技)日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高１段階) (思判表力)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)日常よく使われる敬語を理解し使おうとしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	あいさつと丁寧語	・実習前あいさつを想定して、実習のあいさつでの自己紹介を行う。 ・名刺（名札）に、自分のことを簡単にまとめる。 ・自分のことが相手に伝わるよう、言葉使いについて考えたり、敬語を学び、あいさついかす。
	5	(知及技)表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(高１段階) (思判表力)書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつ良さを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解しようとしている。 (思・判・表)書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけようとしている。 (主学)言葉がもつ良さを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	実習俳句を作ろう 平和に関する詩（話）を読もう	・実習の振り返り、体験したことを決められた音数でまとめる。 ・友達の作った俳句を鑑賞し、感想を伝える。 ・平和に関する物語の読み聞かせを聞いたり、音読したりする。
	5	(知及技)文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。（高１段階） (思判表力)相手や目的を意識して書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝いえたいことを明確にすることができる。（高１段階） (学・人)用紙全体との関係に注目して書こうとすることができる。（高１段階）	(知・技)文字の組み立て方を理解し、形を整えて書こうとしている。 (思・判・表)相手や目的を意識して書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝いえたいことを明確にしようとしている。 (主学)用紙全体との関係に注目して書こうとしている。	はがきを出そう	・はがきの基本的な書き方を学び、お礼状、暑中見舞いを書く ・実習先に季節のあいさつを書く
2学期	8	(知及技)幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(高１段階) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。(高１段階) (学･人)書き手の思いや考えに触れることを通して、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	(知・技)幅広く読書に親しみ、読書から必要な知識や情報を得ようとしている。 (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えようとしている。 (主学)書き手の思いや考えに触れることを通して、思いや考えを伝え合おうとしている。	読み聞かせをしよう	・他学部の児童生徒へ読み聞かせを行う。 ・図書室の活用について学び、好きな本を選び
	5	（知及技）話し言葉と書き言葉に違いがあること気付くことができる。（高２段階） (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高１段階)	（知・技）話し言葉と書き言葉に違いに気付く。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学）言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	マイクで話そう	・運動会のアナウンスを想定し、アナウンサーになったつもりで原稿を読む。 ・後期実習において電話での休みの連絡の仕方を学ぶ
	10	(知及技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組むことができる。(高１段階) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえることができる。(高１段階) (学･人)本に親しみ、さまざまな表現を楽しむことができる。(高１段階)	(知・技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組もうとしている。。 (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえようとしている。 (主学）本に親しみ、様々な表現を楽しもうとしている	本に親しむ	・読書月間と関連させ、自分の好きな本を見つける。 ・様々な本を読み、おすすめの一冊を決める。 ・友達の紹介した本に興味を持ち、感想を伝える。
	8	(知及技)親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(高２段階) (思判表力)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高１段階) (学･人)古典作品を音読しようとしたり、暗唱したりしてしてすすんで親しむことができる。(高１段階)	(知・技)親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(高１段階) (思・判・表)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて。(高１段階) (主学)古典作品を音読したり、友達の音読に注目しようとしている。(高１段階)	古典作品に親しむ	・昔話や落語と関連させる。 ・竹取物語、寿限無、徒然草、平家物語
3学期	12	(知及技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書くことができる。(高２段階) (思判表力)自分で選んだ文字について理由を説明することができる。(高１段階) (学･人）毛筆の特性を活かして、毛筆で自分の名前を整えて書こうとすることができる。（高１段階）	(知・技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書くことができる。(高２段階) (思・判・表)自分で選んだ文字について理由を説明することができる。(高１段階) (主学）毛筆の特性を活かして、毛筆で自分の名前を整えて書こうとすることができる。（高１段階）	習字に親しむ	・書き初めに取り組む ・自分の名前を書く（卒業式に向けて）
	5	(知及技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書くことができる。(中１段階) (思判表力)話の中心を考えて、メッセージを書くことができる。(高１段階) (学･人)言葉のもつよさを理解し、感謝の気持ちを伝えることができる。(高１段階)	(知・技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書こうとしている。 (思・判・表)話の中心を考えて、メッセージを書こうしている。 (主学）言葉のもつよさを理解し、感謝の気持ちを伝えようとしている。	お礼の手紙を書こう	・後輩や先生へのメッセージを書く（答辞との関連）
	5	(知及技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えることができる。(高１段階) (思判表力)自分の経験したことを順序よく表し、意見やその理由を伝えることができる。(中２段階) (学･人)言葉のもつよさを理解し、自分の考えや思いを素直に表現できる。(高１段階)	(知・技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えようとしている。 (思・判・表)自分の経験したことを順序良く表し、意見やその理由をつたえようとしている。 (主学）言葉のもつよさを理解し、自分の考えや思いを素直に伝えようとしている。	一年を振り返ろう	・これまでの学校生活を振り返り、思い出に残っている出来事を書く。（答辞との関連）

留意点 引継ぎ等	[評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。

令和 ８ 年度　　高等部　（Ⅱ課程B）　国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	１～３年生ⅡB（５名）		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近なことばがわかり、その特質を理解し、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。（小１～３段階） (思判表力) 日常生活における人との関わりの中で、言葉に注目し、自分の思いを持ち、伝え合うことができる。（小１～中２段階） (学･人)言葉で表現することのよさを感じ、言葉を使おうとする態度を養う。（小１～３段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	年間	(知及技) 話す相手を注視して、話しかけへの注目し、物事の内容を表す言葉の働きに気づき、言葉で伝え合うことができる。（小１～３段階） (思判表力) 身近な人の話しかけに注目、応答し、発音や声の大きさに注意して自分の気持ちを伝えたり、合図することができる。(小１～３段階) (学･人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを言葉や合図で伝えようとする。(小１～３段階)	(知・技) 話す相手を注視しようとし、話かけへの注目をしたり、言葉や合図で伝え合おうとしている。 (思・判・表) 身近な人の話しかけに注目、応答し、発音や声の大きさに注意して自分の気持ちを伝えたり、合図しようとしている。 (主学) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを言葉や合図で伝えようとしている。	・あいさつしよう！ ・じこしょうかいできるかな ・絵本の読み聞かせ ・好きな本を選んでみよう。	・身近な人の言葉に注目し、言葉かけへの興味をもたせる活動に取り組む。 ・言葉のもつ意味とよさに気が付ける活動に取り組む。
	4	(知及技) 話す相手を注視して、話しかけへ注目することができる。(小１段階) (思判表力) 身近な人の話しかけに注目、応答し、発音や声の大きさに気をつけて返事や合図をすることできる。(小１～３段階) (学･人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとする。(小２段階)	(知・技) 話す相手を注視しようとし、話かけへの注目をしようとしている。 (思・判・表) 身近な人の話しかけに注目、応答し、発音や声の大きさに気をつけて返事や合図をしようとしている。 (主学) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとしている。	自己紹介しよう！ あいさつしよう！	・自己紹介を通して他者からの話しかけに注目し、合図をする意識を高める。 ・適切な言葉であいさつや、合図ができるよう、話す人に注目する活動に取り組む。
	10	(知及技) 話しかけに注目し、言葉と気持ちや行動の結びつきに気が付くことができる。(小２段階) (思判表力) 教師の読み聞かせによる表現に注目し、表情や身振りで応答することができる。(小１段階) (学･人) 教師の支援を受けて、言葉や合図で自分の思いを伝えることができる。(小1段階)	(知及技) 話しかけに注目し、言葉と気持ちや行動の結びつきに気づこうとしている。 (思判表力) 教師の読み聞かせによる表現に注目し、表情や身振りで応答しようとしている。 (主学) 教師の支援を受けて、言葉や合図で自分の思いを伝えようとしている。	ことばあそび よみきかせ	・言葉の響きや、リズム、心情を表す簡単な語句を理解できる取り組みを行う。 ・声や表情から、話しかけている人へ注目できる活動を行う。

	6	(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味をもつことできる。(小１段階) (思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述ができる。(小１段階) (学･人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとする。(小１段階)	(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味を持とうとしている。 (思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述しようとしている。(小１段階) (主学) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとしている。(小２段階)	おてがみを書こう①	・日頃お世話になっている人へ、教師と一緒にさまざまな筆記用具を用いて暑中見舞いを書く。 ・平和学習「平和メッセージ」を書く
2学期	6	（知及技） かるたに書かれた平仮名や絵の表す言葉を理解できる。（小２段階） （思判表力） うちなーぐちの昔話を聞き、言葉のリズムや響きに親しむことができる。（小１段階） （学・人） 教師の話に注目し、様々な人と関わりながら言葉の響きを楽しむことができる。（小１段階）	（知及技） かるたに書かれた平仮名や絵の表す言葉を理解しようとしている。 （思判表力） うちなーぐちの昔話を聞き、言葉のリズムや響きに親しもうとしている。 （主学） 教師の話に注目し、様々な人と関わりながら言葉の響きを楽しもうとしている。	かるたあそび 沖縄の昔話	・沖縄の昔話や、うちなーぐちカルタに書かれた方言の響きや言葉の意味に楽しむ。
	9	（知及技） 教師の読み聞かせに注目することができる。（小１段階） （思判表力） さまざまな絵本の読み聞かせに親しみ、内容や表現の良いところを共有することができる。（小１～中２段階） （学・人） 教師の支援を受けて、自分の気持ちや考えを伝えることができる。（小１段階）	（知及技） 教師の読み聞かせに注目しようとしている。 （思判表力） さまざまな絵本の読み聞かせに親しみ、教師と一緒に内容の良いところを共有しようとしている。 （主学） 教師の支援を受けて、自分の気持ちや考えを伝えようとしている。	いろいろな読み聞かせ	・好きな絵本を選び、読み聞かせを通して本に親しむ。 ・教師と一緒に絵本の読み聞かせに取り組む。 ・絵本の発表会に参加する。
	10	（知及技） 絵本の読み聞かせを通して教師の話しかけに注目し、物事の内容を表す言葉の働きに気づくことができる。（小３段階） （思判表力） 教師の読み聞かせに応じ、表情や身振り、音声、合図で模倣したり、応答することができる。 （学・人） 教師や他者と関わりながら、絵本の発表会に参加することができる。（小１段階）	（知及技） 絵本の読み聞かせを通して教師の話しかけに注目し、物事の内容を表す言葉の働きに気づこうとしている。 （思判表力） 教師の読み聞かせに応じ、表情や身振り、音声、合図で模倣したり、応答しようとしている。 （主学） 教師や他者と関わりながら、絵本の発表会に参加しようとしている。	読み聞かせ 発表会をしよう	・好きな絵本を選び、読み聞かせを通して本に親しむ。 ・教師と一緒に絵本の読み聞かせに取り組む。 ・絵本の発表会に参加する。

	8	(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味をもつことできる。(小１段階) (思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述ができる。(小１段階) (学･人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとする。(小２段階)	(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味を持とうとしている。 (思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述しようとしている。(小１段階) (学･人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとしている。(小２段階)	おてがみを書こう②	・教師と一緒にお世話になっている人へ感謝の気持ちを込めて年賀状を書く。
３学期	9	(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味をもつことできる。(小１段階) (思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述ができる。(小１段階) (学･人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとする。(小２段階)	(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味を持とうとしている。 (思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述しようとしている。 (学･人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとしている。	筆に親しもう	・教師の手添えで筆ペンや毛筆を持ち、文字を書くことに興味を持つ。
	5	（知及技） かるたに書かれた平仮名や絵の表す言葉を理解できる。（小２段階） （思判表力） 昔話を聞き、言葉のリズムや響きに親しむことができる。（小１段階） （学・人） 教師の話に注目し、様々な人と関わりながら言葉の響きを楽しむことができる。（小１段階）	（知及技） かるたに書かれた平仮名や絵の表す言葉を理解しようとしている。 （思判表力） 昔話を聞き、言葉のリズムや響きに親しもうとしている。 （学・人） 教師の話に注目し、様々な人と関わりながら言葉の響きを楽しもうとしている。	かるたであそぼう	・昔話や、カルタに書かれた言葉の意味やリズムに楽しむ。
	3	（知及技） 言葉や合図で自分の気持ちを伝えることができる。（小２段階） （思判表力） 表情や身振り、合図で応答することができる。（小１段階） （学・人） 教師の話に注目し、一年間の学習を振り返ることができる。（小２段階）	（知及技） 言葉や合図で自分の気持ちを伝えようとしている。 （思判表力） 表情や身振り、合図で応答しようとしている。 （主学） 一年間の学習を振り返り、楽しかった取組みを教師と一緒に発表することができる。	一年間をふりかえろう	・年間の学習の写真や動画の記録を見て一年間の振り返りを行う。 ・楽しかったこと、頑張ったことを発表し、学習のまとめを行う。
留意点 引継ぎ等					

令和　8年度　　高等部　１　年　（Ⅱ課程A）　社会科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	Ⅱ課程①②　１９名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 地域や我が国の地理的環境、歴史や伝統・文化や外国の様子、現代社会の仕組み等について理解し、情報を調べまとめる技能を身に付けることができるようにする（高１段階） (思判表力) 社会的事象を自分の生活と結びつけて考える力や社会への関わり方を選択したり判断できるようにする（高１段階） (学･人) 主体的に社会と関わろうとする態度や学習したことを、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	(知及技)社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができる(高１段階) (思判表力)社会生活を営む上で大切な法やきまりを自分との関わりについて考え、表現することができる(高１段階) (学･人)社会生活を営む上で大切な法やきまりについて学んだことを自分の生活と関連付けて考え、主体的に生活に活かすことができる(高１段階)	(知・技)社会生活で大切な法やきまりを理解しようとしている (思・判・表)大切な法やきまりを自分との関わりについて考え表現しようとしている (主学) 生活に関係の深い法やきまりを主体的に生活に活かそうとしている [評価資料] 授業プリント/提出物/活動の様子で評価する	社会参加ときまり	身近な法律に触れ、社会の成り立ちがきまりに基づいていることを学習する 国民の休日 日本国憲法 身近な法律
	4	(知及技)我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解することができる(高１段階) (思判表力)地形や気候などに着目して国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することできる(高１段階) (学･人)地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、主体的に学ぶことができる(高１段階)	(知・技)我が国の国土の地形や気候の概要を理解しようとしている (思・判・表)地形や気候などに着目して地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考えて、表現しようとしている (主学)地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色や国民生活との関連を主体的に活かそうとしている [評価資料] 授業プリント/提出物/活動の様子で評価する	国土・地域の様子	我が国の国土や地域を知り、自分の周りの様子について学習する 沖縄の41市町村(読み仮名・位置) 平和学習
	4	(知及技)異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができる(高１段階) (思判表力)外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現することができる(高１段階) (学･人)外国の人々の生活を捉え、それらと国民生活との関連を考え主体的に学ぶことができる(高１段階)	(知・技)異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解しようとしている (思・判・表) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現できるようにする (主学) 外国の人々の生活を捉え、それらと国民生活との関連を考え主体的に活かそうとしている [評価資料] 授業プリント/提出物/活動の様子で評価する	世界とのつながり	我が国と異なる文化を持つ様々な国々について学習する オリンピック・パラリンピックを知ろう （歴史、種目、世界の国々、国旗）
	5	(知及技)自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことを理解できる(高１段階) (思判表力)災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現することができる(高１段階) (学･人)自然災害が国土や国民生活に影響を及ぼしていることを主体的に学ぶことができる(高１段階)	(知・技)自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことを理解しようとしている (思・判・表)災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現しようとしている (主学)自然災害が国土や国民生活に影響を及ぼしていることを主体的に学び、活かそうとしている [評価資料] 授業プリント/提出物/活動の様子で評価する	我が国の国土と自然環境について	我が国の国土や地域を知り、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連について学習する 国土の様子 特色ある地域の人々の生活の様子 自然災害を防ぐ工夫(地震・津波他) 公害を防ぐ取組 環境用語 SDG’s
2学期	4	(知及技）生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる(高１段階) (思判表力)生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができる(高１段階) (学･人)生活に関係の深い公共施設や公共物の利用等を主体的に学ぶことができる(高１段階)	(知・技）生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解しようとしている(高１段階) (思判表)生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現しようとしている(高１段階) (主学)生活に関係の深い公共施設や公共物の利用等を主体的に学ぼうとしている [評価資料] 授業プリント/提出物/活動の様子で評価する	公共施設の役割と制度について	公共施設の役割について学習し、生活に必要なことを身につける 公共交通機関 公共施設 ゴミ分別

	5	(知及技) 我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができる(高１段階) (思判表力)世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる(高１段階) (学･人)世の中の様子や、人物の働きや代表的な事象を捉え、世の中の様子を主体的に学ぶことができる(高１段階)	(知・技) 我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができるようにする (思・判・表)世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができるようにする (主学)世の中の様子や、人物の働きや代表的な事象を捉え、世の中の様子を主体的に学ぶことができるようにする [評価資料] 授業プリント/提出物/活動の様子で評価する	人物で学ぶ歴史	歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを学習する 沖縄の世界遺産 沖縄の偉人 沖縄の伝統文化
３学期	5	(知及技)社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができる(高１段階) (思判表力)社会生活を営む上で大切な法やきまりを自分との関わりについて考え、表現することができる(高１段階) (学･人)社会生活を営む上で大切な法やきまりについて学んだことを自分の生活と関連付けて考え、主体的に生活に活かすことができる(高１段階)	(知・技)社会生活で大切な法やきまりを理解しようとしている (思・判・表)大切な法やきまりを自分との関わりについて考え表現しようとしている (主学)生活に関係の深い法やきまりを主体的に生活に活かそうとしている [評価資料] 授業プリント/提出物/活動の様子で評価する	政治の仕組みやはたらき	社会における必要な法や決まりについて学習し、生活に必要なことを身につける 選挙について 政治の仕組みやはたらき
	5	(知及技)我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割をしていることを理解することができる(高１段階) (思判表力)我が国の食料生産は地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色のある地域の人々の生活について考えることができる(高1段階) (学･人)国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、主体的に生活に活かすことができる(高１段階)	(知･技)我が国の食料生産は自然条件生かして営まれていることを理解しようとしている (思・判・表) 国土の自然環境の特色や国民生活との関連について考えることができる (主学)自然環境の特色から国民生活との関連を主体的に考えることができる [評価資料] 授業プリント/提出物/活動の様子で評価する	生産から消費へ	国土の様子を知り、国民生活に関わる学習を通じて、生活に必要なことを身につける 全国の特産物
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　高等部２ 年　（Ⅱ課程A） 社会科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部２年　ⅡＡ　１４名		教師作成プリント、地図帳、動画等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）地域や我が国の国土の地理的環境、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について様々な資料や具体的な活動を通して知り、情報をまとめる技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)社会的事象について、自分の生活と結びつけて具体的に考え、社会との関わりの中で選択･判断したことを表現する力を養う。（高1段階） (学･人)よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養い、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	13	(知及技) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに知ることができる。（高２ア） (思判表力) 我が国における自分たちの県の位置や県全体の地形などに着目して、県の様子を捉え、その特色を表現することができる。（高１イ） (学･人) 自分たちの県や日本の特色を捉え、学習したことを自分の生活に主体的に活かすことができる。(高１段階)	(知･技) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに分かっている。 (思･判･表) 我が国における自分たちの県の位置や県全体の地形などに着目して、県の様子を捉え、その特色を表現しようとしている。 (主学) 自分たちの県や日本の特色を捉え、学習したことを自分の生活に主体的に活かすことができる。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	我が国の国土の様子と国民生活、歴史	日本の領域について ・領土、領空、領海 沖縄県の特色について 日本全体の特色について 1学期の振り返り
2 学 期	14	（知及技） 修学旅行で訪れる地域の歴史上の主な事象を手がかりに、関連する先人の業績や優れた文化遺産等を知ることができる。（高1オ） （思判表力） 修学旅行で訪れる地域の文化遺産について調べ、その特色について表現することができる。（高1オ） （学･人） 修学旅行で訪れた地域の文化や産業と、自らの生活とのつながりに気づくことができる。(高１段階)	（知及技） 修学旅行で訪れる地域の歴史上の主な事象を手がかりに、関連する先人の業績や優れた文化遺産等を理解している。 (思･判･表) 修学旅行で訪れる地域の文化遺産について調べ、その特色について表現しようとしている。 (主学) 修学旅行で訪れた地域の文化や産業と、自らの生活とのつながりを見つけようとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	関東地方の歴史と文化	関東地方の構成について 関東地方の特色や文化について 2学期の振り返り
3 学 期	8	(知及技) 異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを知ることができる。（高1ア） (思判表力) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現することができる。（高1イ） (学･人) 世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる。(高１段階)	(知･技) 異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを知ろうとしている。 (思･判･表) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現しようとしている。 (主学) 世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚しようとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	外国の様子	国際連合について 国際的なスポーツ大会について 1年間の振り返り
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　高等部３ 年　（Ⅱ課程A） 社会科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部３年　ⅡＡ　２２名		教師作成プリント等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度について、様々な資料や具体的な活動を通して、生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高1段階） (学･人)よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を身につけ、地域社会の一員として共に生きる大切さについての自覚を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができる。（高2ア） (思判表力) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができる。（高2ア） (学･人) 生活に関係の深い法やきまりについて学んだことを自分の生活と関連させて考え、主体的に生活に活かすことができる。（高2ア）	(知･技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解している。 (思･判･表) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現しようとしている。 (主学) 生活に関係の深い法やきまりについて学んだことを自分の生活と関連させて考え、主体的に生活に活かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	国や社会のきまり	日本国憲法 基本的人権の尊重 国民の3大義務 権利と法律 平和主義 国民の権利と義務 1学期の振り返り
		(知及技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができる。（高2ア） (思判表力) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができる。（高2ア） (学･人) 生活に関係の深い法やきまりについて学んだことを自分の生活と関連させて考え、主体的に生活に活かすことができる。（高2ア）	(知･技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解している。 (思･判･表) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現しようとしている。 (主学) 生活に関係の深い法やきまりについて学んだことを自分の生活と関連させて考え、主体的に生活に活かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	社会参加ときまり	
2学期	14	(知及技) 生活に関係の深い制度について理解することができる。（高2イ） (思判表力) 生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。（高2イ） (学･人) 制度を活用することで、快適な社会生活につながることに気づき関心を持つ。（高2イ）	（知･技) 生活に関係の深い制度について理解している。 (思･判･表) 生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現しようとしている。 (主学) 制度を活用することで、快適な社会生活につながることに気づき関心を持つことができる。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	社会制度と国民生活	選挙制度について 税金について 年金について 保険について 福祉等に関する制度
		(知及技) 生活に関係の深い制度について理解することができる。（高2イ） (思判表力) 生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。（高2イ） (学･人) 制度を活用することで、快適な社会生活につながることに気づき関心を持つ。（高2イ）	（知･技) 生活に関係の深い制度について理解している。 (思･判･表) 生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現しようとしている。 (主学) 制度を活用することで、快適な社会生活につながることに気づき関心を持つことができる。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。		契約について 消費生活について
3学期	8	(知及技) 生活に関係の深い公共施設の役割とその必要性を理解することができる。（高1イ） (思判表力) 公共施設の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができる。（高1イ） (学･人) 公共施設の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、生活に活かすことができる。（高1イ）	（知･技) 生活に関係の深い公共施設の役割とその必要性を理解している。 (思･判･表) 公共施設の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現しようとしている。 (主学) 公共施設の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、生活に活かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	公共施設の役割と卒業後の社会生活	公共交通機関の利用 公共施設の種類と役割 福祉サービスの利用申請 ハローワークと求職登録 ３学期の振り返り １年間の振り返り

留意点 引継ぎ等	

令和8年度　高等部　１～３年　（Ⅱ課程Ｂ）　社会　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1年140 2.3年136	高等部１～３学年Ⅱ課程Ｂ類型		教師作成プリント、地図帳、動画等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づくとともに、生活に必要な習慣や技能を身につけるようにする。 生活に関わることや、問題解決のための様々な体験的な学習活動を通して知識や技能を身に付ける。（高１段階） (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。 様々な体験的な学習活動を活かして、よりよく生きるために必要な判断力を養う。（高１段階） (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。 将来の社会生活に向けて、目標を持ち、見通しを持って積極的に取り組む態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期～3学期	35	(知及技) 危ないことや危険な場所等について理解することができる(小1段階) 「きまり」と生活について知ることができる。(小１段階) 身の回りの「社会の仕組み」や公共施設にについて知り、はたらきについて知ることができる。（小１段階） 簡単な手伝いや「仕事」に関心を持つことができる。（小１段階） 身の回りにある生命や自然について関心を持つことができる。 (思判表力) 自分の「生活と」結びつける力、「選択」することができる。(小１段階) 良い、悪いの「違い」を理解することができる。(小１段階) 「身の回りの簡単なきまり」に従って教師と一緒に行動しようとすることができる。（小１段階） (学･人) 危険、良い、悪いなど学習したことを生活に生かそうとすることができる。(小１段階) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。（小１段階）	(知･技) 身近な生活の安全に関わるマークについてカードを取ることができる。 身の回りの簡単な日課について、教師とともに行動することができる。 社会のきまりについて、生活との結びつきを知ることができる。 身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 身の回りにある自然や、地域について関心を持つことができる。 (思･判･表) 自分の生活と結びつける力、社会への関わり方を選択しようとしている。 集団の中での役割について関心を持つことができる。 (主学) 学習したことを生活に生かそうとする態度を身につけようとしている。 身の回りの人との関わり方について関心を持つことができる。 【活動の様子で評価を行う】	・身近なマーク ・ルールとマナー ・公共交通機関について ・防災について ・身近な避難経路を知ろう ・まちの様子 ・ごみのゆくえ ・リサイクルについて ・平和について ・沖縄の文化について	・身近なマーク 　店舗の口ゴマークなど身近なマークについてふれる ・ルールとマナー 　学校等の身の回りの簡単な日課について知る ・公共交通機関について 　バス利用の際のルールやマナーについて ・防災について 　動画を見ながら防災について身近に感じる ・身近な避難経路を知ろう 　校内の非常口等の箇所をウォーラリー形式で学ぶ ・まちの様子 　自分の住む町の様子について映像で確認しながら知る ・ごみのゆくえ 　出したゴミがどこへいくのかを知る ・リサイクルについて 　プラスチックごみ、紙、アルミ缶を実物で確認 ・平和について 　本や映像を見ながら、平和について考える

留意点 引継ぎ等	・学習の進度によって内容が前後する場合がある。 ・実習を伴う学習は生徒の実態に応じて行う。

令和8年度　　高等部　　1 年　　（Ⅱ課程A）　数学科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1年ⅡA		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解することができる。（高１段階） (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。（高１段階） (学･人)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学を生活や学習に活用することができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技)億、兆までの整数について知り、大きな数字の読み方や数字の位について理解することができる。（高１段階） (思判表力)数の構成や仕組みに着目し、大きな数を表したり、大小の比べたりすることができる。 (学･人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知・技)億、兆までの整数について知り、大きな数字の読み方や数字の位について理解している。 (思・判・表)数の構成や仕組みに着目し、大きな数を表したり、大小の比べたりしようとしている。 (主学) 数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「整数の表し方」 「整数及び小数の表し方」	･億、兆までの数 ･10 倍，100 倍，1000 倍，１/10の大きさの数及びその表し方
	8	(知及技)２位数の基本的な計算を理解し、それを基に大きな数の四則演算の計算ができる。(高１段階) (思判表力)数の構成に着目し、大きな数の四則演算や筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現することができる。(高１段階) (学･人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知･技)２位数の基本的な計算を理解し、それを基に大きな数の四則演算の計算をしようとしている。 (思･判･表)数の構成に着目し、大きな数の四則演算や筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現しようとしている。 (主学) 数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「整数の加法･減法」 「整数の乗法」 「整数の除法」	･足し算、引き算 ･かけ算 ･わり算 ･筆算の仕方 ･計算機の使い方
	9	(知及技)概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをすることができる。(高１段階) (思判表力)日常の事象における場面に着目し，目的に合った数の処理の仕方を考え、説明することができる。(高１段階) (学･人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	（知･技）概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしようとしている。 (思･判･表)日常の事象における場面に着目し，目的に合った数の処理の仕方を考え、説明しようとしている。 (主学) 数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「およその数の表し方」 「概数」	･４位数の整数を四捨五入して、概数を導き出す方法の学習 ･概数を基に、買い物に必要なだいたいの予算の見積もり

2学期	10	(知及技)平行四辺形、ひし形、台形について知り、図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解することができる。また、三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだし、説明することができる。 (学・人)図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知及技)平行四辺形、ひし形、台形について知り、図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解している。また、三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。 (思・判・表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだし、説明しようとしている。 (主学) 図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【B図形】 「平面図形」	・三角形、四角形の性質、作図 ・平行四辺形、ひし形、台形の性質、作図 ・同じ図形 ・多角形の性質、作図
	9	(知及技)三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解することができる。（高１段階） (思判表力)図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだし、説明することができる。（高１段階） (学・人)図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知及技)三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解している。 (思判表力)図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだし、説明しようとしている。 (主学) 図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【B図形】 平面図形の面積	・三角形の面積 ・平行四辺形の面積 ・ひし形の面積 ・台形の面積
	9	(知及技)簡単な場合について、比例の関係があることを知ることができる。(高１段階) (思判表力)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。(高１段階) (学・人)変化と関係に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知・技)簡単な場合について、比例の関係があることを理解している。 (思・判・表)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察しようとしている。 (主学) 変化と関係に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【C変化と関係】 「伴って変わる二つの数量」	・比例

3学期	8	(知及技)小数や分数について理解し、小数及び分数同士の四則演算の計算をすることができる。（高１段階） (思判表力)数のまとまりに着目し，少数や分数でも数の大きさを比べたり，計算したりできるかどうかを考えることができる。（高１段階） (学･人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知･技)小数や分数について理解し、小数及び分数同士の四則演算の計算をしようとしている。 (思･判･表)数のまとまりに着目し，少数や分数でも数の大きさを比べたり，計算したりできるかどうかを考えている。 (主学）数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「小数とその計算」 「分数とその計算」	･小数の表し方 ･小数の四則演算 ･分数の表し方 ･分数の四則演算
	9	(知及技)数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすることができる。(高１段階) (思判表力)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。(高１段階) (学･人)データの活用に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知･技)数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりしようとしている。 (思判表力)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。 (主学）データの活用に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【Dデータの活用】 「データの収集と分析」	･表と棒グラフ ･折れ線グラフ ･円グラフ、帯グラフ
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　　高等部　　２ 年　（Ⅱ課程A）　数学科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	２年ⅡA		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解することができる。（高２段階） (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。（高２段階） (学･人)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学を生活や学習に活用することができる。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技)２位数の基本的な計算を理解し、それを基に大きな数の四則演算の計算ができる。(高１段階) (思判表力)数の構成に着目し、大きな数の四則演算や筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現することができる。(高１段階) (学･人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知･技)２位数の基本的な計算を理解し、それを基に大きな数の四則演算の計算をしようとしている。 (思･判･表)数の構成に着目し、大きな数の四則演算や筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現しようとしている。 (主学) 数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「整数の加法･減法」 「整数の乗法」 「整数の除法」	･足し算、引き算 ･かけ算 ･わり算 ･筆算の仕方 ･計算機の使い方
	8	(知及技)概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをすることができる。(高１段階) (思判表力)日常の事象における場面に着目し，目的に合った数の処理の仕方を考え、説明することができる。(高１段階) (学･人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知･技) 概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしようとしている。 (思･判･表)日常の事象における場面に着目し，目的に合った数の処理の仕方を考え、説明しようとしている。 (主学) 数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「およその数の表し方」 「概数」	･４位数の整数を四捨五入して、概数を導き出す方法の学習 ･概数を基に、買い物に必要なだいたいの予算の見積もり

	9	(知及技)三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。また、円と関連付けて正多角形の性質を理解することができる。（高１段階） (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだし、説明することができる。（高１段階） (学･人)図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知及技)三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。また、円と関連付けて正多角形の性質を理解している。（高１段階） (思･判･表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだし、説明しようとしている。（高１段階） (主学）図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。（高１段階） [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【B図形】 「多角形」 「円と正多角形」	･三角形、四角形など多角形の性質、作図 ･円の性質、作図 ･正多角形の性質、作図 ･プログラミングによる平面図形の作図 ･身の回りにある平面図形
	10	(知及技)直方体や立方体について理解することができる。また、見取り図、展開図について理解することができる。（高１段階） (思判表力)図形を構成する要素に着目し，立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し，図形の性質を見いだすとともに，日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。（高１段階） (学･人)図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知及技)三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解している。 (思判表力)図形を構成する要素に着目し，立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し，図形の性質を見いだすとともに，日常の事象を図形の性質から捉え直すことができてる。（高１段階） (主学）図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。（高１段階） [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【B図形】 「直方体と立方体」 「見取り図と展開図」	･直方体と立方体の性質 ･空間図形の見取り図と展開図の作図 ･身の回りにある空間図形
2学期	9	(知及技)四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し，正しく計算することができる。(高１段階) (思判表力)問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。（高１段階） (学・人)数量の関係に関する数学的活動に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知及技)四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し，正しく計算しようとしている。 (思判表力)問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を〇や□または文字a、xなどを使って表したり、式の意味を読み取ったりすることができている。 (学・人)数量の関係に関する数学的活動に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組むことができる。（高１段階）	【A数量】 「数量の関係を表す式」	・計算の順序 ・方程式

	9	(知及技)比例の関係の意味や性質を理解し、比例の関係を用いた問題解決の方法について理解することができる。(高２段階) (思判表力)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。(高１段階) (学・人)変化と関係に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知・技)比例の関係の意味や性質を理解し、比例の関係を用いた問題解決の方法について理解している。 (思・判・表)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察しようとしている。 (主学) 変化と関係に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【C変化と関係】 「伴って変わる二つの数量」	・比例 ・反比例 ・さまざまなグラフ
	8	(知及技)小数や分数について理解し、小数及び分数同士の四則演算の計算をすることができる。（高２段階） (思判表力)数のまとまりに着目し，少数や分数でも数の大きさを比べたり，計算したりできるかどうかを考えることができる。（高２段階） (学･人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高２段階）	(知･技)小数や分数について理解し、小数及び分数同士の四則演算の計算をしようとしている。 (思･判･表)数のまとまりに着目し，少数や分数でも数の大きさを比べたり，計算したりできるかどうかを考えている。 (主学) 数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「小数とその計算」 「分数とその計算」	･小数の表し方 ･小数の四則演算 ･分数の表し方 ･分数の四則演算
３学期	9	(知及技)数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすることができる。(高１段階) (思判表力)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。(高１段階) (学･人)データの活用に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知･技)数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりしようとしている。 (思判表力)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。 (主学) データの活用に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【Dデータの活用】 「データの収集と分析」	･表と棒グラフ ･折れ線グラフ ･円グラフ、帯グラフ
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　　高等部　　３ 年　（Ⅱ課程A）　数学科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	３年ⅡA		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。（高２段階） (学･人)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技)２位数の基本的な計算を理解し、それを基に大きな数の四則演算の計算ができる。(高１段階) (思判表力)数の構成に着目し、大きな数の四則演算や筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現することができる。(高１段階) (学･人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知･技)２位数の基本的な計算を理解し、それを基に大きな数の四則演算の計算をしようとしている。 (思･判･表)数の構成に着目し、大きな数の四則演算や筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現しようとしている。 (主学) 数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「整数の加法･減法」 「整数の乗法」 「整数の除法」	･足し算、引き算 ･かけ算 ･わり算 ･筆算の仕方 ･計算機の使い方
	8	(知及技)概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをすることができる。(高１段階) (思判表力)日常の事象における場面に着目し，目的に合った数の処理の仕方を考え、説明することができる。(高１段階) (学･人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知･技) 概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしようとしている。 (思･判･表)日常の事象における場面に着目し，目的に合った数の処理の仕方を考え、説明しようとしている。 (主学) 数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「およその数の表し方」 「概数」	･４位数の整数を四捨五入して、概数を導き出す方法の学習 ･概数を基に、買い物に必要なだいたいの予算の見積もり

	9	(知及技)平行四辺形、ひし形、台形について知り、図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解することができる。また、三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだし、説明することができる。 (学・人)図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知及技)平行四辺形、ひし形、台形について知り、図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解している。また、三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。 (思・判・表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだし、説明しようとしている。 (主学) 図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【B図形】 「平面図形」	・三角形、四角形の性質、作図 ・平行四辺形、ひし形、台形の性質、作図 ・同じ図形 ・多角形の性質、作図
	10	(知及技)三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解することができる。（高１段階） (思判表力)図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだし、説明することができる。（高１段階） (学・人)図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知及技)三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解している。 (思判表力)図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだし、説明しようとしている。 (主学) 図形に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【B図形】 平面図形の面積	・三角形の面積 ・平行四辺形の面積 ・ひし形の面積 ・台形の面積
２学期	9	(知及技)四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し，正しく計算することができる。(高１段階) (思判表力)問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。（高１段階） (学・人)数量の関係に関する数学的活動に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知及技)四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し，正しく計算しようとしている。 (思判表力)問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を〇や□または文字a、xなどを使って表したり、式の意味を読み取ったりすることができている。 (学・人)数量の関係に関する数学的活動に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組むことができる。（高１段階）	【Ａ数量】 「数量の関係を表す式」	・計算の順序 ・方程式

	9	(知及技)比例の関係の意味や性質を理解し、比例の関係を用いた問題解決の方法について理解することができる。(高２段階) (思判表力)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。(高１段階) (学・人)変化と関係に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知・技)比例の関係の意味や性質を理解し、比例の関係を用いた問題解決の方法について理解している。 (思・判・表)伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察しようとしている。 (主学) 変化と関係に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【C変化と関係】 「伴って変わる二つの数量」	・比例 ・反比例 ・さまざまなグラフ
	8	(知及技)小数や分数について理解し、小数及び分数同士の四則演算の計算をすることができる。（高２段階） (思判表力)数のまとまりに着目し，少数や分数でも数の大きさを比べたり，計算したりできるかどうかを考えることができる。（高２段階） (学･人)数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高２段階）	(知･技)小数や分数について理解し、小数及び分数同士の四則演算の計算をしようとしている。 (思･判･表)数のまとまりに着目し，少数や分数でも数の大きさを比べたり，計算したりできるかどうかを考えている。 (主学) 数量に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気づき、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【A数と計算】 「小数とその計算」 「分数とその計算」	･小数の表し方 ･小数の四則演算 ･分数の表し方 ･分数の四則演算
３学期	9	(知及技)数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすることができる。(高１段階) (思判表力)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。(高１段階) (学･人)データの活用に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活に活用することができる。（高１段階）	(知･技)数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりしようとしている。 (思判表力)目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。 (主学) データの活用に進んで関わり、数学で学んだことの良さに気付き、課題に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/提出物/活動の様子で評価する。	【Dデータの活用】 「データの収集と分析」	･表と棒グラフ ･折れ線グラフ ･円グラフ、帯グラフ
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度　　高等部　１～３ 年　（Ⅱ課程B） 数学科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1～3年ⅡB		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。（高１段階） (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。（高１段階） (学･人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	20	(知及技) 「いち、に、さん」と数えながら、３つ取ることができる。（小1段階） (思判表力) 皿の位置や果物の種類が変わっても１対１対応で配ることができる。（小1段階） (学・人) 数に関心をもって、自ら学習に取り組むことができる。（小1段階）	(知・技) 「いち、に、さん」と声を出しながら数えたり、具体物を３つ数えながらとろうとしている。 (思・判・表) 場所や物の種類が変わっても1対1対応で配ろうとしている。 (主学) 数に関心をもち、自ら学習に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【　B数と計算　】 ボールを配ろう/数えよう	【対応させてものを配る】 ・３つのボールを数える。 ・３個のボールと容器を１対１で対応させて配る。 【形や色が変わっても対応させてものを配る】 ・容器に対して違うボール（3種類）を配る。 【位置が変わっても対応させてものを配る】 ・容器を教卓に広げて置き、具体物を配る。 ・容器を生徒個々の机に置き、具体物を配る。
	5	(知及技) 時計の文字盤の並びが分かる。短針が示す時間を理解し、〇時と答えることができる。（小1段階） (思判表力) 時計の示す時間と1日の生活の流れを結びつけることができる。（小1段階） (学・人) 時計と生活との結びつきを理解し、学習や生活に活かそうとすることができる。（小1段階）	(知・技) 時計の文字盤の数を並べることができる。〇時のときの短針の数字を指す（答える）ことができる。 (思・判・表) 時計の示す時間と1日の生活の流れを結びつけようとしている。 (主学) 時計と生活との結びつきを理解し、生活にいかそうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【C測定】 時計をよもう	時計の短針（時）の読み方 ・文字盤の数字のマッチング ・短針を動かし、〇時の時間を示す。
2学期	14	(知及技) 〇、△、□の形と名称を合わせることができる。（小２段階） (思判表力) 写真やイラストで形の特徴に気づいて、〇、△、□に分けることができる。（小２段階） (学・人) 日常の図形（食べ物や道路標識など）に注目し、形に興味をもつことができる。（小２段階）	(知・技) 〇、△、□の形と名称を合わせようとしている。 (思・判・表) 形の特徴に気づき、〇、△、□に分けようとしている。 (主学) 日常の図形に関心をもって学習しようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【B図形】 色々な図形を並べてみよう 色々な図形に触れてみよう	・〇、△、□の型はめをする ・写真やイラストにある、〇、△、□を探す
	14	(知及技) ものの「長さ」に注目し、２つの量の違いや用語を理解することができる。（小２段階） (思判表力) ものの長さに応じて、「長い・短い」を判断することができる。（小２段階） (学・人) 「長さ」の量の違いに興味をもち、自ら学習に取り組むことができる。（小２段階）	(知・技) ２つの量を比べたり、「長さ」を図ろうとしたりする。 (思・判・表) 長さの「長い・短い」について考えようとしている。 (主学) 「長さ」について関心をもち、学習に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【C測定】 「長さ」を知ろう	【長いか短いかを判断する】 ケースに入った棒から長さの判断をして分けていく。 【長い・短いを選択する】 2本の棒で「長い（短い）方どっち？」の質問に対して応える 【1本を基準に判断する】 1本の棒を基準にして「長い（短い）方はどれ？」の質問に対し選択する。 【身の回りのものの長さを判断する】
3学期	17	(知及技) 赤い玉と白い玉を対応させることによって、玉の同等や多少の確認ができる。（小２段階） (思判表力) 赤い玉と白い玉の個数に着目してグラフに表し多少を読み取って勝敗を判断することができる。（小２段階） (学・人) 玉の数量やグラフの作成に興味をもって向かうことができる。（小２段階）	(知・技) 玉の同等や多少の確認に取り組もうとしている。 (思・判・表) グラフから数の多少を読み取ろうとしている。数が多い方がどちらであるか確認しようとしている。 (主学) グラフや活動に関心をもち、学習に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	【Dデータの活用】 勝敗を決めよう	【ゲームをして得点表をつくろう】 ・色つきの玉と白い玉を箱に分け、同数が理解できるようにする。 ・色つきの玉と白い玉を使い、多い少ないを学習する。 ・玉入れの勝敗を決めよう。表を使用し、入った玉の数を表で比べ多少、同等の判断をする。

留意点 引継ぎ等	

令和８年度　高等部１年（Ⅱ課程Ａ）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1学年Ⅱ課程Ａ類型		プリント、ＩＣＴ機器

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に問題解決するための必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高１段階) (思判表力)観察、実験などを行い、「疑問をもつ力と予想や仮設を立てる力」「解決の方法を考える力とより妥当な考え方」を養う。(高１段階) (学･人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	12	(知及技)植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを　理解する。植物の発芽には、水、空気、及び温度が関係していることを理解する。植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解する。植物の発芽や成長について観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。(高１段階) (思判表力)植物の発芽や成長について予想仮説を基に解決の方法を発想し、結果を基に考察したことを表現する。(高１段階) (学･人)植物の発芽、成長、結実について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高１段階)	(知･技)植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを　理解している。植物の発芽には、水、空気、及び温度が関係していることを理解している。植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。植物の発芽や成長について観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けている。 (思･判･表)植物の発芽や成長について予想仮説を基に解決の方法を発想し、結果を基に考察したことを表現している。 (主学)植物の発芽、成長、結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	植物の発芽、成長、結実(Ａ生命)	種子が発芽する条件 種子の発芽と養分 植物が成長する条件 花のつくり
	10	(知及技)魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解する。卵の中の変化について過程や得られた結果を記録する。(高１段階) (思判表力)卵の中の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、結果を基に考察したことを表現する。(高１段階) (学･人)動物の誕生について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高１段階)	(知･技)魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。卵の中の変化について過程や得られた結果を記録している。 (思･判･表)卵の中の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、結果を基に考察したことを表現している。 (主学)動物の誕生について学んだことを学習や生活に生かそうととしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	動物の誕生(Ａ生命)	メダカの飼育 たまごの変化
２学期	4	(知及技)流れる水には、土地を侵食したり，石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解する。川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解する。雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解する。 (思判表力)流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。 (学･人)流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとする。	(知･技)流れる水には、土地を侵食したり，石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 (思･判･表)流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現している。 (主学)流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	流れる水の働きと土地の変化(Ｂ地球･自然)	川原の石 流れる水のはたらき わたしたちのくらしと災害
３学期	9	(知及技)天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解する。天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解する。天気の変化の仕方について調べ、結果を記録する。(高１段階) (思判表力)天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。(高１段階) (学･人)天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高１段階)	(知･技)天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解してい。天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。天気の変化の仕方について調べ、結果を記録している。 (思･判･表)天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現している。 (主学)天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	天気の変化(Ｂ地球･自然)	雲と天気 天気の予想
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　高等部２年（Ⅱ課程Ａ）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	２学年Ⅱ課程Ａ類型		プリント、ＩＣＴ機器

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に問題解決するための必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)観察、実験などを行い、「疑問をもつ力と予想や仮設を立てる力」「解決の方法を考える力とより妥当な考え方」を養う。(高２段階) (学･人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。(高２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技)土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解する。地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解する。土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解する。(高２段階) (思判表力)土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現する。(高２段階) (学･人)土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解している。 (思･判･表)土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 (主学) 土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	土地のつくりと変化 (Ｂ地球･自然)	大地のつくり 地層のでき方 地震や火山の噴火と大地の変化 私達のくらしと災害
	6	(知及技)月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解する。月の形の見え方について、観察、実験などの過程や結果を記録する。(高２段階) (思判表力)月の形の見え方について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。(高２段階) (学･人)月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。月の形の見え方について、観察、実験などの過程や結果を記録している。 (思･判･表)月の形の見え方について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現している。 (主学)月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	月と太陽 (Ｂ地球･自然)	月のようす 月の形の見え方
2学期	7	(知及技)植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解する。燃焼の仕組みについて過程や結果を記録する。(高２段階) (思判表力))燃焼の仕組みについて、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現する。(高２段階) (学･人)燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。燃焼の仕組みについて過程や結果を記録している。 (思･判･表)燃焼の仕組みについて、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現している。 (主学)燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	燃焼の仕組み (Ｃ物質･ｴﾈﾙｷﾞｰ)	物が燃え続けるには 物を燃やすはたらきのある気体 空気の変化
	7	(知及技)水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解する。水溶液には，気体が溶けているものがあることを理解する。水溶液には，金属を変化させるものがあることを理解する。水溶液の性質や働きについて過程や結果を記録する。(高２段階) (思判表力)水溶液の性質について、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現する。(高２段階) (学･人)水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。水溶液には，気体が溶けているものがあることを理解している。水溶液には，金属を変化させるものがあることを理解している。水溶液の性質や働きについて過程や結果を記録している。 (思･判･表)水溶液の性質について、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現している。 (主学)水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	水溶液の性質 (Ｃ物質･ｴﾈﾙｷﾞｰ)	水溶液に溶けている物 水溶液の仲間分け 水溶液のはたらき

3学期	9	(知及技)力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解する。身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解する。てこの規則性について過程や結果を記録する。(高２段階) (思判表力)てこの規則性について、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現する。(高２段階) (学･人)てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。てこの規則性について過程や結果を記録している。 (思･判･表)てこの規則性について、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現している。 (主学)てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	てこの規則性 (C物質･ｴﾈﾙｷﾞｰ)	てこのはたらき てこが水平につり合う時 てこを利用した道具
留意点引継ぎ等					

令和８年度　高等部３年（Ⅱ課程Ａ）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３学年Ⅱ課程Ａ類型		プリント、ＩＣＴ機器

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に問題解決するための必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高３段階) (思判表力)観察、実験などを行い、「疑問をもつ力と予想や仮設を立てる力」「解決の方法を考える力とより妥当な考え方」を養う。(高３段階) (学･人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。(高３段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技)体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解する。食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解する。血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解する。体内には、生命活動を維持するためのさまざまな臓器があることを理解する。(高２段階) (思判表力)人や他の動物の体のつくりと働きについて、予想や仮説を基に解決の方法を発想したり、より妥当な考えをつくりだしたりし、それらを表現する。(高２段階) (学･人)人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)体内に酸素が取り入れられ，体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。また、食べ物は，口，胃，腸などを通る間に消化，吸収され，吸収されなかった物は排出されることを理解し、血液は，心臓の働きで体内を巡り，養分，酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。体内には，生命活動を維持するためのさまざまな臓器があることを理解している。 (思･判･表)人や他の動物の体のつくりと働きについて，問題を見いだし，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 (主学) 人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	人の体のつくりと働き(Ａ生命)	人の体のつくりと働き・生物の体のつくりと働き・生物と環境
	6	(知及技)植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解する。根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解する。植物の体のつくりと働きについて、過程や得られた結果を適切に記録する。(高２段階) (思判表力)植物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、表現する。(高２段階) (学･人)植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解している。また、根，茎及び葉には，水の通り道があり，根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解している。植物の体のつくりと働きについて，実験などの目的に応じて，器具や機器などを選択して，正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思･判･表)植物の体のつくりと働きについて，問題を見いだし，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 (主学) 植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	植物の体のつくりと働き(Ａ生命)	生物と細胞・植物の体のつくりと働き・生物の観察
2学期	7	(知及技)生き物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解する。生き物の間には、食う食われるという関係があることを理解する。(高２段階) (思判表力)生き物と環境について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。(高２段階) (学･人))生き物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(高２段階)	(知･技)生き物は，水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。また、生き物の間には，食う食われるという関係があることを理解している。 (思･判･表)生き物と環境について，問題を見いだし，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 (主学) 生き物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	生物の環境(Ａ生命)	生物の成長の殖え方・生物と環境・
	7	(知及技)物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解する。物が水に溶ける量には、限度があることを理解する。物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、この性質を利用して溶けている物を取り出すことができることを理解する。物の溶け方について、過程や得られた結果を適切に記録する。(高２段階) (思判表力)物の溶け方について、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現する。(高２段階) (学･人)物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)物が水に溶けても，水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解している。物が水に溶ける量には，限度があることを理解している。また、物が水に溶ける量は水の温度や量，溶ける物によって違うこと，また，この性質を利用して，溶けている物を取り出すことができることを理解している。 (思･判･表)物の溶け方について，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 (主学) 物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	水溶液の性質(Ｃ物質･ｴﾈﾙｷﾞｰ)	水溶液に溶けている物 水溶液の仲間分け 水溶液のはたらき

3学期	9	(知及技)乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解する。電流の働きについて、過程や得られた結果を記録する。(高２段階) (思判表力)電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想し、結果を基に考察したことを表現する。(高２段階) (学･人)電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)乾電池の数やつなぎ方を変えると，電流の大きさや向きが変わり，豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。電流の働きについて，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思･判･表)電流の働きについて，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 (主学) 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	電気の通り道(Ｃ物質･ｴﾈﾙｷﾞｰ)	電気の通り道・磁石の性質・電気の働き
留意点引継ぎ等					

令和８年度　高等部１年（Ⅱ課程Ｂ）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1学年Ⅱ課程Ｂ類型		プリント ＩＣＴ機器

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に問題解決するための必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高１段階) (思判表力)観察、実験などを行い、「疑問をもつ力と予想や仮設を立てる力」「解決の方法を考える力とより妥当な考え方」を養う。(高１段階) (学･人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	12	(知及技)植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを　理解する。植物の発芽には、水、空気、及び温度が関係していることを理解する。植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解する。植物の発芽や成長について観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。(高１段階) (思判表力)植物の発芽や成長について予想仮説を基に解決の方法を発想し、結果を基に考察したことを表現する。(高１段階) (学･人)植物の発芽、成長、結実について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高１段階)	(知･技)植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを　理解している。植物の発芽には、水、空気、及び温度が関係していることを理解している。植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。植物の発芽や成長について観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けている。 (思･判･表)植物の発芽や成長について予想仮説を基に解決の方法を発想し、結果を基に考察したことを表現している。 (主学)植物の発芽、成長、結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	植物の発芽、成長、結実(Ａ生命)	種子が発芽する条件 種子の発芽と養分 植物が成長する条件 花のつくり
	10	(知及技)魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解する。卵の中の変化について過程や得られた結果を記録する。(高１段階) (思判表力)卵の中の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、結果を基に考察したことを表現する。(高１段階) (学･人)動物の誕生について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高１段階)	(知･技)魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。卵の中の変化について過程や得られた結果を記録している。 (思･判･表)卵の中の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、結果を基に考察したことを表現している。 (主学)動物の誕生について学んだことを学習や生活に生かそうととしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	動物の誕生(Ａ生命)	メダカの飼育 たまごの変化
２学期	4	(知及技)流れる水には、土地を侵食したり，石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解する。川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解する。雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解する。 (思判表力)流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。 (学･人)流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとする。	(知･技)流れる水には、土地を侵食したり，石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 (思･判･表)流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現している。 (主学)流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	流れる水の働きと土地の変化 (Ｂ地球･自然)	川原の石 流れる水のはたらき わたしたちのくらしと災害
３学期	9	(知及技)天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解する。天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解する。天気の変化の仕方について調べ、結果を記録する。(高１段階) (思判表力)天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。(高１段階) (学･人)天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高１段階)	(知･技)天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解してい。天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。天気の変化の仕方について調べ、結果を記録している。 (思･判･表)天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現している。 (主学)天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	天気の変化 (Ｂ地球･自然)	雲と天気 天気の予想
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　高等部２年（Ⅱ課程Ｂ）理科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	２学年Ⅱ課程Ｂ類型		プリント ＩＣＴ機器

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に問題解決するための必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)観察、実験などを行い、「疑問をもつ力と予想や仮設を立てる力」「解決の方法を考える力とより妥当な考え方」を養う。(高２段階) (学･人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。(高２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技)土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解する。地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解する。土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解する。(高２段階) (思判表力)土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現する。(高２段階) (学･人)土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解している。 (思･判･表)土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 (主学) 土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	土地のつくりと変化 (Ｂ地球･自然)	大地のつくり 地層のでき方 地震や火山の噴火と大地の変化 私達のくらしと災害
	6	(知及技)月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解する。月の形の見え方について、観察、実験などの過程や結果を記録する。(高２段階) (思判表力)月の形の見え方について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。(高２段階) (学･人)月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。月の形の見え方について、観察、実験などの過程や結果を記録している。 (思･判･表)月の形の見え方について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現している。 (主学)月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	月と太陽 (Ｂ地球･自然)	月のようす 月の形の見え方
2学期	7	(知及技)植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解する。燃焼の仕組みについて過程や結果を記録する。(高２段階) (思判表力))燃焼の仕組みについて、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現する。(高２段階) (学･人)燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。燃焼の仕組みについて過程や結果を記録している。 (思･判･表)燃焼の仕組みについて、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現している。 (主学)燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	燃焼の仕組み (Ｃ物質･ｴﾈﾙｷﾞｰ)	物が燃え続けるには 物を燃やすはたらきのある気体 空気の変化
	7	(知及技)水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解する。水溶液には，気体が溶けているものがあることを理解する。水溶液には，金属を変化させるものがあることを理解する。水溶液の性質や働きについて過程や結果を記録する。(高２段階) (思判表力)水溶液の性質について、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現する。(高２段階) (学･人)水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。水溶液には，気体が溶けているものがあることを理解している。水溶液には，金属を変化させるものがあることを理解している。水溶液の性質や働きについて過程や結果を記録している。 (思･判･表)水溶液の性質について、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現している。 (主学)水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	水溶液の性質 (Ｃ物質･ｴﾈﾙｷﾞｰ)	水溶液に溶けている物 水溶液の仲間分け 水溶液のはたらき

3学期	9	(知及技)力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解する。身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解する。てこの規則性について過程や結果を記録する。(高２段階) (思判表力)てこの規則性について、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現する。(高２段階) (学･人)てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。てこの規則性について過程や結果を記録している。 (思･判･表)てこの規則性について、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現している。 (主学)てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	てこの規則性 (C物質･ｴﾈﾙｷﾞｰ)	てこのはたらき てこが水平につり合う時 てこを利用した道具
留意点引継ぎ等					

令和８年度　高等部３年（Ⅱ課程Ｂ）理科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３学年Ⅱ課程Ｂ類型		プリント ＩＣＴ機器

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に問題解決するための必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高３段階) (思判表力)観察、実験などを行い、「疑問をもつ力と予想や仮設を立てる力」「解決の方法を考える力とより妥当な考え方」を養う。(高３段階) (学･人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。(高３段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技)体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解する。食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解する。血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解する。体内には、生命活動を維持するためのさまざまな臓器があることを理解する。(高２段階) (思判表力)人や他の動物の体のつくりと働きについて、予想や仮説を基に解決の方法を発想したり、より妥当な考えをつくりだしたりし、それらを表現する。(高２段階) (学･人)人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)体内に酸素が取り入れられ，体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。また、食べ物は，口，胃，腸などを通る間に消化，吸収され，吸収されなかった物は排出されることを理解し、血液は，心臓の働きで体内を巡り，養分，酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。体内には，生命活動を維持するためのさまざまな臓器があることを理解している。 (思･判･表)人や他の動物の体のつくりと働きについて，問題を見いだし，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 (主学) 人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	人の体のつくりと働き(Ａ生命)	人の体のつくりと働き・生物の体のつくりと働き・生物と環境
	6	(知及技)植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解する。根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解する。植物の体のつくりと働きについて、過程や得られた結果を適切に記録する。(高２段階) (思判表力)植物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、表現する。(高２段階) (学･人)植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解している。また、根，茎及び葉には，水の通り道があり，根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解している。植物の体のつくりと働きについて，実験などの目的に応じて，器具や機器などを選択して，正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思･判･表)植物の体のつくりと働きについて，問題を見いだし，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 (主学) 植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	植物の体のつくりと働き(Ａ生命)	生物と細胞・植物の体のつくりと働き・生物の観察
2学期	7	(知及技)生き物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解する。生き物の間には、食う食われるという関係があることを理解する。(高２段階) (思判表力)生き物と環境について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。(高２段階) (学･人))生き物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(高２段階)	(知･技)生き物は，水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。また、生き物の間には，食う食われるという関係があることを理解している。 (思･判･表)生き物と環境について，問題を見いだし，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 (主学) 生き物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	生物の環境(Ａ生命)	生物の成長の殖え方・生物と環境・
	7	(知及技)物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解する。物が水に溶ける量には、限度があることを理解する。物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、この性質を利用して溶けている物を取り出すことができることを理解する。物の溶け方について、過程や得られた結果を適切に記録する。(高２段階) (思判表力)物の溶け方について、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、得られた結果を基に考察したことを表現する。(高２段階) (学･人)物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)物が水に溶けても，水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解している。物が水に溶ける量には，限度があることを理解している。また、物が水に溶ける量は水の温度や量，溶ける物によって違うこと，また，この性質を利用して，溶けている物を取り出すことができることを理解している。 (思･判･表)物の溶け方について，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 (主学) 物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	水溶液の性質 (Ｃ物質･ｴﾈﾙｷﾞｰ)	水溶液に溶けている物 水溶液の仲間分け 水溶液のはたらき

3学期	9	(知及技)乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解する。電流の働きについて、過程や得られた結果を記録する。(高２段階) (思判表力)電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想し、結果を基に考察したことを表現する。(高２段階) (学･人)電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとする。(高２段階)	(知･技)乾電池の数やつなぎ方を変えると，電流の大きさや向きが変わり，豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。電流の働きについて，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思･判･表)電流の働きについて，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 (主学) 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子	電気の通り道(Ｃ物質･ｴﾈﾙｷﾞｰ)	電気の通り道・磁石の性質・電気の働き
留意点引継ぎ等					

令和７年度　高等部　　１年（Ⅱ課程A）　音楽科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部1年Ⅱ課程A類型		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　曲想と音楽の構造などとの関わり及び多様なジャンルの音楽があることを知るとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする（中１段階） (思判表力) 　音楽表現を自分なりに工夫することや、音楽を自分なりに評価することを通して、そのよさや美しさを感じながら聴くことができるようにする（中１段階） (学･人) 　音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。（中１段階）

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
年間を通して	28	Aイ【器楽】 (知及技) ・曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 ・楽器の音色と全体の響きとの関わりについて理解することができる。 ・簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能を身に付ける。 ・音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を身に付ける。 ・友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 （学・人） ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	Aイ【器楽】 (知・技) ・曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・楽器の音色と全体の響きとの関わりについて理解している。 ・簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ・音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ・友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、録音録画などで評価する。	○楽器の音を出してみよう ○部分奏を楽しもう ○よく聴いて合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう ○一緒に合わせよう響かせよう	・打楽器、キーボード、三線の基本的な奏法について学習する ・打楽器、キーボード、三線の音を出してみる。 ・演奏したい楽器を自分で選択してパート練習をする。 ・皆と一緒に合奏練習をする。 ・練習の成果を発表する。

年間を通して	4	Ａウ【創作】 (知及技) ・いろいろな音の響きの特徴について理解することができる。 ・リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴について理解することができる。 ・設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 ・音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得たり、音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつことができる。 （学・人） ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	Ａウ【創作】 (知・技) ・いろいろな音の響きの特徴について理解している。 ・リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴について理解している。 ・設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付け、創作している。 ・音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる技能を身に付け、創作している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、音楽づくりに対する思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] ワークシート・プリント/活動の様子で評価する。	○音やフレーズをつくろう ○沖縄の音階に親しもう	・拍子に合わせて4小節程度のリズムやフレーズを考えて表現することができる。 ・自分の担当する楽器で、演奏する曲の中のフレーズを自分なりに考えて作る。 ・沖縄の音階を知り、音階を使って沖縄らしい音やフレーズ、響きを作る。
年間を通して	3	Ａエ【身体表現】 (知及技) ・曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 ・曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて理解することができる。 ・示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりする技能を身に付ける。 ・音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせて身体表現をする技能を身に付ける。 ・友達と動きを合わせて表現する技能を身に付ける。 (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。 （学・人） ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	Ａエ【身体表現】 (知・技) ・曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて理解している。 ・示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりする技能を身に付け、身体表現で表している。 ・音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせて身体表現をする技能を身に付け、身体表現で表している。 ・友達と動きを合わせて表現をする技能を身に付け、身体表現で表している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、身体表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に身体表現の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	○身体表現を楽しもう ○一緒に合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう	・ダンス ・リトミック

年間を通して	5	B【鑑賞】 (知)※ ・曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。 (思判表力) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。 （学・人） ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	B【鑑賞】 (知)※ ・曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かっている。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを感じながら聴いたりしている。 (主学) ・【※】に興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（曲の評価や感想）/活動の様子で評価する。	○様々なジャンルの音楽 ○沖縄の音楽に親しもう ○卒業式に向けて	・様々なジャンルの曲を聴く。 ・鑑賞後に感じたことを伝えたり他の人の感想を聞く。 ・なぜそのように感じたのかを考える。 ・季節や曲の活用場面を考えて選曲をする。 ・鑑賞して曲を評価し、選曲する。
1～2学期	18	Aア【歌唱】 (知及技) ・曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 ・曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて理解することができる。 ・範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりする技能を身に付ける。 ・発声の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。 ・友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 （学・人） ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	Aア【歌唱】 (知・技) ・曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて理解している。 ・範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりする技能を身に付け、歌唱で表している。 ・発声の仕方に気を付けて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ・友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、録音録画などで評価する。	○校歌に親しもう ○歌い合わせる楽しみ ○よく聴いて合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう ○一緒に合わせよう響かせよう	・様々なジャンルの曲にふれ皆と一緒に歌い合わせる。 ・歌詞の内容や表現方法について考えたり、意見を聞いたりする。 ・皆と一緒に練習に取り組む。 ・練習の成果を発表する。
2～3学期	12			○卒業式に向けて	・「卒業の歌」メロディーの音取り ・歌詞の内容の解釈 ・高等部全員で伴奏に合わせて歌唱練習をする
留意点 引継ぎ等	※題材の評価規準（思・判・表）については音楽を形づくっている要素【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】の中から教材や生徒個々の実態に応じて適切に選択して評価する。 ※題材の評価規準（主学）については教材や生徒個々の実態に応じて【　】に適切な文言（教材、音楽の要素など）を挿入する。 ※Ｂ「鑑賞」では技能に関する評価規準を設定しない。				

令和８年度　高等部　２年（Ⅱ課程A）音楽科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部２年Ⅱ課程A類型		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　曲想と音楽の構造などとの関わり及び多様なジャンルの音楽があることを知るとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする（中２段階） (思判表力) 　音楽表現を自分なりに工夫することや、音楽を自分なりに評価することを通して、そのよさや美しさを感じながら聴くことができるようにする（中2段階） (学･人) 　音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。（中2段階）

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
年間を通して	28	Aイ【器楽】 (知及技) ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 ・多様な楽器の音色と全体の響きとの関わりについて理解することができる。 ・簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して、演奏する技能を身に付ける。 ・打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、音色や響きに気を付けて演奏する技能を身に付ける。 ・友達の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学･人) ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	Aイ【器楽】 (知・技) ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・多様な楽器の音色と全体の響きとの関わりについて理解している。 ・簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して、演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ・打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、音色や響きに気を付けて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ・友達の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、録音録画などで評価する。	○楽器の音を出してみよう ○部分奏を楽しもう ○よく聴いて合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう ○一緒に合わせよう響かせよう	・打楽器、キーボード、三線の基本的な奏法について学習する ・打楽器、キーボード、三線の音を出してみる。 ・演奏したい楽器を自分で選択してパート練習をする。 ・皆と一緒に合奏練習をする。 ・練習の成果を発表する。

年間を通して	4	Ａウ【創作】 (知及技) ・いろいろな音の響きやそれらの組み合わせが生み出す特徴や面白さについて理解することができる。 ・音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について理解することができる。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合わせなどの技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができるようにする。 (学･人) ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	Ａウ【創作】 (知・技) ・いろいろな音の響きやそれらの組合わせが生み出す特徴や面白さについて理解している。 ・音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について理解している。 ・課題や条件に沿った音の選択や組合わせなどの技能を身に付け、創作している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、音楽づくりに対する思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] ワークシート・プリント/活動の様子で評価する。	○音やフレーズをつくろう ○沖縄の音階に親しもう	・拍子に合わせて4小節程度のリズムやフレーズを考えて表現することができる。 ・自分の担当する楽器で、演奏する曲の中のフレーズを自分なりに考えて作る。 ・沖縄の音階を知り、音階を使って沖縄らしい音やフレーズ、響きを作る。
年間を通して	3	Ａエ【身体表現】 (知及技) ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 ・曲想と体の動きとの関わりについて理解することができる。 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けるようにする。 ・設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をする技能を身に付けるようにする。 ・友達と動きを組み合わせて表現をする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができるようにする。 (学･人) ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	Ａエ【身体表現】 (知・技) ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲想と体の動きとの関わりについて理解している。 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付け、身体表現で表している。 ・設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をする技能を身に付け、身体表現で表している。 ・友達と動きを組合わせて表現をする技能を身に付け、身体表現で表している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、身体表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に身体表現の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	○身体表現を楽しもう ○一緒に合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう	・ダンス ・リトミック

年間を通して	5	B【鑑賞】 (知) ・曲想及びその変化と、音楽構造との関わりについて理解することができる。 (思判表力) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさを感じながら聴くことができるようにする。 (学･人) ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	B【鑑賞】 (知) ・曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを感じながら聴いたりしている。 (主学) ・【※】に興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（曲の評価や感想）/活動の様子で評価する。	○様々なジャンルの音楽 ○沖縄の音楽に親しもう ○卒業式に向けて	・様々なジャンルの曲を聴く。 ・鑑賞後に感じたことを伝えたり他の人の感想を聞く。 ・なぜそのように感じたのかを考える。 ・季節や曲の活用場面を考えて選曲をする。 ・鑑賞して曲を評価し、選曲する。
1～2学期	18	Aア【歌唱】 (知及技) ・曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 ・声の音色や響きと発声との関わりについて理解することができる。 ・範唱を聴いたり、楽譜を見たりして歌う技能を身に付けるようにする。 ・呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けるようにする。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫することができるようにする。 (学･人) ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	Aア【歌唱】 (知・技) ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響きと発声との関わりについて理解している。 ・範唱を聴いたり、楽譜を見たりして歌う技能を身に付け，歌唱で表している。 ・呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを感じながら聴いたりしている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、録音録画などで評価する。	○校歌に親しもう ○歌い合わせる楽しみ ○よく聴いて合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう ○一緒に合わせよう響かせよう	・様々なジャンルの曲にふれ皆と一緒に歌い合わせる。 ・歌詞の内容や表現方法について考えたり、意見を聞いたりする。 ・皆と一緒に練習に取り組む。 ・練習の成果を発表する。
2～3学期	12			○卒業式に向けて	・「卒業の歌」メロディーの音取り ・歌詞の内容の解釈 ・高等部全員で伴奏に合わせて歌唱練習をする
留意点 引継ぎ等		※題材の評価規準（思・判・表）については音楽を形づくっている要素【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】の中から教材や生徒個々の実態に応じて適切に選択して評価する。 ※題材の評価規準（主学）については教材や生徒個々の実態に応じて【　】に適切な文言を挿入する。 ※Ｂ「鑑賞」には技能に関する内容はない。			

令和７年度　高等部　　３年（Ⅱ課程A）　音楽科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部３年Ⅱ課程A類型		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　曲想と音楽の構造などとの関わり及び多様なジャンルの音楽があることを知るとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする（高１段階） (思判表力) 　音楽表現を自分なりに工夫することや、音楽を自分なりに評価することを通して、そのよさや美しさを感じながら聴くことができるようにする（高１段階） (学･人) 　音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。（高１段階）

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
年間を通して	28	Aイ【器楽】 (知及技) ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 ・多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解することができる。 ・範奏を聴いたり、楽譜を見たりして演奏する技能を身に付ける。 ・音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付ける。 ・各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら，器楽表現を創意工夫することができる。 (学･人) ・主体的・協働的に器楽の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	Aイ【器楽】 (知・技) ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。 ・範奏を聴いたり、楽譜を見たりして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ・音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ・各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、録音録画などで評価する。	○楽器の音を出してみよう ○部分奏を楽しもう ○よく聴いて合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう ○一緒に合わせよう響かせよう	・打楽器、キーボード、三線の基本的な奏法について学習する ・打楽器、キーボード、三線の音を出してみる。 ・演奏したい楽器を自分で選択してパート練習をする。 ・皆と一緒に合奏練習をする。 ・練習の成果を発表する。

年間を通して	4	Ａウ【創作】 (知及技) ・いろいろな音の響きやそれらの組み合わせが生み出す特徴や面白さについて理解することができる。 ・音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について理解することができる。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合わせなどの技能を身に付ける。 (思判表力) ・創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。 (学･人) 主体的・協働的に創作の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	Ａウ【創作】 (知・技) ・いろいろな音の響きやそれらの組合わせが生み出す特徴や面白さについて理解している。 ・音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について理解している。 ・課題や条件に沿った音の選択や組合わせなどの技能を身に付け、創作している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] ワークシート・プリント/活動の様子で評価する。	○音やフレーズをつくろう ○沖縄の音階に親しもう	・拍子に合わせて4小節程度のリズムやフレーズを考えて表現することができる。 ・自分の担当する楽器で、演奏する曲の中のフレーズを自分なりに考えて作る。 ・沖縄の音階を知り、音階を使って沖縄らしい音やフレーズ、響きを作る。
年間を通して	3	Ａエ【身体表現】 (知及技) ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 ・曲想と体の動きとの関わりについて理解することができる。 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付ける。 ・設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をする技能を身に付ける。 ・友達と動きを組み合わせて表現をする技能を身に付ける。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。 (学･人) 主体的・協働的に身体表現の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	Ａエ【身体表現】 (知・技) ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲想と体の動きとの関わりについて理解している。 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付け、身体表現で表している。 ・設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をする技能を身に付け、身体表現で表している。 ・友達と動きを組合わせて表現をする技能を身に付け、身体表現で表している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように身体表現するかについて思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に身体表現の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	○身体表現を楽しもう ○一緒に合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう	・ダンス ・リトミック

年間を通して	5	B【鑑賞】 (知)※ ・曲想及びその変化と、音楽構造との関わりについて理解することができる。 (思判表力) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさを感じながら聴くことができる。 （学・人） ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	B【鑑賞】 (知)※ ・曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲想及びその変化と、音楽の構造との関わり及び音楽の特徴とその背景となる文化との関わりについて考え、曲や演奏のよさを感じながら聴いている。 (主学) ・【※】に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 授業プリント（曲の評価や感想）/活動の様子で評価する。	○様々なジャンルの音楽 ○沖縄の音楽に親しもう ○卒業式に向けて	・様々なジャンルの曲を聴く。 ・鑑賞後に感じたことを伝えたり他の人の感想を聞く。 ・なぜそのように感じたのかを考える。 ・季節や曲の活用場面を考えて選曲をする。 ・鑑賞して曲を評価し、選曲する。
1～2学期	18	Aア【歌唱】 (知及技) ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解することができる。 ・声の音色や響きと発声との関わりについて理解することができる。 ・範唱を聴いたり、楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。 ・呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫することができる。 (学･人) 主体的・協働的に歌唱の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	Aア【歌唱】 (知・技) ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響きと発声との関わりについて理解している。 ・範唱を聴いたり、楽譜を見たりして歌う技能を身に付け，歌唱で表している。 ・呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学) ・【※】に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、録音録画などで評価する。	○校歌に親しもう ○歌い合わせる楽しみ ○よく聴いて合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう ○一緒に合わせよう響かせよう	・様々なジャンルの曲にふれ皆と一緒に歌い合わせる。 ・歌詞の内容や表現方法について考えたり、意見を聞いたりする。 ・皆と一緒に練習に取り組む。 ・練習の成果を発表する。
2～3学期	10			○卒業式に向けて	・「卒業の歌」メロディーの音取り ・歌詞の内容の解釈 ・高等部全員で伴奏に合わせて歌唱練習をする
留意点 引継ぎ等	※題材の評価規準（思・判・表）については音楽を形づくっている要素【音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成】の中から教材や生徒個々の実態に応じて適切に選択して評価する。 ※題材の評価規準（主学）については教材や生徒個々の実態に応じて【　】に適切な文言（教材、音楽の要素など）を挿入する。 ※Ｂ「鑑賞」では技能に関する評価規準を設定しない。				

令和７年度　高等部　　１～２年（Ⅱ課程B）　音楽科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部1～２年Ⅱ課程B類型		ー

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様なジャンルの音楽にふれ、興味関心のある音楽を聴いて自分なりの音楽表現をすることができる。（小２段階） (思判表力) 音楽表現を自分なりに工夫することを通して、そのよさや美しさを感じながら聴くことができる。（小２段階） (学・人) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。（小２段階）

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
年間を通して	28	Aイ【器楽】 (知及技) ･リズム、速度や強弱の違いについて気づくことができる。 ･演奏の仕方による楽器の音色の違いについて理解することができる。 ･簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする技能を身に付けることができる。 ･身近な打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。。 ･教師や友達と一緒に演奏する技能を身に付けることができる。 (思判表力) ･器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 (学･人) ･音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味を持つと共に音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	Aイ【器楽】 (知･技) ･リズム、速度や強弱の違いについて気づいている。 ･演奏の仕方による楽器の音色の違いについて理解できている。 ･簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする技能を身に付けている。 ･身近な打楽器を演奏する日農を身につけている。 ･教師や友達と一緒に演奏する技能する技能を身に付け、器楽で表現している。 (思･判･表) ･※【音色、リズム、速度、旋律、強弱】音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の盾と横との関係】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 (主学) ･【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、録音録画などで評価する。	○楽器の音を出してみよう ○部分奏を楽しもう ○よく聴いて合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう ○一緒に合わせよう響かせよう	･打楽器、キーボード、三線の基本的な奏法について学習する ･打楽器、キーボード、三線の音を出してみる。 ･演奏したい楽器を自分で選択して曲に合わせて音を出してみるる。 ･皆と一緒に合奏練習をする。 ･練習の成果を発表する。
年間を通して	4	Aウ【創作】 (知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴について理解することができる。 ・音のつなげ方の特徴について理解することができる。 ・音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けることができる。 ・教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思い	Aウ【創作】 (知・技) ・声や身の回りの様々な音の特徴について理解している。 ・音のつなげ方の特徴について理解することができている。 ・音を選んだり、つなげたりして表現する技能が身についている。 ・教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身につけることができている。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、強弱】音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の盾と横との関係】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさ	○音やフレーズをつくろう ○沖縄の音階に親しもう	・拍子に合わせて１～２小節程度のリズムやフレーズを考えて表現し合う。 ・自分の担当する楽器で、演奏する曲に合わせて自分なりのフレーズを考えて作る。 ・沖縄の音階を知り、構成音の楽器を持ち、沖縄の音楽に合わせて自由に音を鳴らしてその響きを楽しむ。

通して		をもつことができる。 （学・人） ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味を持つと共に音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	や面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、音楽づくりに対する思いをもっている。 (主学) ・【※】に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] ワークシート・プリント/活動の様子で評価する。		
年間を通して	3	Ａ工【身体表現】 (知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムについて理解することができる。 ・曲名と動きの関わりを理解することができる。 ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や体全体を動かす技能を身に付けることができる。 ・音や音楽を用いて手足や身体全体を自然に動かす技能を身につけることができる。 ・教師や友達と一緒に体を動かす技能を身につける事ができた。 (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができるようにする。 （学・人） ・進んで音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じると共に、様々な音楽に音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	Ａ工【身体表現】 (知・技) ・拍や曲の特徴的なリズムについて理解することができている。 ・曲名と動きの関わりを理解できている。 ・示範を見て体を動かしたり、拍や特徴的なリズムを意識して手足や体全体を動かすことができる。 ・音や音楽を用いて手足や荒だ全体を自然に動かすことができている。 ・教師や友達と一緒に体を動かして表現をする技能を身に付け、身体表現で表すことができている。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、強弱】音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽のと横との関係】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、身体表現に対する思いをもっている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に身体表現の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	○身体表現を楽しもう ○一緒に合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう	・ダンス ・リトミック
年間を通して	5	Ｂ【鑑賞】 (知) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 (思判表力) ・鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏に触れたり、好きな音色や楽器の音を感じたりしながら聴くことができる。 （学・人） ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味を持つと共に音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	Ｂ【鑑賞】 (知) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができている。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけと答え、変化、音楽の縦と横との関係】を身近な人の演奏に触れたり、好きな音色や楽器の音を感じながら聴くことができている。 (主学) ・【※】に興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	○様々なジャンルの音楽 ○沖縄の音楽に親しもう ○卒業式に向けて	・様々なジャンルの曲を聴く。 ・鑑賞後に感じたことを伝えたり他の人の感想を聞く。 ・季節や曲の活用場面を意識した曲を鑑賞する。 ・鑑賞して興味のある曲を、選曲する。

1 ～ 2 学 期	18	Ａア【歌唱】 (知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律について理解することができる。 ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉について理解することができる。 ・範唱を聴いて曲の一部分を模唱する技能を身に付けることができる。 ・自分の歌声に注意を向けて歌う技能を身に付ける。 ・教師や友達と一緒に歌う技能を身に付けることができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いをもつことができる。 （学・人） ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じると共に、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	Ａア【歌唱】 (知・技) ・曲の特徴的なリズムと旋律について理解している。 ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉について理解している。 ・範唱を聴いて曲の一部分を模唱する技能を身に付けることができている。 ・自分の歌声に注意を向けて歌っている。 ・教師や友達と一緒に歌うことができている。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけと答え、変化、音楽の縦と横との関係】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、どのように歌唱するかについて思いをもっている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、録音録画などで評価する。	○校歌に親しもう ○歌い合わせる楽しみ ○よく聴いて合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう ○一緒に合わせよう響かせよう	・様々なジャンルの曲にふれ皆と一緒に歌い合わせる。 ・歌詞の内容や表現方法について考えたり、自分なりの表現をする。 ・皆と一緒に練習に取り組む。 ・練習の成果を発表する。
2 ～ 3 学 期	12			○卒業式に向けて	・「卒業の歌」メロディーの音取り ・高等部全員で伴奏に合わせて歌唱練習をする
留意点 引継ぎ等	※題材の評価規準（思・判・表）については音楽を形づくっている要素【音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけと答え、変化、音楽の縦と横との関係の中から教材や生徒個々の実態に応じて適切に選択して評価する。 ※題材の評価規準（主学）については教材や生徒個々の実態に応じて【　】に適切な文言（教材、音楽の要素など）を挿入する。 ※Ｂ「鑑賞」では技能に関する評価規準を設定しない。				

令和７年度　高等部　　３年（Ⅱ課程B）　音楽科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部３年Ⅱ課程B類型		ー

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様なジャンルの音楽にふれ、興味関心のある音楽を聴いて自分なりの音楽表現をすることができる。（小２段階） (思判表力) 音楽表現を自分なりに工夫することを通して、そのよさや美しさを感じながら聴くことができる。（小２段階） (学・人) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。（小２段階）

学期	時数	題材の目標	題材の評価規準	題材名	題材の活動内容
年間を通して	28	Aイ【器楽】 (知及技) ･リズム、速度や強弱の違いについて気づくことができる。 ･演奏の仕方による楽器の音色の違いについて理解することができる。 ･簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする技能を身に付けることができる。 ･身近な打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。。 ･教師や友達と一緒に演奏する技能を身に付けることができる。 (思判表力) ･器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 (学･人) ･音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味を持つと共に音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	Aイ【器楽】 (知･技) ･リズム、速度や強弱の違いについて気づいている。 ･演奏の仕方による楽器の音色の違いについて理解できている。 ･簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする技能を身に付けている。 ･身近な打楽器を演奏する日農を身につけている。 ･教師や友達と一緒に演奏する技能する技能を身に付け、器楽で表現している。 (思･判･表) ･※【音色、リズム、速度、旋律、強弱】音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の盾と横との関係】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 (主学) ･【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、録音録画などで評価する。	○楽器の音を出してみよう ○部分奏を楽しもう ○よく聴いて合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう ○一緒に合わせよう響かせよう	･打楽器、キーボード、三線の基本的な奏法について学習する ･打楽器、キーボード、三線の音を出してみる。 ･演奏したい楽器を自分で選択して曲に合わせて音を出してみるる。 ･皆と一緒に合奏練習をする。 ･練習の成果を発表する。
年間を通して	4	Aウ【創作】 (知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴について理解することができる。 ・音のつなげ方の特徴について理解することができる。 ・音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けることができる。 ・教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生か	Aウ【創作】 (知・技) ・声や身の回りの様々な音の特徴について理解している。 ・音のつなげ方の特徴について理解することができている。 ・音を選んだり、つなげたりして表現する技能が身についている。 ・教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身につけることができている。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、強弱】音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の盾と横との関係】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさ	○音やフレーズをつくろう ○沖縄の音階に親しもう	・拍子に合わせて１～２小節程度のリズムやフレーズを考えて表現し合う。 ・自分の担当する楽器で、演奏する曲に合わせて自分なりのフレーズを考えて作る。 ・沖縄の音階を知り、構成音の楽器を持ち、沖縄の音楽に合わせて自由に音を鳴らしてその響きを楽しむ。

して		したりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 （学・人） ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味を持つと共に音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	や面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、音楽づくりに対する思いをもっている。 (主学) ・【※】に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] ワークシート・プリント/活動の様子で評価する。		
年間を通して	3	Ａ工【身体表現】 (知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムについて理解することができる。 ・曲名と動きの関わりを理解することができる。 ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や体全体を動かす技能を身に付けることができる。 ・音や音楽を用いて手足や身体全体を自然に動かす技能を身につけることができる。 ・教師や友達と一緒に体を動かす技能を身につける事ができた。 (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができるようにする。 （学・人） ・進んで音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じると共に、様々な音楽に音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	Ａ工【身体表現】 (知・技) ・拍や曲の特徴的なリズムについて理解することができている。 ・曲名と動きの関わりを理解できている。 ・示範を見て体を動かしたり、拍や特徴的なリズムを意識して手足や体全体を動かすことができる。 ・音や音楽を用いて手足や荒だ全体を自然に動かすことができている。 ・教師や友達と一緒に体を動かして表現をする技能を身に付け、身体表現で表すことができている。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、強弱】音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽のと横との関係】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、身体表現に対する思いをもっている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に身体表現の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	○身体表現を楽しもう ○一緒に合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう	・ダンス ・リトミック
年間を通して	5	Ｂ【鑑賞】 (知) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 (思判表力) ・鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏に触れたり、好きな音色や楽器の音を感じたりしながら聴くことができる。 （学・人） ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味を持つと共に音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	Ｂ【鑑賞】 (知) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができている。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけと答え、変化、音楽の縦と横との関係】を身近な人の演奏に触れたり、好きな音色や楽器の音を感じながら聴くことができている。 (主学) ・【※】に興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	○様々なジャンルの音楽 ○沖縄の音楽に親しもう ○卒業式に向けて	・様々なジャンルの曲を聴く。 ・鑑賞後に感じたことを伝えたり他の人の感想を聞く。 ・季節や曲の活用場面を意識した曲を鑑賞する。 ・鑑賞して興味のある曲を、選曲する。

1 ～ 2 学 期	18	Ａア【歌唱】 (知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律について理解することができる。 ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉について理解することができる。 ・範唱を聴いて曲の一部分を模唱する技能を身に付けることができる。 ・自分の歌声に注意を向けて歌う技能を身に付ける。 ・教師や友達と一緒に歌う技能を身に付けることができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いをもつことができる。 （学・人） ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じると共に、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	Ａア【歌唱】 (知・技) ・曲の特徴的なリズムと旋律について理解している。 ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉について理解している。 ・範唱を聴いて曲の一部分を模唱する技能を身に付けることができている。 ・自分の歌声に注意を向けて歌っている。 ・教師や友達と一緒に歌うことができている。 (思・判・表) ・※【音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけと答え、変化、音楽の縦と横との関係】を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、どのように歌唱するかについて思いをもっている。 (主学) ・【※】に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、録音録画などで評価する。	○校歌に親しもう ○歌い合わせる楽しみ ○よく聴いて合わせよう ○沖縄の音楽に親しもう ○一緒に合わせよう 響かせよう	・様々なジャンルの曲にふれ皆と一緒に歌い合わせる。 ・歌詞の内容や表現方法について考えたり、自分なりの表現をする。 ・皆と一緒に練習に取り組む。 ・練習の成果を発表する。
2 ～ 3 学 期	10			○卒業式に向けて	・「卒業の歌」メロディーの音取り ・高等部全員で伴奏に合わせて歌唱練習をする
留意点 引継ぎ等	※題材の評価規準（思・判・表）については音楽を形づくっている要素【音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけと答え、変化、音楽の縦と横との関係の中から教材や生徒個々の実態に応じて適切に選択して評価する。 ※題材の評価規準（主学）については教材や生徒個々の実態に応じて【　】に適切な文言（教材、音楽の要素など）を挿入する。 ※Ｂ「鑑賞」では技能に関する評価規準を設定しない。			

令和 ８年度　　高等部１年　（Ⅱ課程A）　美術科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Ａ１学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 身近な自然の中にある色や形を観察しながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫することができる。（高1段階） (思判表力)表したいことや表し方について考え、経験したことや材料などを基に、発送し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深めることができる。（高1段階） (学･人)創造活動や鑑賞活動を通して、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 25		(知及技) ・意外な模様の出現に触れ、色や形への関心を持つことができる。 ・道具を適切に使用することができる。 高１段階Aア（イ） （思判表力） ・色や道具を自分で選び取ったり、変えたりと工夫して取り組むことができる。 高１段階Aア（イ） （学・人） ・さまざまな形や色に関心を持ち、画材による表現の違いに気付きながら、楽しむ態度を養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	絵画表現 〈絵の具あそび〉	・デカルコマニー（合わせ絵） ・ビー玉絵の具 ・ドロッピング ・色画用紙から好みの色を選択する。 ・絵の具から好きな色を選択して、さまざまな道具や方法でできる模様の面白さを楽しむ。 ・仕上がった作品の好きなところや工夫したところなどを教師と話しながら、みんなで鑑賞する。 ・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。
		（知及技） ・透き通ったカラーセロハンの美しさや色の重なりで変わる様子に気付き、関心を持って制作に取り組むことができる。 高１段階Aア（イ） （思判表力） ・セロハンの色を選び、色の重なりや配置を工夫しながら制作することができる。 高１段階Aア（イ） （学・人） ・仕上がった作品を窓に飾り、光によって変わる色の様子や作品の雰囲気に関心を持ちながら、すすんで鑑賞する態度を養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	工作 ＜窓に飾ろう・透き通る色＞	・制作工程や道具について、見本やスライドを提示して見通しを持たせる。 ・魚や星やハート、雪だるまなどの型（ラミネート済み）の中から好きなももを選択し、カラーセロハンを切り貼りしながら、色の配置や重なりを楽しんで活動できるようにする。 ・仕上がった作品を暗い場所で光りを当てて壁に投影し、みんなで鑑賞を楽しめるようにする。 ・さいごにみんなで作品を窓に貼り付けて展示し、光の具合で変化する作品の雰囲気を楽しめるようにする。 ・授業の最後に、活動の様子を写真や動画で振り返り、制作への関心や達成感が高められるようにする。
2学期 28		(知及技) ・スタンプを転がすことでできる模様の面白さに気付き、丁寧に画面上に表現することができる。 ・はさみや絵の具、コロコロなどの道具を適切に扱うことができる。 高１段階Aア（イ） （思判表力） ・素材の質感や形の違いを楽しみ、好きな素材や色を選択して配置することができる。 高１段階Aア（イ） (学･人) ・描画とは違ったスタンプ（版画）の特性の面白さを感じ、関心を持って制作できる態度を養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	版画 ＜コロコロスタンプ＞	・好きなスタンプの材料を選択する。 ・材料を切ったり、掃除用コロコロの粘着部分に貼り付けながら、素材を配置したりしてコロコロスタンプを完成させる。 ・できあがったスタンプに絵の具を付けて、画用紙（白や黒）に、スタンプを転がせながら模様を描く。 ・スタンプを変えてみたり、絵の具の色を変えてスタンプを重ねながら、作品に仕上げていく。 ・大型画用紙で友達と一緒にスタンプを転がして、共同制作を行う。 ・出来上がった作品を、みんなで鑑賞して模様の面白さや違いを楽しむ。
		（知・技） 絵の具やローラー、マスキングなど道具の扱いを理解し、適切に使用することができている。 高１段階Aア（イ） （思・判・表） 思い描いた模様や、好きな形を画面に現したりと、自分なりに工夫して表現しようとしている。 高１段階Aア（イ） （主学） 出来上がった作品を鑑賞したり、仲間と模様や色の表現の違いを楽しみながら、すすんで活動に取り組もうとしている。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	版画 ＜マスキング・ローラで描こう＞ ・ローラーと絵の具で好きな色を塗ろう ・マスキングで表現したい模様を表現しよう	・画用紙にローラーを用いて好きな色で塗りつぶす（ポスターカラー） ・画面が乾いたら、マスキングテープを貼り付けて模様をつくる。（マスキングの粘着は弱める） ・マスキングテープを貼り付けたまま、ローラーを使って別の色を塗り重ねる。 ・これらの工程をさらに2回繰り返す。 ・画面が乾いたら、すべてのマスキングテープをゆっくり剥がして出来上がった模様をみんなで鑑賞する。 ※工程に関するスライドや動画を用いて制作の見通しが持てるようにする。 ※いくつか参考作品を提示して、表現の幅が広げられるようにする。

3学期 17		（知及技） ・材料や用具を適切に使いながらスライムをつくることができる。 高１段階Aア（イ） （思判表力） ・スライムの材料を混ぜながら自分好みの柔らかさにしたり、好みの色を選択して表現することができる。 高１段階Aア（イ） （学・人） ・スライムを作ったり感触や色を楽しみながら、すすんで活動に参加する態度を養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	感触 ＜スライムで遊ぼう＞	・さまざまなスライムの写真を、スライドを使って見る。 ・材料を一緒に確認しながら、作り方を確認する。 ・紙コップ、割り箸などの道具を使ってスライムをつくってみる。かき混ぜながら自分好みの柔らかさにする。 ・トレー上で、スライムの感触を楽しんだり色々な形にして楽しむ。 ・自分のスライムに好きな色をつけて、色が付く面白さを楽しむ。 ・友達のスライムと比べたり、交換したりして仲間と活動を楽しむ。 ・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。
		(知及技) ・絵の具やマジック、クレヨン等画材を選択し、ハサミやのりを適切に扱いながら表現活動を行うことができる。 高１段階Aア（イ） (思判表力) ・制作において工夫して表現することができる。 高１段階Aア（イ） (学･人) ・共同制作活動に関心を持って取り組み、画材による美しさに気づき楽しむ態度養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	共同制作 ＜卒業式の壁画＞	・卒業式の壁画のテーマや仕上がり、制作する部分や制作方法をスライドで確認する。 ・壁画制作は学校全体で行うことを確認し、共同制作で作品を仕上げていく。 ・様々な画材を丁寧に扱う。 ・完成したら体育館に見に行ったり、写真で確認し鑑賞する。 ・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。
		（知及技） ・はさみや糊など、道具の扱いを理解し適切に使用することができる。 高１段階Aア（イ） （思判表力） ・切り取った形を、自分なりに配置を考えて紙バッグに貼り付けたり装飾したりすることができる。 高１段階Aア（イ） （学・人） ・出来上がった作品をみんなで鑑賞したり、生活の中で使用することで、自らの作品に親しむ態度を養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	工作 ＜ペーパーーバッグを作ろう＞	・参考作品を見せたり、制作工程をパワーポイントで見せるなどして、制作への見通しを持たせる。 ・必要な材料や道具を提示し、自ら準備できるようにする。（ペーパーバッグ、はさみ、糊） ・色紙や、これまで制作した平面作品を材料に、好きな形に切ったり配置を考えて貼ったりする。 ・シールを貼ったり、ペーパーバッグに模様を加えるなどして仕上げる。 ・仕上がった作品をみんなで見たり、自分作品の気に入っているところなどを伝え合ったりしながら、振り返りや鑑賞を楽しむ。 ・仕上がったペーパーバッグはこれまでの作品などを入れて持ち帰るなど、実際に使用できるようにする。 ・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　　高等部２年　（Ⅱ課程A）　美術科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Ａ2学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 身近な自然の中にある色や形を観察しながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫することができる。（高1段階） (思判表力)表したいことや表し方について考え、経験したことや材料などを基に、発送し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深めることができる。（高1段階） (学･人)創造活動や鑑賞活動を通して、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 25		(知及技) ・意外な模様の出現に触れ、色や形への関心を持つことができる。 ・道具を適切に使用することができる。 高１段階Aア（イ） （思判表力） ・色や道具を自分で選び取ったり、変えたりと工夫して取り組むことができる。 高１段階Aア（イ） （学・人） ・さまざまな形や色に関心を持ち、画材による表現の違いに気付きながら、楽しむ態度を養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学）友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	絵画表現 〈絵の具あそび〉	・デカルコマニー（合わせ絵） ・ビー玉絵の具 ・ドロッピング ・色画用紙から好みの色を選択する。 ・絵の具から好きな色を選択して、さまざまな道具や方法でできる模様の面白さを楽しむ。 ・仕上がった作品の好きなところや工夫したところなどを教師と話しながら、みんなで鑑賞する。 ・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。
		（知及技） ・透き通ったカラーセロハンの美しさや色の重なりで変わる様子に気付き、関心を持って制作に取り組むことができる。 高１段階Aア（イ） （思判表力） ・セロハンの色を選び、色の重なりや配置を工夫しながら制作することができる。 高１段階Aア（イ） （学・人） ・仕上がった作品を窓に飾り、光によって変わる色の様子や作品の雰囲気に関心を持ちながら、すすんで鑑賞する態度を養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学）友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	工作 ＜窓に飾ろう・透き通る色＞	・制作工程や道具について、見本やスライドを提示して見通しを持たせる。 ・魚や星やハート、雪だるまなどの型（ラミネート済み）の中から好きなももを選択し、カラーセロハンを切り貼りしながら、色の配置や重なりを楽しんで活動できるようにする。 ・仕上がった作品を暗い場所で光りを当てて壁に投影し、みんなで鑑賞を楽しめるようにする。 ・さいごにみんなで作品を窓に貼り付けて展示し、光の具合で変化する作品の雰囲気を楽しめるようにする。 ・授業の最後に、活動の様子を写真や動画で振り返り、制作への関心や達成感が高められるようにする。
2学期 28		(知及技) ・スタンプを転がすことでできる模様の面白さに気付き、丁寧に画面上に表現することができる。 ・はさみや絵の具、コロコロなどの道具を適切に扱うことができる。 高１段階Aア（イ） （思判表力） ・素材の質感や形の違いを楽しみ、好きな素材や色を選択して配置することができる。 高１段階Aア（イ） (学･人) ・描画とは違ったスタンプ（版画）の特性の面白さを感じ、関心を持って制作できる態度を養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学）友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	版画 ＜コロコロスタンプ＞	・好きなスタンプの材料を選択する。 ・材料を切ったり、掃除用コロコロの粘着部分に貼り付けながら、素材を配置したりしてコロコロスタンプを完成させる。 ・できあがったスタンプに絵の具を付けて、画用紙（白や黒）に、スタンプを転がせながら模様を描く。 ・スタンプを変えてみたり、絵の具の色を変えてスタンプを重ねながら、作品に仕上げていく。 ・大型画用紙で友達と一緒にスタンプを転がして、共同制作を行う。 ・出来上がった作品を、みんなで鑑賞して模様の面白さや違いを楽しむ。
		（知・技） 絵の具やローラー、マスキングなど道具の扱いを理解し、適切に使用することができている。 高１段階Aア（イ） （思・判・表） 思い描いた模様や、好きな形を画面に現したりと、自分なりに工夫して表現しようとしている。 高１段階Aア（イ） （主学） 出来上がった作品を鑑賞したり、仲間と模様や色の表現の違いを楽しみながら、すすんで活動に取り組もうとしている。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学）友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	版画 ＜マスキング・ローラで描こう＞ ・ローラーと絵の具で好きな色を塗ろう ・マスキングで表現したい模様を表現しよう	・画用紙にローラーを用いて好きな色で塗りつぶす（ポスターカラー） ・画面が乾いたら、マスキングテープを貼り付けて模様をつくる。（マスキングの粘着は弱める） ・マスキングテープを貼り付けたまま、ローラーを使って別の色を塗り重ねる。 ・これらの工程をさらに2回繰り返す。 ・画面が乾いたら、すべてのマスキングテープをゆっくり剥がして出来上がった模様をみんなで鑑賞する。 ※工程に関するスライドや動画を用いて制作の見通しが持てるようにする。 ※いくつか参考作品を提示して、表現の幅が広げられるようにする。

3学期 17		（知及技） ・材料や用具を適切に使いながらスライムをつくることができる。 高１段階Aア（イ） （思判表力） ・スライムの材料を混ぜながら自分好みの柔らかさにしたり、好みの色を選択して表現することができる。 高１段階Aア（イ） （学・人） ・スライムを作ったり感触や色を楽しみながら、すすんで活動に参加する態度を養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	感触 ＜スライムで遊ぼう＞	・さまざまなスライムの写真を、スライドを使って見る。 ・材料を一緒に確認しながら、作り方を確認する。 ・紙コップ、割り箸などの道具を使ってスライムをつくってみる。かき混ぜながら自分好みの柔らかさにする。 ・トレー上で、スライムの感触を楽しんだり色々な形にして楽しむ。 ・自分のスライムに好きな色をつけて、色が付く面白さを楽しむ。 ・友達のスライムと比べたり、交換したりして仲間と活動を楽しむ。 ・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。
		(知及技) ・絵の具やマジック、クレヨン等画材を選択し、ハサミやのりを適切に扱いながら表現活動を行うことができる。 高１段階Aア（イ） (思判表力) ・制作において工夫して表現することができる。 高１段階Aア（イ） (学･人) ・共同制作活動に関心を持って取り組み、画材による美しさに気づき楽しむ態度養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	共同制作 ＜卒業式の壁画＞	・卒業式の壁画のテーマや仕上がり、制作する部分や制作方法をスライドで確認する。 ・壁画制作は学校全体で行うことを確認し、共同制作で作品を仕上げていく。 ・様々な画材を丁寧に扱う。 ・完成したら体育館に見に行ったり、写真で確認し鑑賞する。 ・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。
		（知及技） ・はさみや糊など、道具の扱いを理解し適切に使用することができる。 高１段階Aア（イ） （思判表力） ・切り取った形を、自分なりに配置を考えて紙バッグに貼り付けたり装飾したりすることができる。 高１段階Aア（イ） （学・人） ・出来上がった作品をみんなで鑑賞したり、生活の中で使用することで、自らの作品に親しむ態度を養う。 中２段階Aア（ア）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	工作 ＜ペーパーーバッグを作ろう＞	・参考作品を見せたり、制作工程をパワーポイントで見せるなどして、制作への見通しを持たせる。 ・必要な材料や道具を提示し、自ら準備できるようにする。（ペーパーバッグ、はさみ、糊） ・色紙や、これまで制作した平面作品を材料に、好きな形に切ったり配置を考えて貼ったりする。 ・シールを貼ったり、ペーパーバッグに模様を加えるなどして仕上げる。 ・仕上がった作品をみんなで見たり、自分作品の気に入っているところなどを伝え合ったりしながら、振り返りや鑑賞を楽しむ。 ・仕上がったペーパーバッグはこれまでの作品などを入れて持ち帰るなど、実際に使用できるようにする。 ・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度　　高等部　　3 年　（Ⅱ課程A） 美術科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程A		ワークシート、パワーポイント 動画教材、参考作品等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（高１段階） (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げることができる。（高１段階） (学･人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動のよりこびを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1		(知及技)表現や鑑賞など、美術の学習内容について理解することができる。(中２段階) (思判表力)自分の好きなことやってみたことなどを考え、言葉や絵などで工夫して表現することができる。(高１段階) (学･人)美術での約束や使用する道具等に関心を示し、楽しく学習することができる。(高１段階)	(知・技)表現や鑑賞など、美術の学習内容について理解しようとしている。 (思・判・表)自分の好きなことややってみたことなどを考え、言葉や絵などで工夫して表現しようとしている。 (主学) 美術での約束や使用する道具等に関心を示し、学習を楽しんでいる。	●美術オリエンテーション ・美術の授業を受けるうえでのマナーやルールの確認 ●描画 ・他己紹介 ・友達の顔を描こう	・美術室でのルールと、年間を通した学習内容の確認を行う。 ・友達とペアになって、美術で好きなことやってみたいことなどを話し合いったり、似顔絵を描く。 ・みんなで発表しながら共有する。
		(知及技)表紙にしたいデザインを考え、iPadのアプリ機能を使って表すことができる。（高１段階） (思判表力) 表現したいデザインをもとに発想や構想を練ることができる。（高１段階） (学･人) デザインすることの楽しさを感じ、自ら関心を持って活動することができる。（中２段階）	(知・技)表紙にしたいデザインを考え、iPadのアプリ機能を使って表そうとしている。 (思・判・表)表現したいデザインをもとに発想や構想を練ろうと試みている。 (主学) デザインすることの楽しさを感じ、関心を持って活動に取り組んでいる。	●デザイン１ 美術ファイルの表紙をデザインしよう	・デザインとは何か ・身近なデザイン ・自分ならファイルをどんなデザインにしたいだろう ・iPadのアプリ機能を使ってデザインしてみよう ・iPadを使う際のルールの確認
		(知及技)沖縄について考えたり調べたりしながら、沖縄の特色を生かしたデザインを考えることができる。（高１段階） (思判表力) 表現したいデザインをもとに発想や構想を練ることができる。（高１段階） (学･人) 沖縄の文化や自然などに関心を持ち、主体的に取り組むことができる。（中２段階）	(知・技) 沖縄について考えたり調べ、沖縄の特色を生かしたデザインを考えようとしている。 (思・判・表) 表現したいデザインをもとに発想や構想を練ろうと試みている。 (主学) 沖縄の文化や自然などに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	●デザイン２ かりゆしウェアをデザインしよう	・どんなかりゆしウェアのデザインがあるか調べてみよう ・沖縄の特色を生かしたデザインを考えてみよう ・出来上がった作品をみんなで鑑賞しよう

2		（知・技） スチレンボードの特性や透明色の重なりによって混色されることを理解するとともに、用具を適切に使用して制作活動を行うことができる。（高１段階） （思判表力） 回転させながら刷り重ねていく方法を理解し、変化する画面を観察しながら色や刷り方を調整するなど工夫して制作することができる。（高１段階） （学・人） 楽しく美術の活動に取り組むことを通して、色や形、素材の面白さに気づき、心豊かな生活を営む態度を養う。（高１段階）	（知・技） スチレンボードの特性や透明色の重なりによって混色されることを理解するとともに、用具を適切に使用して制作活動を行っている。 （思判表力） 回転させながら刷り重ねていく方法を理解し、変化する画面を観察しながら色や刷り方を調整するなど工夫して制作することができている。 （学・人） 楽しく美術の活動に取り組むことを通して、色や形、素材の面白さに気づき、心豊かな生活を営む態度を身につけようとしている。	●版画 ・制作工程の見通しを持つ ・条件に注意しながら版をデザインする。 ・いろいろな道具を用いスチレンボードに傷をつけ、版を作る ・回転させながら、する重ねる。 ・作品を観察し、色の調整を考える。	・PWPや参考作品を見て制作工程の見通しを持つ。 ・条件に注意しながら版をデザインする。 ・いろいろな道具を用いてスチレンボードに傷をつけ、版を作成する。 ・回転させながら、刷り重ねる。 ・作品を観察し、色の調整を考える。 ・作品から受け取るイメージをまとめ、作品に題名をつける。 ・お互いの作品を鑑賞する。 ・協力して後片付けをする。
		（知・技） 粘土の特性や焼き物の制作工程を知るとともに、用具を適切に使用して制作活動を行うことができる。（高１段階） （思判表力） 力の入れ方を調節しながら粘土を平らに成形したり、色や形を選んで皿を装飾するなど工夫して制作することができる。（高１段階） （学・人） 楽しく焼き物の制作活動に取り組むことを通して、粘土の特性に気づき、日常的に使われている陶器や沖縄の陶器に親しみ大切にする態度を養う。（高１段階）	（知・技） 粘土の特性や焼き物の制作工程を知るとともに、用具を適切に使用して制作活動を行っている （思判表力） 力の入れ方を調節しながら粘土を平らに成形したり、色や形を選んで皿を装飾するなど工夫して制作している。 （学・人） 楽しく焼き物の制作活動に取り組むことを通して、粘土の特性に気づき、日常的に使われている陶器や沖縄の陶器に親しみ大切にする態度を身につけることができる。	●陶芸 ・やきものをつくろう ・皿を作ろう ・沖縄の伝統工芸 ・やちむんの制作工程 ・いろいろなやちむん	・PWPで焼き物の制作工程や必要な道具について知る。 ・粘土の感触になれるため、伸ばしたり団子やひもなどを作る。 ・好きな物を作る、水を足して練る。 ・たたら板を作ったり、型に沿って切ったりする。 ・色土で装飾を施す。 ・型に落とし込む。 ・素焼き後の処理、施釉
3		（知・技） 共同制作の方法や目的を理解し、目的に向かって活動することができる。水彩用具やクレヨン、はさみ、のり等の基本的な材料、用具の使い方を身につける。（高１段階） （思判表力） 卒業を祝う気持ちや思い出を大切にする気持ち、これから始まる新しい生活への期待などを表すテーマや色、形を考え、表現することができる。（高１段階） （学・人） 仲間と協力し、卒業への様々な思いを分かち合い壁画制作に取り組むことができる。（高１段階）	（知・技） 共同制作の方法や目的を理解し、目的に向かって活動することができている。水彩用具やクレヨン、はさみ、のり等の基本的な材料、用具の使い方を身につ蹴ることができている。 （思判表力） 卒業を祝う気持ちや思い出を大切にする気持ち、これから始まる新しい生活への期待などを表すテーマや色、形を考え、表現することができている。 （学・人） 仲間と協力し、卒業への様々な思いを分かち合い壁画制作に取り組むことができている。	●共同制作 ・卒業式の壁画	・テーマに沿ったデザインをする。 ・全体像と割り当てられた部分について理解し、協力して割り当てられた仕事を行う。（着色、パーツ作り、パーツの貼り付け、絵のつなぎ合わせなど）
		(知及技) 作品集の制作工程や、のりハサミの使い方を理解し、作品の折り曲げや貼り合わせを丁寧に行うことができる。（高１段階） (思判表力) どのように作品集を仕上げるか、作品の配置や、ページの順番、表紙の色等を考え、工夫しながら制作することができる。（高１段階） (学･人) 1年間の制作した活動を作品や写真で振り返りながら、作品の美しさや違いに気づき楽しむ態度養う。（高１段階）	（知・技） 作品集の制作工程や、のりハサミの使い方を理解し、作品の折り曲げや貼り合わせを丁寧に行おうとしている。 (思･判･表) どのように作品集を仕上げるか、作品の配置や、ページの順番、表紙の色等を考え、工夫しながら制作しようとしている。 (主学) 1年間の制作した活動を作品や写真で振り返りながら、作品の美しさや違いに気づき楽しもうとしている。	●鑑賞 ・作品集作り	・1年間を通して制作した作品を1冊にまとめ、作品集として持ち帰る。 ・四つ切りサイズの作品は端を丁寧に折り曲げ、片面にのり付けする。 ・小さな作品や写真は四つ切りサイズの画用紙に貼り合わせる。 ・表紙や背表紙の好きな色を選び、好きなイラストを描いて作品集を完成し、友達と交換しながら鑑賞する。
留意点 引継ぎ等					

令和 ８年度　　高等部１～３年　（Ⅱ課程B）　美術科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Ｂ１～３学年（5名）		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 身近な自然の中にある色や形を観察しながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫することができる。（高1段階） (思判表力)表したいことや表し方について考え、経験したことや材料などを基に、発送し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深めることができる。（高1段階） (学･人)創造活動や鑑賞活動を通して、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 25		(知及技) ・意外な模様の出現に触れ、色や形への関心を持つことができる。 ・道具を適切に使用することができる。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） （思判表力） ・色や道具を自分で選び取ったり、変えたりと工夫して取り組むことができる。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） （学・人） ・さまざまな形や色に関心を持ち、画材による表現の違いに気付きながら、楽しむ態度を養う。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	絵画表現 〈絵の具あそび〉	・デカルコマニー（合わせ絵） ・ビー玉絵の具 ・ドロッピング ・色画用紙から好みの色を選択する。 ・絵の具から好きな色を選択して、さまざまな道具や方法でできる模様の面白さを楽しむ。 ・仕上がった作品の好きなところや工夫したところなどを教師と話しながら、みんなで鑑賞する。 ・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。
		(知及技) ・透き通ったカラーセロハンの美しさや色の重なりで変わる様子に気付き、関心を持って制作に取り組むことができる。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） （思判表力） ・セロハンの色を選び、色の重なりや配置を工夫しながら制作することができる。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） （学・人） ・仕上がった作品を窓に飾り、光によって変わる色の様子や作品の雰囲気に関心を持ちながら、すすんで鑑賞する態度を養う。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	工作 ＜窓に飾ろう・透き通る色＞	・制作工程や道具について、見本やスライドを提示して見通しを持たせる。 ・魚や星やハート、雪だるまなどの型（ラミネート済み）の中から好きなももを選択し、カラーセロハンを切り貼りしながら、色の配置や重なりを楽しんで活動できるようにする。 ・仕上がった作品を暗い場所で光りを当てて壁に投影し、みんなで鑑賞を楽しめるようにする。 ・さいごにみんなで作品を窓に貼り付けて展示し、光の具合で変化する作品の雰囲気を楽しめるようにする。 ・授業の最後に、活動の様子を写真や動画で振り返り、制作への関心や達成感が高められるようにする。
2学期 28		(知及技) ・スタンプを転がすことでできる模様の面白さに気付き、丁寧に画面上に表現することができる。 ・はさみや絵の具、コロコロなどの道具を適切に扱うことができる。 （思判表力） ・素材の質感や形の違いを楽しみ、好きな素材や色を選択して配置することができる。 (学･人) ・描画とは違ったスタンプ（版画）の特性の面白さを感じ、関心を持って制作できる態度を養う。	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	版画 ＜コロコロスタンプ＞	・好きなスタンプの材料を選択する。 ・材料を切ったり、掃除用コロコロの粘着部分に貼り付けながら、素材を配置したりしてコロコロスタンプを完成させる。 ・できあがったスタンプに絵の具を付けて、画用紙（白や黒）に、スタンプを転がせながら模様を描く。 ・スタンプを変えてみたり、絵の具の色を変えてスタンプを重ねながら、作品に仕上げていく。 ・大型画用紙で友達と一緒にスタンプを転がして、共同制作を行う。 ・出来上がった作品を、みんなで鑑賞して模様の面白さや違いを楽しむ。
		（知・技） 絵の具やローラー、マスキングなど道具の扱いを理解し、適切に使用することができている。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） （思・判・表） 思い描いた模様や、好きな形を画面に現したりと、自分なりに工夫して表現しようとしている。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） （主学） 出来上がった作品を鑑賞したり、仲間と模様や色の表現の違いを楽しみながら、すすんで活動に取り組もうとしている。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学) 友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	版画 ＜マスキング・ローラで描こう＞ ・ローラーと絵の具で好きな色を塗ろう ・マスキングで表現したい模様を表現しよう	・画用紙にローラーを用いて好きな色で塗りつぶす（ポスターカラー） ・画面が乾いたら、マスキングテープを貼り付けて模様をつくる。（マスキングの粘着は弱める） ・マスキングテープを貼り付けたまま、ローラーを使って別の色を塗り重ねる。 ・これらの工程をさらに2回繰り返す。 ・画面が乾いたら、すべてのマスキングテープをゆっくり剥がして出来上がった模様をみんなで鑑賞する。 ※工程に関するスライドや動画を用いて制作の見通しが持てるようにする。 ※いくつか参考作品を提示して、表現の幅が広げられるようにする。

3学期 17		（知及技） ・材料や用具を適切に使いながらスライムをつくることができる。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） （思判表力） ・スライムの材料を混ぜながら自分好みの柔らかさにしたり、好みの色を選択して表現することができる。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） （学・人） ・スライムを作ったり感触や色を楽しみながら、すすんで活動に参加する態度を養う。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学）友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	感触 ＜スライムで遊ぼう＞	・さまざまなスライムの写真を、スライドを使って見る。 ・材料を一緒に確認しながら、作り方を確認する。 ・紙コップ、割り箸などの道具を使ってスライムをつくってみる。かき混ぜながら自分好みの柔らかさにする。 ・トレー上で、スライムの感触を楽しんだり色々な形にして楽しむ。 ・自分のスライムに好きな色をつけて、色が付く面白さを楽しむ。 ・友達のスライムと比べたり、交換したりして仲間と活動を楽しむ。 ・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。
		(知及技) ・絵の具やマジック、クレヨン等画材を選択し、ハサミやのりを適切に扱いながら表現活動を行うことができる。 小１段階　表現ア(ｲ)、共通ア（ｲ） (思判表力) ・制作において工夫して表現することができる。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） (学･人) ・共同制作活動に関心を持って取り組み、画材による美しさに気づき楽しむ態度養う。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学）友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	共同制作 ＜卒業式の装飾＞	・卒業式の壁画のテーマや仕上がり、制作する部分や制作方法をスライドで確認する。 ・壁画制作は学校全体で行うことを確認し、共同制作で作品を仕上げていく。 ・様々な画材を丁寧に扱う。 ・完成したら体育館に見に行ったり、写真で確認し鑑賞する。 ・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。
		（知及技） ・はさみや糊など、道具の扱いを理解し適切に使用することができる。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） （思判表力） ・切り取った形を、自分なりに配置を考えて紙バッグに貼り付けたり装飾したりすることができる。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ） （学・人） ・出来上がった作品をみんなで鑑賞したり、生活の中で使用することで、自らの作品に親しむ態度を養う。 小１段階　表現ア（ｲ）、共通ア（ｲ）	(知・技)自然にある色や形を見ようとしている。 (思・判・表)使用する道具や色を選ぼうとしている。 (主学）友達が制作した作品を見ようとしている。 [評価資料] 活動の様子を観察する。 制作した作品	工作 ＜ペーパーーバッグを作ろう＞	・参考作品を見せたり、制作工程をパワーポイントで見せるなどして、制作への見通しを持たせる。 ・必要な材料や道具を提示し、自ら準備できるようにする。（ペーパーバッグ、はさみ、糊） ・色紙や、これまで制作した平面作品を材料に、好きな形に切ったり配置を考えて貼ったりする。 ・シールを貼ったり、ペーパーバッグに模様を加えるなどして仕上げる。 ・仕上がった作品をみんなで見たり、自分作品の気に入っているところなどを伝え合ったりしながら、振り返りや鑑賞を楽しむ。 ・仕上がったペーパーバッグはこれまでの作品などを入れて持ち帰るなど、実際に使用できるようにする。 ・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。
留意点 引継ぎ等					

令和 ８年度 高等部部　　１年　（Ⅱ課程Ａ） 保健体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部１年Ⅱ課程Ａ		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)各種運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や個人生活及び社会生活に必要な健康安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能身に付けることができる。（高２段階） (思判表力)各種運動や健康安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	４月～３月	(知及技) ・心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに，健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。(高校2段階Iア) (思判表力) ・ 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高校2段階Iイ) (学・人) ・生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができる。（高校2段階(1)目標）	(知･技) ・ 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに，健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができている。 (思･判･表) ・ 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができている。 (主学) ・生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができている。	・心と体の健康 ・病気にならないために ・怪我をしないために ・病気になった時・けがをしたとき ・大切な体	・体の発育・発達 ・体の各部のはたらき ・心の発達と健康 ・主な病気の種類と予防 ・食生活と健康 ・運動と健康 ・睡眠・休養と健康 ・肥満への対応 ・歯の病気 ・汗のしくみと処理 ・体の調子を整える ・健康診断・予防接種 ・主なけがの種類と予防 ・作業前後 ・交通安全 ・自然災害(地震など) ・診察を受ける ・医薬品の正しいあつかい方 ・応急手当て ・心肺蘇生法 ・交通事故にあったときの対応 ・性 ・性感染症・エイズの予防 ・喫煙の害、飲酒の害、薬物乱用 ・加齢と健康
１学期	４月～７月（３７）	(知及技) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の行い方や方法を理解することができる。(高校2段階Aア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。（高校2段階Aイ） (学・人) ・見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Aウ) (知及技) ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Dア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Dイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。(高校2段階Dウ)	(知･技) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の行い方や方法を理解している。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・見通しを持って自主的に運動しようとしている。 (知･技) ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。	体づくり運動 水泳	・集団行動 ・体つくり運動 ・新体力テスト ・サーキット運動 ・クロール ・平泳ぎ ・フォーム確認と改善 ・泳力測定
２学期	９月～１２月（４２）	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Cア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Cイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Cウ) (知及技) ・ダンスの技能を身につけ、表現や踊りを通した交流ができる。(高校2段階Gア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Gイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力できる。(高校2段階Gイ) (知及技) ・空手の特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、演武（普及型Ⅰ）することができる。(高校１段階Fア) (思判表力) ・空手について自己や仲間の課題を発見し、解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを相手に伝えることができる。(高校１段階Fイ) (学・人) 礼儀作法や決まり伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動をすることができる。(高校１段階Fウ) (知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Eア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Eイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Eウ)	(知･技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (知･技) ・ダンスの技能を身につけ、表現や踊りを通した交流している。 (思･判･表) ・仲間と考えたことを他者に伝えている。 (主学) ・自主的に運動している。 (知・技) ・基本動作のポイントなど知識や演武を通して理解している。 ・基本動作が身についており同じ動きができる。 (思・判・表) ・iPadでの基本動作や型の確認し互いに練習内容を工夫している。 (主学) ・互いに協力して、練習や課題に取り組もうとしている。 (知･技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	・陸上競技 ・ダンス ・武道 ・球技	・短距離走 ・リレー ・走り幅跳び ・走り高跳び ・投擲 ・エイサー ・特体連ダンス ・空手 ・バレーボール ・バスケットボール
３学期	１月～３月（２６）	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Cア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Cイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Cウ) (知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Eア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Eイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Eウ)	(知･技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (知･技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	・陸上競技 ・球技	・長距離走 ・時間走 ・ソフトボール ・バレーボール ・サッカー ・バスケットボール
留意点 引継ぎ等		・各単元について、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。			

令和 ８年度 高等部　　２年　（Ⅱ課程Ａ） 保健体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部２年Ⅱ課程Ａ		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)各種運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や個人生活及び社会生活に必要な健康安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能身に付けることができる。（高２段階） (思判表力)各種運動や健康安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。（高２段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	４月～３月	(知及技) ・心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに，健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。(高校2段階Ⅰア) (思判表力) ・ 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高校2段階Ⅰイ) (学・人) ・生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができる。（高校2段階(1)目標）	(知･技) ・ 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに，健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができている。 (思･判･表) ・ 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができている。 (主学) ・生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができている。	・心と体の健康 ・病気にならないために ・怪我をしないために ・病気になった時・けがをしたとき ・大切な体	・体の発育・発達 ・体の各部のはたらき ・心の発達と健康 ・主な病気の種類と予防 ・食生活と健康 ・運動と健康 ・睡眠・休養と健康 ・肥満への対応 ・歯の病気 ・汗のしくみと処理 ・体の調子を整える ・健康診断・予防接種 ・主なけがの種類と予防 ・作業前後 ・交通安全 ・自然災害(地震など) ・診察を受ける ・医薬品の正しいあつかい方 ・応急手当て ・心肺蘇生法 ・交通事故にあったときの対応 ・性 ・性感染症・エイズの予防 ・喫煙の害、飲酒の害、薬物乱用 ・加齢と健康
１学期	４月～７月（３７）	(知及技) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の行い方や方法を理解することができる。(高校2段階Aア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。（高校2段階Aイ） (学・人) ・見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Aウ) (知及技) ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Dア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Dイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。(高校2段階Dウ)	(知･技) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の行い方や方法を理解している。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・見通しを持って自主的に運動しようとしている。 (知･技) ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。	体づくり運動 水泳	・集団行動 ・体つくり運動 ・新体力テスト ・サーキット運動 ・クロール ・平泳ぎ ・フォーム確認と改善 ・泳力測定
２学期	９月～１２月（４２）	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Cア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Cイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Cウ) (知及技) ・ダンスの技能を身につけ、表現や踊りを通した交流ができる。(高校2段階Gア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Gイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力できる。(高校2段階Gイ) (知及技) ・空手の特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、演武（普及型Ⅰ）することができる。(高校１段階Fア) (思判表力) ・空手について自己や仲間の課題を発見し、解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを相手に伝えることができる。(高校１段階Fイ) (学・人) 礼儀作法や決まり伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動をすることができる。(高校１段階Fウ) (知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Eア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Eイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Eウ)	(知･技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (知･技) ・ダンスの技能を身につけ、表現や踊りを通した交流している。 (思･判･表) ・仲間と考えたことを他者に伝えている。 (主学) ・自主的に運動している。 (知・技) ・基本動作のポイントなど知識や演武を通して理解している。 ・基本動作が身についており同じ動きができる。 (思・判・表) ・iPadでの基本動作や型の確認し互いに練習内容を工夫している。 (主学) ・互いに協力して、練習や課題に取り組もうとしている。 (知･技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	・陸上競技 ・ダンス ・武道 ・球技	・短距離走 ・リレー ・走り幅跳び ・走り高跳び ・投擲 ・エイサー ・特体連ダンス ・空手 ・バレーボール ・バスケットボール
３学期	１月～３月（２６）	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Cア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Cイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Cウ) (知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Eア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Eイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Eウ)	(知･技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (知･技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	・陸上競技 ・球技	・長距離走 ・時間走 ・ソフトボール ・バレーボール ・サッカー ・バスケットボール
留意点 引継ぎ等		・各単元について、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。			

令和 ８年度 高等部　　３年　（Ⅱ課程Ａ）　保健体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部３年Ⅱ課程Ａ		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)各種運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や個人生活及び社会生活に必要な健康安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能身に付けることができる。（高２段階） (思判表力)各種運動や健康安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	４月～３月	(知及技) ・心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに，健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。(高校2段階Iア) (思判表力) ・ 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高校2段階Iイ) (学・人) ・生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができる。（高校2段階(1)目標）	(知･技) ・ 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに，健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができている。 (思･判･表) ・ 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができている。 (主学) ・生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指す態度を養うことができている。	・心と体の健康 ・病気にならないために ・怪我をしないために ・病気になった時・けがをしたとき ・大切な体	・体の発育・発達 ・体の各部のはたらき ・心の発達と健康 ・主な病気の種類と予防 ・食生活と健康 ・運動と健康 ・睡眠・休養と健康 ・肥満への対応 ・歯の病気 ・汗のしくみと処理 ・体の調子を整える ・健康診断・予防接種 ・主なけがの種類と予防 ・作業前後 ・交通安全 ・自然災害(地震など) ・診察を受ける ・医薬品の正しいあつかい方 ・応急手当て ・心肺蘇生法 ・交通事故にあったときの対応 ・性 ・性感染症・エイズの予防 ・喫煙の害、飲酒の害、薬物乱用 ・加齢と健康
１学期	４月～７月（３７）	(知及技) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の行い方や方法を理解することができる。(高校2段階Aア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。（高校2段階Aイ） (学・人) ・見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Aウ) (知及技) ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Dア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Dイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。(高校2段階Dウ)	(知･技) ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の行い方や方法を理解している。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・見通しを持って自主的に運動しようとしている。 (知･技) ・水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。	体づくり運動 水泳	・集団行動 ・体つくり運動 ・新体力テスト ・サーキット運動 ・クロール ・平泳ぎ ・フォーム確認と改善 ・泳力測定
２学期	９月～１２月（４２）	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Cア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Cイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Cウ) (知及技) ・ダンスの技能を身につけ、表現や踊りを通した交流ができる。(高校2段階Gア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Gイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力できる。(高校2段階Gイ) (知及技) ・空手の特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、演武（普及型Ⅰ）することができる。(高校１段階Fア) (思判表力) ・空手について自己や仲間の課題を発見し、解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを相手に伝えることができる。(高校１段階Fイ) (学・人) 礼儀作法や決まり伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動をすることができる。(高校１段階Fウ) (知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Eア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Eイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Eウ)	(知･技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (知･技) ・ダンスの技能を身につけ、表現や踊りを通した交流している。 (思･判･表) ・仲間と考えたことを他者に伝えている。 (主学) ・自主的に運動している。 (知・技) ・基本動作のポイントなど知識や演武を通して理解している。 ・基本動作が身についており同じ動きができる。 (思・判・表) ・iPadでの基本動作や型の確認し互いに練習内容を工夫している。 (主学) ・互いに協力して、練習や課題に取り組もうとしている。 (知･技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	・陸上競技 ・ダンス ・武道 ・球技	・短距離走 ・リレー ・走り幅跳び ・走り高跳び ・投擲 ・エイサー ・特体連ダンス ・空手 ・バレーボール ・バスケットボール
３学期	１月～３月（２６）	(知及技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Cア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Cイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Cウ) (知及技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけることができる。(高校2段階Eア) (思判表力) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫できる。(高校2段階Eイ) (学・人) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高校2段階Eウ)	(知･技) ・陸上競技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。 (知･技) ・球技の楽しさや喜びを味わい、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表) ・自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫している。 (主学) ・きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保し、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	・陸上競技 ・球技	・長距離走 ・時間走 ・ソフトボール ・バレーボール ・サッカー ・バスケットボール ・キックベース ・グランドゴルフ
留意点 引継ぎ等		・各単元について、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。			

令和 ８年度 高等部部　　１年　（Ⅱ課程Ｂ）保健体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部１年Ⅱ課程Ｂ		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)各種運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や個人生活に必要な健康安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)各種運動や健康安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保し、自主的に運動することができる。（高１段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	４月～３月	(知及技)心身の発育・発達、障害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人)生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。(高１段階)	(知及技)心身の発育・発達、障害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができている。 (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができている。	・けがや疾病の予防 ・心と体の健康	・食生活と健康 ・運動と健康 ・睡眠、球陽と健康 ・歯の病気 ・体の調子を整える ・健康診断 ・交通安全 ・自然災害 ・応急手当 ・体の発育・発達 ・性に関すること ・心の健康
１学期	４月～７月（３７）	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。(高１段階) (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階) (知及技)水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができている。 (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。 (知及技)水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができている。 (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・体つくり運動 ・水泳	・集団行動 ・体つくり運動 ・新体力テスト ・サーキット運動 ・水慣れ ・歩く、走る ・潜る、浮く ・けのび、バタ足
２学期	９月～１２月（４２）	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階) (知及技)ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をすることができる。(高１段階) (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)ダンスの多様な経験を通して，仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階) (知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができる。(高１段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる(高１段階) (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができている。 (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。 (知及技)ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をすることができている。 (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)ダンスの多様な経験を通して，仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。 (知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができている。 (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・陸上競技 ・ダンス ・球技	・短距離走 ・リレー ・走り幅跳び ・走り高跳び ・投擲 ・エイサー ・特体連ダンス ・ティーボール ・卓球 ・バスケットボール
３学期	１月～３月（２６）	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階) (知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができる。(高１段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる(高１段階) (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができている。 (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。 (知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができている。 (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・陸上競技 ・球技	・長距離走 ・時間走 ・グランドゴルフ ・サッカー
留意点 引継ぎ等		・各単元について、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。			

令和　８年度 高等部部　　２年　（Ⅱ課程Ｂ）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部２年Ⅱ課程Ｂ		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)各種運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や個人生活に必要な健康安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)各種運動や健康安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保し、自主的に運動することができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	４月～３月	(知及技)心身の発育・発達、障害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人)生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。(高１段階)	(知及技)心身の発育・発達、障害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができている。 (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができている。	・けがや疾病の予防 ・心と体の健康	・食生活と健康 ・運動と健康 ・睡眠、球陽と健康 ・歯の病気 ・体の調子を整える ・健康診断 ・交通安全 ・自然災害 ・応急手当 ・体の発育・発達 ・性に関すること ・心の健康
１学期	４月～７月（３７）	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。(高１段階) (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができている。 (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・体つくり運動	・集団行動 ・体つくり運動 ・新体力テスト ・サーキット運動
		(知及技)水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技)水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができている。 (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・水泳	・水慣れ ・歩く、走る ・潜る、浮く ・けのび、バタ足
２学期	９月～１２月（４２）	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができている。 (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・陸上競技	・短距離走 ・リレー ・走り幅跳び ・走り高跳び ・投擲
		(知及技)ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をすることができる。(高１段階) (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)ダンスの多様な経験を通して，仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技)ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をすることができている。 (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)ダンスの多様な経験を通して，仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・ダンス	・エイサー ・特体連ダンス
		(知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができる。(高１段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる(高１段階) (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができている。 (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・球技	・ティーボール ・卓球 ・バスケットボール
３学期	１月～３月（２６）	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができている。 (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・陸上競技	・長距離走 ・時間走
		(知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができる。(高１段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる(高１段階) (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができている。 (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・球技	・グランドゴルフ ・サッカー

留意点 引継ぎ等	・各単元について、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。

令和　８年度 高等部部　　３年　（Ⅱ課程Ｂ）　保健体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部３年Ⅱ課程Ｂ		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)各種運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や個人生活に必要な健康安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)各種運動や健康安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保し、自主的に運動することができる。（高１段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	４月～３月	(知及技)心身の発育・発達、障害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人)生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。(高１段階)	(知・技)心身の発育・発達、障害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができている。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (主学)生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができている。	・けがや疾病の予防 ・心と体の健康	・食生活と健康 ・運動と健康 ・睡眠、球陽と健康 ・歯の病気 ・体の調子を整える ・健康診断 ・交通安全 ・自然災害 ・応急手当 ・体の発育・発達 ・性に関すること ・心の健康
１学期	４月～７月（３７）	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。(高１段階) (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階) (知及技)水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知・技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができている。 (思・判・表)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (主学)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。 (知・技)水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができている。 (思・判・表)水泳についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (主学)水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・体つくり運動 ・水泳	・集団行動 ・体つくり運動 ・新体力テスト ・サーキット運動 ・水慣れ ・歩く、走る ・潜る、浮く ・けのび、バタ足
２学期	９月～１２月（４２）	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階) (知及技)ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をすることができる。(高１段階) (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)ダンスの多様な経験を通して，仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階) (知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができる。(高１段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる(高１段階) (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知・技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができている。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (主学)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。 (知・技)ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をすることができている。 (思・判・表)ダンスについての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (主学)ダンスの多様な経験を通して，仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。 (知・技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができている。 (思・判・表)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (主学)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・陸上競技 ・ダンス ・球技	・短距離走 ・リレー ・走り幅跳び ・走り高跳び ・投擲 ・エイサー ・特体連ダンス ・ティーボール ・卓球 ・バスケットボール
３学期	１月～３月（２６）	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。(高１段階) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高１段階) (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階) (知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができる。(高１段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる(高１段階) (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。(高１段階)	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができている。 (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。 (知及技)球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができている。 (思判表力)球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができている。 (学・人)球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができている。	・陸上競技 ・球技	・長距離走 ・時間走 ・グランドゴルフ ・サッカー
留意点 引継ぎ等		・各単元について、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。			

令和８年度　　高等部　　１年　（Ⅱ課程A）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
37	高等部１学年　Ⅱ課程Ａ①グループ		たのしい家庭科 新おとなドリル 特別支援学校(高等部)向け消費者教育用教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) ・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係わる基礎的な知識山羊納を見につけるようにする。（中1，2段階） (思判表力) ･将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。（中1，2段階） (学･人) ･よりより家庭生活や将来の職業生活の実現にむけて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（中1，2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期～3学期	1	(知・技)衣食住に関わる家庭科の学習内容について理解することができる。（中2段階） (思判表力)学習内容につい興味関心を示し、やってみたいこと、作りたいこと等を考え互いに伝えることができる。（中2段階） (主学）衣食住に関する学習内容を自らの家庭生活や学校生活に生かすことができる。（中2段階）	(知・技)衣食住に関する学習内容について理解できる、又はしようとする。 (思・判・表)学習内容に興味関心を示し、積極的に授業参加している。 (主学）衣食住に関する学習内容を自らの家庭生活や学校生活に生かそうとする態度が見られる。 [評価資料] 授業プリント	家庭科オリエンテーション 「家庭科のイメージについて考えよう」 「家庭科の授業でやってみたいことを考えよう」	・「家庭科」という教科のイメージ、やってみたい、学習したい内容を書き出す。 ・一年間の学習内容の説明
	3	（知･技）自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを理解することができる。（中2段階） （思･判･表）家庭生活に必要な事に関して家族の一員として自分の果たす役割を考え発表することができる。（中2段階） （主学）望ましい生活環境や健康管理、自分にあった余暇の過ごし方について考え生活を工夫しようとすることができる。（中2段階）	（知･技）自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さに気づいている。 （思･判･表）家庭生活に必要な事に関して家族の一員として自分の果たす役割を考えることができる。具体的又は自分の言葉で発表することができる。 （主学）望ましい生活環境や健康管理、自分にあった余暇の過ごし方について考え工夫しようとしている。 [評価資料] 授業プリント（家庭での役割、お手伝いについて） 感想発表	A　家族･家庭生活 ア自分の成長と家族 イ家庭生活と役割	・家庭の中の自分の役割を見直す ：お手伝い表の記入 ：高齢者体験
	14	(知・技)布を用いた簡単な物の製作計画を考え、工夫して縫うことができる。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方などについて理解することができる。（中2段階） (思判表力)目的に応じた縫い方について考え工夫することができる。（中2段階） ・日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え工夫することができる。 (主学）被服作品を生活の中で活用することができる。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を生活の中で実践することができる。（中2段階）	(知・技)布を用いた簡単な被服製作で手順を踏まえ、工夫して縫おうとしている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を理解しようとしている。 (思判表力)目的に応じた縫い方について考え工夫しようとしている。 ・日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え工夫しようとしている。 (主学）被服作品を生活の中で活用する方法を考えている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を生活の中で実践しようと考えている。 〔評価資料〕 ・被服実習教材、達成度表 学習プリント、振り返りシート	B衣食住の生活 ウ衣服の着用と手入れ 工布を用いた制作	・裁縫用具や器具の取り扱い ・最適なサイズを選ぶ ・ミシンの基本操作 ・被服制作 ・洗濯表示の見方 ・手洗いの仕方
	6	（知･技）健康な食生活と食事の役割について理解することができる。 （思判表力）適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付き他者と伝え合うことができる。 （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え工夫することができる。	（知･技）健康な食生活と食事の役割について理解しようとする態度が見られる。 （思判表力）適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付き他者と伝え合うことができる。 （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え工夫する方法を伝え合ったりまとめることができる。 〔評価資料〕食品カード、栄養素に関する資料、食品分類表、ワークプリント、振り返りシート、調理実習プリント	B衣食住の生活 ア食事の役割 イ栄養を考えた食事 ウ調理の基礎	・栄養カード、プリント学習 ・調理実習の心構え ：身支度や手洗いのついて ：調理器具の安全な取扱方と保管方法 ・食材の調理方法 ：野菜の切り方、ご飯、みそ汁、冷凍食品 ・テーブルマナー
	3	（知･技）住まいの主な働きや、整理･整頓や清掃の仕方について理解することができる。（中2段階） （思判表力）家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（中2段階） （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付き実践することができる。（中2段階）	（知･技）住まいの主な働きや、整理･整頓や清掃の仕方について理解している。 （思判表力）家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現またはまとめることができる。 （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付き実践する態度が見られる。 〔評価資料〕ワークプリント、振り返りシート	B衣食住の生活 エ快適な住まい方	・快適な住まいと住居の役割 ：身近な家電用品の洗浄 ：季節の変化と住居の工夫
	10	（知･技）購入方法や支払い方法の特徴を理解することができる。（中2段階） （思判表力）売買契約の仕組み、消費者被害と対処法について考え表現することができる。（中2段階） （主学）身近な消費生活について環境に配慮した物の使い方について考え工夫することができる。（中2段階）	（知･技）購入方法や支払い方法の特徴を理解している。 （思判表力）売買契約の仕組み、消費者被害と対処法について考えることができる。 （主学）身近な消費生活について環境に配慮した物の使い方について考えることができる。 〔評価資料〕 PP,プリント学習 ・外部講師講話（沖縄県消費生活センター）	C消費生活･環境 ア身近な消費生活 イ環境に配慮した生活	・消費者教育に関する学習 ：買い物のルール ：いろいろな支払い方法 ：18歳成人に関する消費生活 ：消費者トラブル ：エシカル消費

留意点 引継ぎ等	・学習進度によって内容が前後する場合がある。 ・テーブルマナーは生徒の実態を考慮しながら行う。 ・実習に関しては生徒の実態を考慮しながら行う。

令和８年度　　高等部　　１年　（Ⅱ課程A）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時	生徒	担当者	教科書／副教材
37	高等部１学年　Ⅱ課程Ａ　②グループ		たのしい家庭科 新おとなドリル 特別支援学校(高等部)向け消費者教育用教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) ・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係わる基礎的な知識山羊納を見につけるようにする。（中1段階） (思判表力) ･将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う．（中1段階） (学･人) ･よりより家庭生活や将来の職業生活の実現にむけて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う．（中1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期～3学期	2	(知・技)衣食住に関わる家庭科の学習内容について理解することができる。（中1段階） (思判表力)学習内容につい興味関心を示し、やってみたいこと、作りたいこと等を伝えることができる。（中1段階） (主学）家庭科での約束や使用する道具等に関心を示し、安全に学習することを考え工夫することができる。（中1段階）	(知・技)衣食住に関する学習内容について理解しようとする。 (思・判・表)学習内容に興味関心を示している。 (主学）家庭科の授業中のルールやマナー、裁縫道具の安全な扱い方について理解を示している。 [評価資料] 授業プリント	家庭科オリエンテーション 「家庭科の授業でやってみたいことを考えよう」 「裁縫道具の使い方や授業中のルールやマナー」	・「家庭科」という教科のイメージ、やってみたい、学習したい内容を書き出す。 ・一年間の学習内容の説明 ・家庭科室の利用、裁縫道具の名称と扱い方。
	2	（知･技）家庭生活の大切さを理解することができる。（中1段階） （思･判･表）家族の一員として自分の果たす役割を考え発表することができる。（中1段階） （主学）望ましい生活環境や健康管理について考え生活を工夫しようとすることができる。（中1段階）	（知･技）家庭生活の大切さに気づいている。 （思･判･表）家族の一員として自分の果たす役割を考えることができる。具体的又は自分の言葉で発表することができる。 （主学）望ましい生活環境や健康管理について考えようとしている。 [評価資料] 授業プリント（家庭での役割、お手伝いについて） 感想発表	A　家族･家庭生活 ア自分の成長と家族 イ家庭生活と役割	・家庭の中の自分の役割を見直す 　：お手伝い表の記入
	14	(知・技)布を用いた簡単な小物を手順を意識して縫うことができる。（中1段階） ・日常着の使い分けや手入れの仕方などについて理解することができる。（中1段階） (思判表力)目的に応じた縫い方について考え工夫することができる。（中1段階） (主学）被服作品を生活の中で活用することができる。（中1段階） ・日常着の使い分けや手入れの仕方をで実践することができる。（中1段階）	(知・技)布を用いた簡単な被服製作で手順を踏まえ、工夫して縫おうとしている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を理解しようとしている。 (思判表力)目的に応じた縫い方について考え工夫しようとしている。 (主学）被服作品を生活の中で活用する方法を考えている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を実践しようと考えている。 〔評価資料〕 ・被服実習教材、達成度表 学習プリント、振り返りシート	B衣食住の生活 ウ衣服の着用と手入れ エ布を用いた制作	・裁縫用具や器具の取り扱い ・最適なサイズを選ぶ ・ミシンの基本操作 ・被服制作 ・洗濯表示の見方 ・洗濯の仕方
	6	（知･技）毎日の食事の大切さについて理解することができる。（中1段階） （思判表力）適切な量の食事を楽しくとることの大切さを他者と伝え合うことができる。（中1段階） （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方を考え工夫することができる。（中1段階）	（知･技）食事の役割について理解しようとする態度が見られる。 （思判表力）適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付き他者と伝え合うことができる。 （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方を伝え合ったりまとめることができる。 〔評価資料〕食品カード、栄養素に関する資料、食品分類表、ワークプリント、振り返りシート、調理実習プリント	B衣食住の生活 ア食事の役割 イ栄養を考えた食事 ウ調理の基礎	・栄養カード、プリント学習 ・調理実習の心構え 　：身支度や手洗いのついて 　：調理器具の安全な取扱方と 　　保管方法 ・食材の調理方法 　：野菜の切り方、ご飯、みそ汁、冷凍食品 ・テーブルマナー
	3	（知･技）住まいの整理･整頓や清掃の仕方について理解することができる。（中1段階） （思判表力）安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（中1段階） （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方を実践することができる。（中1段階）	（知･技）住まいの整理･整頓や清掃の仕方について理解している。 （思判表力）安全や快適さを考えた住空間について考え、表現またはまとめることができる。 （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付く態度が見られる。 〔評価資料〕ワークプリント、振り返りシート	B衣食住の生活 エ快適な住まい方	・快適な住まいと住居の役割 　：身近な家電用品の洗浄 　：季節の変化と住居の工夫
	10	(知･技）買い物のルールや契約の基本を理解することができる。（中1段階） （思判表力）消費者トラブルの対処方法を考え表現することができる。（中1段階） （主学）身近な消費生活について関心を示し実践することができる。（中1段階）	(知･技）買い物のルールや契約について理解している。 （思判表力）消費者トラブルと対処法について考えることができる。 （主学）身近な消費生活について関心を示している。 〔評価資料〕 PP,プリント学習 ・外部講師講話（沖縄県消費生活センター）	C消費生活･環境 ア身近な消費生活 イ環境に配慮した生活	・消費者教育に関する学習 　：買い物のルール 　：いろいろな支払い方法 　：18歳成人に関する消費生活 　：消費者トラブル 　：エシカル消費

留意点 引継ぎ等	・テーブルマナーは生徒の実態を考慮しながら行う。 ・実習に関しては生徒の実態を考慮しながら行う。

令和８年度　　高等部　　１年　（Ⅱ課程A）家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
37	高等部１学年 Ⅱ課程Ａ　③グループ		たのしい家庭科 新おとなドリル 特別支援学校(高等部)向け消費者教育用教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) ・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係わる基礎的な知識山羊納を見につけるようにする。（中1段階） (思判表力) ･将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う．（中1段階） (学･人) ･よりより家庭生活や将来の職業生活の実現にむけて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う．（中1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期～3学期	2	(知・技)衣食住に関わる家庭科の学習内容について理解することができる。（中1段階） (思判表力)学習内容につい興味関心を示し、やってみたいこと、作りたいこと等を伝えることができる。（中1段階） (主学）家庭科での約束や使用する道具等に関心を示し、安全に学習することを考え工夫することができる。（中1段階）	(知・技)衣食住に関する学習内容について理解しようとする。 (思・判・表)学習内容に興味関心を示している。 (主学）家庭科の授業中のルールやマナー、裁縫道具の安全な扱い方について理解を示している。 [評価資料] 授業プリント	家庭科オリエンテーション 「家庭科の授業でやってみたいことを考えよう」 「裁縫道具の使い方や室内のルールやマナー」	・「家庭科」という教科のイメージ、やってみたい、学習したい内容を書き出す。 ・一年間の学習内容の説明 ・家庭科室の利用、裁縫道具の名称と扱い方。
	2	（知･技）家庭生活の大切さを理解することができる。（中1段階） （思･判･表）家族の一員として自分の果たす役割を考え発表することができる。（中1段階） （主学）望ましい生活環境や健康管理について考え生活を工夫しようとすることができる。（中1段階）	（知･技）家庭生活の大切さに気づいている。 （思･判･表）家族の一員として自分の果たす役割を考えることができる。具体的又は自分の言葉で発表することができる。 （主学）望ましい生活環境や健康管理について考えようとしている。 [評価資料] 授業プリント（家庭での役割、お手伝いについて） 感想発表	A　家族･家庭生活 ア自分の成長と家族 イ家庭生活と役割	・家庭の中の自分の役割を見直す 　：お手伝い表の記入
	14	(知・技)布を用いた簡単な小物を手順を意識して縫うことができる。（中1段階） ・日常着の使い分けや手入れの仕方などについて理解することができる。（中1段階） (思判表力)目的に応じた縫い方について考え工夫することができる。（中1段階） (主学）被服作品を生活の中で活用することができる。（中1段階） ・日常着の使い分けや手入れの仕方をで実践することができる。（中1段階）	(知・技)布を用いた簡単な被服製作で手順を踏まえ、工夫して縫おうとしている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を理解しようとしている。 (思判表力)目的に応じた縫い方について考え工夫しようとしている。 (主学）被服作品を生活の中で活用する方法を考えている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を実践しようと考えている。 〔評価資料〕 ・被服実習教材、達成度表 学習プリント、振り返りシート	B衣食住の生活 ウ衣服の着用と手入れ 工布を用いた制作	・裁縫用具や器具の取り扱い ・最適なサイズを選ぶ ・ミシンの基本操作 ・被服制作 ・洗濯表示の見方 ・洗濯の仕方
	6	（知･技）朝ご飯の大切さについて理解することができる。（中1段階） （思判表力）適切な量の食事を楽しくとることの大切さを他者と伝え合うことができる。（中1段階） （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方を考え工夫することができる。（中1段階）	（知･技）朝ご飯役割について理解しようとする態度が見られる。 （思判表力）適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付き他者と伝え合うことができる。 （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方を伝え合ったりまとめることができる。 〔評価資料〕食品カード、栄養素に関する資料、食品分類表、ワークプリント、振り返りシート、調理実習プリント	B衣食住の生活 ア食事の役割 イ栄養を考えた食事 ウ調理の基礎	・栄養カード、プリント学習 ・調理実習の心構え 　：身支度や手洗いのついて 　：調理器具の安全な取扱方と 　　保管方法 ・食材の調理方法 　：野菜の切り方、ご飯、みそ汁、冷凍食品 ・テーブルマナー
	3	（知･技）住まいの整理･整頓や清掃の仕方について理解することができる。（中1段階） （思判表力）安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（中1段階） （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方を実践することができる。（中1段階）	（知･技）住まいの整理･整頓や清掃の仕方について理解している。 （思判表力）安全や快適さを考えた住空間について考え、表現またはまとめることができる。 （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付く態度が見られる。 〔評価資料〕ワークプリント、振り返りシート	B衣食住の生活 エ快適な住まい方	・快適な住まいと住居の役割 　：身近な家電用品の洗浄 　：季節の変化と住居の工夫
	10	(知･技）買い物のルールや契約の基本を理解することができる。（中1段階） （思判表力）消費者トラブルの対処方法を考え表現することができる。（中1段階） （主学）身近な消費生活について関心を示し実践することができる。（中1段階）	(知･技）買い物のルールや契約について理解している。 （思判表力）消費者トラブルと対処法について考えることができる。 （主学）身近な消費生活について関心を示している。 〔評価資料〕 PP,プリント学習 ・外部講師講話（沖縄県消費生活センター）	C消費生活･環境 ア身近な消費生活 イ環境に配慮した生活	・消費者教育に関する学習 　：買い物のルール 　：いろいろな支払い方法 　：18歳成人に関する消費生活 　：消費者トラブル 　：エシカル消費

留意点 引継ぎ等	・テーブルマナーは生徒の実態を考慮しながら行う。 ・実習に関しては生徒の実態を考慮しながら行う。

令和８年度　　高等部　　２年　（Ⅱ課程A）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
37	高等部２学年　Ⅱ課程A①グループ		たのしい家庭科 新おとなドリル 特別支援学校(高等部)向け消費者教育用教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思・判・表)思考・判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) ・家族・糧の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。（高1，2段階） (思判表力) ・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高1，2段階） (学・人) ・家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高1，2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期～3学期	1	(知・技)衣食住に関わる家庭科の学習内容について理解安全な道具伸しよう方法がわかる。（高1段階） (思判表力)家庭科の学習内容につい興味関心を示し、やってみたいこと、作りたいこと等を考え互いに伝伝え合い表現することができる。（高1段階） (主学）衣食住に関する学習内容を自らの家庭生活や学校生活に置き換え生かすことができる。（高1段階）	(知・技)衣食住に関する学習内容について理解できる、又はしようとする。安全な道具の使用方法を理解している。 (思・判・表)学習内容に興味関心を示し、積極的に授業参加し発表している。 (主学）衣食住に関する学習内容を自らの家庭生活や学校生活に生かそうとする態度が見られる。 [評価資料] 授業プリント	家庭科オリエンテーション 「家庭科のイメージについて考えよう」 「家庭科の授業でやってみたいことを考えよう」	・「家庭科」という教科のイメージ、やってみたい、学習したい内容を書き出す。 ・一年間の学習内容の説明
	3	（知･技）自分の成長と家族や家庭生活との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることを理解できる。（高1，2段階） （思･判･表）家族とのよりよい関わり方について考え表現することができる。（高1，2段階） （主学）乳幼児や高齢者などとのより良い関わり方について考え、実践することができる。	（知･技）自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さや家族に支えられているに気づいている。 （思･判･表）家庭生活に必要な事に関して家族の一員として自分の果たす役割を考えることができる。具体的又は自分の言葉で発表することができる。 （主学）高齢者の体の特徴を理解している。望ましい関わり方や介助方法を実践しようとしている。 [評価資料] 授業プリント（家庭での役割、お手伝いについて） 感想発表 高齢者体験グッズ	A　家族･家庭生活 ア自分の成長と家族 イ家庭生活と役割 エ乳幼児や高齢者などの生活	・家庭の中の自分の役割を見直す 　：お手伝い表の記入 ・高齢者体験 ・乳幼児の成長
	14	(知・技)布を用いた製作に係わる学習活動を通して、目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて理解できる。製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画を理解することができる。（高1、2段階） ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解することができる。（高2段階） (思判表力)布を用いた製作計画を考え、工夫することができる。（高2段階） (主学）被服実習で製作した物を日常生活の中で活用することができる。（高1，2段階） ・衣服の手入れの仕方を生活の中で実践することができる。（高2段階）	(知・技)目的に応じた縫い方について考え工夫しようとしている。手順を踏まえ、工夫して縫おうとしている。 安全に裁縫道具を使用し、準備片付けもしっかりできる。 衣服材料や状態に応じて手入れの仕方を理解しようとしている。 (思判表力)被服実習の製作計画を理解し工夫して計画的に製作を行っている。 (主学）被服作品を生活の中で活用する方法を考えている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を生活の中で実践しようと考えている。 〔評価資料〕 ・被服実習教材、達成度表 学習プリント、振り返りシート	B　衣食住の生活 ウ　衣服の手入れ エ　布を用いた制作	・裁縫用具や器具の取り扱い ・最適なサイズを選ぶ ・ミシンの基本操作 ・被服制作 ・洗濯表示の見方 ・手洗いの仕方 ・アイロンがけ
	6	（知･技）生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。（高1段階） （思判表力）自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、一日又は一食分の献立について考え工夫することができる。（高2段階） （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え工夫することができる。（高1，2段階）	（知･技）健康な食生活と食事の役割について理解しようとする態度が見られる。 （思判表力）バランスの取れた献立を考え、まとめ、発表することができる。食事を楽しくとることの大切さに気付き他者と伝え合うことができる。 （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え工夫する方法を伝え合ったりまとめることができる。 〔評価資料〕食品カード、栄養素に関する資料、食品分類表、ワークプリント、振り返りシート、調理実習プリント	B　衣食住の生活 ア　食事の役割 イ　必要な栄養を満たす食事 ウ　日常食の調理	・栄養カード、プリント学習 ・調理実習の心構え 　：身支度や手洗いのついて 　：調理器具の安全な取扱方と 　　保管方法 ・食材の調理方法 　：野菜の切り方、ご飯、みそ汁、冷凍食品 ・テーブルマナー
	3	（知･技）家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。（高1段階） （思判表力）家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（高1，2段階） （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付き実践することができる。（高1，2段階）	（知･技）家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解しようとしている。 （思判表力）家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現またはまとめることができる。 （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付き実践する態度が見られる。 〔評価資料〕ワークプリント、振り返りシート	B衣食住の生活 オ　住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	・快適な住まいと住居の役割 　：身近な家電用品の洗浄 　：季節の変化と住居の工夫
	10	(知･技）購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭仮の必要性について理解することができる。（高1，2段階） （思判表力）物資･サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え工夫することができる。（高1，2段階） （主学）身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現することができる。（高1，2階）	(知･技）購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭仮の必要性について理解できている。（高1，2段階） （思判表力）物資･サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考えようとする様子が見られる。（高1，2段階） （主学）身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、発表することができる。（高1，2階） 〔評価資料〕 PP,プリント学習 ・外部講師講話（沖縄県消費生活センター）	C消費生活･環境 ア　消費生活 イ　消費者の基本的は権利と責任	・消費者教育に関する学習 　：買い物のルール 　：いろいろな支払い方法 　：18歳成人に関する消費生活 　：消費者トラブル 　：エシカル消費 　：消費者講話

留意点 引継ぎ等	・学習進度によって内容が前後する場合がある。 ・テーブルマナーは生徒の実態を考慮しながら行う。 ・実習に関しては生徒の実態を考慮しながら行う。

令和８年度　　高等部　２ 年　（Ⅱ課程A）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
37	高等部２学年 Ⅱ課程Ａ　②グループ		たのしい家庭科 新おとなドリル 特別支援学校(高等部)向け消費者教育用教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) ・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係わる基礎的な知識山羊納を見につけるようにする。（中1，2段階） (思判表力) ･将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う．（中1，2段階） (学･人) ･よりより家庭生活や将来の職業生活の実現にむけて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う．（中1，2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期～3学期	2	(知・技)衣食住に関わる家庭科の学習内容について理解することができる。（中1段階） (思判表力)学習内容につい興味関心を示し、やってみたいこと、作りたいこと等を伝えることができる。（中1段階） (主学）家庭科での約束や使用する道具等に関心を示し、安全に学習することを考え工夫することができる。（中1段階）	(知・技)衣食住に関する学習内容について理解しようとする。 (思・判・表)学習内容に興味関心を示している。 (主学）家庭科の授業中のルールやマナー、裁縫道具の安全な扱い方について理解を示している。 [評価資料] 授業プリント	家庭科オリエンテーション 「家庭科の授業でやってみたいことを考えよう」 「裁縫道具の扱い方や授業中のルールやマナー」	・「家庭科」という教科のイメージ、やってみたい、学習したい内容を書き出す。 ・一年間の学習内容の説明 ・家庭科室の利用、裁縫道具の名称と扱い方。
	2	（知･技）家庭生活の大切さを理解することができる。（中1段階） （思･判･表）家族の一員として自分の果たす役割を考え発表することができる。（中1段階） （主学）望ましい生活環境や健康管理について考え生活を工夫しようとすることができる。（中1段階）	（知･技）家庭生活の大切さに気づいている。 （思･判･表）家族の一員として自分の果たす役割を考えることができる。具体的又は自分の言葉で発表することができる。 （主学）望ましい生活環境や健康管理について考えようとしている。 [評価資料] 授業プリント（家庭での役割、お手伝いについて） 感想発表	A　家族･家庭生活 ア自分の成長と家族 イ家庭生活と役割	・家庭の中の自分の役割を見直す ：お手伝い表の記入 ：高齢者体験
	14	(知・技)布を用いた簡単な小物を手順を意識して縫うことができる。（中1段階） ・日常着の使い分けや手入れの仕方などについて理解することができる。（中1段階） (思判表力)目的に応じた縫い方について考え工夫することができる。（中1段階） (主学）被服作品を生活の中で活用することができる。（中1段階） ・日常着の使い分けや手入れの仕方をで実践することができる。（中1段階）	(知・技)布を用いた簡単な被服製作で手順を踏まえ、工夫して縫おうとしている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を理解しようとしている。 (思判表力)目的に応じた縫い方について考え工夫しようとしている。 (主学）被服作品を生活の中で活用する方法を考えている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を実践しようと考えている。 〔評価資料〕 ・被服実習教材、達成度表 学習プリント、振り返りシート	B衣食住の生活 ウ衣服の着用と手入れ 工布を用いた制作	・裁縫用具や器具の取り扱い ・最適なサイズを選ぶ ・ミシンの基本操作 ・被服制作 ・洗濯表示の見方 ・洗濯の仕方
	6	（知･技）朝ご飯の大切さについて理解することができる。（中1段階） （思判表力）適切な量の食事を楽しくとることの大切さを他者と伝え合うことができる。（中1段階） （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方を考え工夫することができる。（中1段階）	（知･技）朝ご飯の役割について理解しようとする態度が見られる。 （思判表力）適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付き他者と伝え合うことができる。 （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方を伝え合ったりまとめることができる。 〔評価資料〕食品カード、栄養素に関する資料、食品分類表、ワークプリント、振り返りシート、調理実習プリント	B衣食住の生活 ア食事の役割 イ栄養を考えた食事 ウ調理の基礎	・栄養カード、プリント学習 ・調理実習の心構え ：身支度や手洗いのついて ：調理器具の安全な取扱方と 保管方法 ・食材の調理方法 ：野菜の切り方、ご飯、みそ汁、冷凍食品 ・テーブルマナー
	3	（知･技）住まいの整理･整頓や清掃の仕方について理解することができる。（中1段階） （思判表力）安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（中1段階） （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方を実践することができる。（中1段階）	（知･技）住まいの整理･整頓や清掃の仕方について理解している。 （思判表力）安全や快適さを考えた住空間について考え、表現またはまとめることができる。 （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付く態度が見られる。 〔評価資料〕ワークプリント、振り返りシート	B衣食住の生活 エ快適な住まい方	・快適な住まいと住居の役割 ：身近な家電用品の洗浄 ：季節の変化と住居の工夫
	10	(知･技）買い物のルールや契約の基本を理解することができる。（中1段階） （思判表力）消費者トラブルの対処方法を考え表現することができる。（中1段階） （主学）身近な消費生活について関心を示し実践することができる。（中1段階）	(知･技）買い物のルールや契約について理解している。 （思判表力）消費者トラブルと対処法について考えることができる。 （主学）身近な消費生活について関心を示している。 〔評価資料〕 PP,プリント学習 ・外部講師講話（沖縄県消費生活センター）	C消費生活･環境 ア身近な消費生活 イ環境に配慮した生活	・消費者教育に関する学習 ：買い物のルール ：いろいろな支払い方法 ：18歳成人に関する消費生活 ：消費者トラブル ：エシカル消費

留意点 引継ぎ等	・テーブルマナーは生徒の実態を考慮しながら行う。 ・実習に関しては生徒の実態を考慮しながら行う。

令和８年度高等部　３年　（Ⅱ課程A）　家庭科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
37	３学年　Ⅱ課程Ａ　①②グループ		たのしい家庭科 新おとなドリル 特別支援学校(高等部)向け消費者教育用教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) ・家族･糧の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族･家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。（高1，2段階） (思判表力) ･家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価･改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高1，2段階） (学･人) ･家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高1，2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期～3学期	1	(知・技)衣食住に関わる家庭科の学習内容について理解安全な道具伸しよう方法がわかる。（高1段階） (思判表力)家庭科の学習内容につい興味関心を示し、やってみたいこと、作りたいこと等を考え互いに伝伝え合い表現することができる。（高1段階） (主学）衣食住に関する学習内容を自らの家庭生活や学校生活に置き換え生かすことができる。（高1段階）	(知・技)衣食住に関する学習内容について理解できる、又はしようとする。安全な道具の使用方法を理解している。 (思・判・表)学習内容に興味関心を示し、積極的に授業参加し発表ている。 (主学）衣食住に関する学習内容を自らの家庭生活や学校生活に生かそうとする態度が見られる。 [評価資料] 授業プリント	家庭科オリエンテーション 「家庭科のイメージについて考えよう」 「家庭科の授業でやってみたいことを考えよう」	・「家庭科」という教科のイメージ、やってみたい、学習したい内容を書き出す。 ・一年間の学習内容の説明
	3	（知･技）自分の成長と家族や家庭生活との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることを理解できる。（高1，2段階） （思･判･表）家族とのよりよい関わり方について考え表現することができる。（高1，2段階） （主学）乳幼児や高齢者などとのより良い関わり方について考え、実践することができる。	（知･技）自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さや家族に支えられているに気づいている。 （思･判･表）家庭生活に必要な事に関して家族の一員として自分の果たす役割を考えることができる。具体的又は自分の言葉で発表することができる。 （主学）高齢者の体の特徴を理解している。望ましい関わり方や介助方法を実践しようとしている。 [評価資料] 授業プリント（家庭での役割、お手伝いについて） 感想発表 高齢者体験グッズ	A　家族･家庭生活 ア自分の成長と家族 イ家庭生活と役割 エ乳幼児や高齢者などの生活	・家庭の中の自分の役割を見直す ：お手伝い表の記入 ・高齢者体験 ・乳幼児の成長
	14	(知・技)布を用いた製作に係わる学習活動を通して、目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて理解できる。製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画を理解することができる。（高1、2段階） ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解することができる。（高2段階） (思判表力)布を用いた製作計画を考え、工夫することができる。（高2段階） (主学）被服実習で製作した物を日常生活の中で活用することができる。（高1，2段階） ・衣服の手入れの仕方を生活の中で実践することができる。（高2段階）	(知・技)目的に応じた縫い方について考え工夫しようとしている。手順を踏まえ、工夫して縫おうとしている。 安全に裁縫道具を使用し、準備片付けもしっかりできる。 衣服材料や状態に応じて手入れの仕方を理解しようとしている。 (思判表力)被服実習の製作計画を理解し工夫して計画的に製作を行っている。 (主学）被服作品を生活の中で活用する方法を考えている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を生活の中で実践しようと考えている。 〔評価資料〕 ・被服実習教材、達成度表 学習プリント、振り返りシート	B　衣食住の生活 ウ　衣服の手入れ エ　布を用いた制作	・裁縫用具や器具の取り扱い ・最適なサイズを選ぶ ・ミシンの基本操作 ・被服制作 ・洗濯表示の見方 ・手洗いの仕方 ・アイロンがけ
	6	（知･技）生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。（高1段階） （思判表力）自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、一日又は一食分の献立について考え工夫することができる。（高2段階） （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え工夫することができる。（高1，2段階）	（知･技）健康な食生活と食事の役割について理解しようとする態度が見られる。 （思判表力）バランスの取れた献立を考え、まとめ、発表することができる。食事を楽しくとることの大切さに気付き他者と伝え合うことができる。 （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え工夫する方法を伝え合ったりまとめることができる。 〔評価資料〕食品カード、栄養素に関する資料、食品分類表、ワークプリント、振り返りシート、調理実習プリント	B　衣食住の生活 ア　食事の役割 イ　必要な栄養を満たす食事 ウ　日常食の調理	・栄養カード、プリント学習 ・調理実習の心構え ：身支度や手洗いのついて ：調理器具の安全な取扱方と保管方法 ・食材の調理方法 ：野菜の切り方、ご飯、みそ汁、冷凍食品 ・テーブルマナー
	3	（知･技）家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。（高1段階） （思判表力）家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（高1，2段階） （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付き実践することができる。（高1，2段階）	（知･技）家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解しようとしている。 （思判表力）家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現またはまとめることができる。 （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付き実践する態度が見られる。 〔評価資料〕ワークプリント、振り返りシート	B衣食住の生活 オ　住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	・快適な住まいと住居の役割 ：身近な家電用品の洗浄 ：季節の変化と住居の工夫
	10	(知･技）購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭仮の必要性について理解することができる。（高1，2段階） （思判表力）物資･サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え工夫することができる。（高1，2段階） （主学）身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現することができる。（高1，2階）	(知･技）購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭仮の必要性について理解できている。（高1，2段階） （思判表力）物資･サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考えようとする様子が見られる。（高1，2段階） （主学）身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、発表することができる。（高1，2階） 〔評価資料〕 PP,プリント学習 ・外部講師講話（沖縄県消費生活センター）	C消費生活･環境 ア　消費生活 イ　消費者の基本的は権利と責任	・消費者教育に関する学習 ：買い物のルール ：いろいろな支払い方法 ：18歳成人に関する消費生活 ：消費者トラブル ：エシカル消費 ：消費者講話

留意点 引継ぎ等	・学習進度によって内容が前後する場合がある。 ・テーブルマナーは生徒の実態を考慮しながら行う。 ・実習に関しては生徒の実態を考慮しながら行う。

令和８年度　　高等部　３ 年　（Ⅱ課程A）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
37	高等部３学年 Ⅱ課程Ａ　③グループ		たのしい家庭科 新おとなドリル 特別支援学校(高等部)向け消費者教育用教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) ・家族･糧の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族･家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。（高1，2段階） (思判表力) ･家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価･改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高1，2段階） (学･人) ･家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高1，2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期～3学期	2	(知・技)衣食住に関わる家庭科の学習内容について理解安全な道具伸しよう方法がわかる。（高1段階） (思判表力)家庭科の学習内容につい興味関心を示し、やってみたいこと、作りたいこと等を考え互いに伝伝え合い表現することができる。（高1段階） (主学）衣食住に関する学習内容を自らの家庭生活や学校生活に置き換え生かすことができる。（高1段階）	(知・技)衣食住に関する学習内容について理解できる、又はしようとする。安全な道具の使用方法を理解している。 (思・判・表)学習内容に興味関心を示し、積極的に授業参加し発表ている。 (主学）衣食住に関する学習内容を自らの家庭生活や学校生活に生かそうとする態度が見られる。 [評価資料] 授業プリント	家庭科オリエンテーション 「家庭科のイメージについて考えよう」 「家庭科の授業でやってみたいことを考えよう」	・「家庭科」という教科のイメージ、やってみたい、学習したい内容を書き出す。 ・一年間の学習内容の説明
	2	（知･技）自分の成長と家族や家庭生活との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることを理解できる。（高1，2段階） （思･判･表）家族とのよりよい関わり方について考え表現することができる。（高1，2段階） （主学）乳幼児や高齢者などとのより良い関わり方について考え、実践することができる。	（知･技）自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さや家族に支えられているに気づいている。 （思･判･表）家庭生活に必要な事に関して家族の一員として自分の果たす役割を考えることができる。具体的又は自分の言葉で発表することができる。 （主学）高齢者の体の特徴を理解している。望ましい関わり方や介助方法を実践しようとしている。 [評価資料] 授業プリント（家庭での役割、お手伝いについて） 感想発表 高齢者体験グッズ	A　家族･家庭生活 ア自分の成長と家族 イ家庭生活と役割 エ乳幼児や高齢者などの生活	・家庭の中の自分の役割を見直す ：お手伝い表の記入 ・高齢者体験 ・乳幼児の成長
	14	(知・技)布を用いた製作に係わる学習活動を通して、目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱いについて理解できる。製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画を理解することができる。（高1、2段階） ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解することができる。（高2段階） (思判表力)布を用いた製作計画を考え、工夫することができる。（高2段階） (主学）被服実習で製作した物を日常生活の中で活用することができる。（高1，2段階） ・衣服の手入れの仕方を生活の中で実践することができる。（高2段階）	(知・技)目的に応じた縫い方について考え工夫しようとしている。手順を踏まえ、工夫して縫おうとしている。 安全に裁縫道具を使用し、準備片付けもしっかりできる。 衣服材料や状態に応じて手入れの仕方を理解しようとしている。 (思判表力)被服実習の製作計画を理解し工夫して計画的に製作を行っている。 (主学）被服作品を生活の中で活用する方法を考えている。 ・日常着の使い分けや手入れの仕方を生活の中で実践しようと考えている。 〔評価資料〕 ・被服実習教材、達成度表 学習プリント、振り返りシート	B　衣食住の生活 ウ　衣服の手入れ エ　布を用いた制作	・裁縫用具や器具の取り扱い ・最適なサイズを選ぶ ・ミシンの基本操作 ・被服制作 ・洗濯表示の見方 ・手洗いの仕方 ・アイロンがけ
	6	（知･技）生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。（高1段階） （思判表力）自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、一日又は一食分の献立について考え工夫することができる。（高2段階） （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え工夫することができる。（高1，2段階）	（知･技）健康な食生活と食事の役割について理解しようとする態度が見られる。 （思判表力）バランスの取れた献立を考え、まとめ、発表することができる。食事を楽しくとることの大切さに気付き他者と伝え合うことができる。 （主学）基本的な日常食の調理について食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え工夫する方法を伝え合ったりまとめることができる。 〔評価資料〕食品カード、栄養素に関する資料、食品分類表、ワークプリント、振り返りシート、調理実習プリント	B　衣食住の生活 ア　食事の役割 イ　必要な栄養を満たす食事 ウ　日常食の調理	・栄養カード、プリント学習 ・調理実習の心構え ：身支度や手洗いのついて ：調理器具の安全な取扱方と保管方法 ・食材の調理方法 ：野菜の切り方、ご飯、みそ汁、冷凍食品 ・テーブルマナー
	3	（知･技）家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。（高1段階） （思判表力）家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現することができる。（高1，2段階） （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付き実践することができる。（高1，2段階）	（知･技）家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解しようとしている。 （思判表力）家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現またはまとめることができる。 （主学）季節の変化に合わせた整理･整頓や清掃の仕方に気付き実践する態度が見られる。 〔評価資料〕ワークプリント、振り返りシート	B衣食住の生活 オ　住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	・快適な住まいと住居の役割 ：身近な家電用品の洗浄 ：季節の変化と住居の工夫
	10	(知･技）購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭仮の必要性について理解することができる。（高1，2段階） （思判表力）物資･サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え工夫することができる。（高1，2段階） （主学）身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現することができる。（高1，2階）	(知･技）購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭仮の必要性について理解できている。（高1，2段階） （思判表力）物資･サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考えようとする様子が見られる。（高1，2段階） （主学）身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、発表することができる。（高1，2階） 〔評価資料〕 PP,プリント学習 ・外部講師講話（沖縄県消費生活センター）	C消費生活･環境 ア　消費生活 イ　消費者の基本的は権利と責任	・消費者教育に関する学習 ：買い物のルール ：いろいろな支払い方法 ：18歳成人に関する消費生活 ：消費者トラブル ：エシカル消費 ：消費者講話

留意点 引継ぎ等	・学習進度によって内容が前後する場合がある。 ・テーブルマナーは生徒の実態を考慮しながら行う。 ・実習に関しては生徒の実態を考慮しながら行う。

令和８年度　高等部　１年　（Ⅱ課程A）　英語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	1年19名		プリント教材等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語の違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、お手本を見ながら文字を書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。（高１段階） (学･人) 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技)日常の挨拶表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで自分の気持ちや要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高１段階) (思判表力)簡単な語句や基本的な表現を用いて挨拶を交わすことができる。(高１段階) (学･人)言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。(高１段階)	(知・技)挨拶表現や月日、曜日、天気、気分を表す単語や表現を知ろうとする。 (思・判・表)挨拶等の基本的な表現や単語を用いて表現しようとする。 (主学) 自分の知っている表現や単語でやり取りしようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価	・日常の挨拶 ・カレンダーワーク（月日、曜日、天気） ・自分の体調や気分	・Good morning / Good afternoon / Hello. ・What is the date today? --- April 10th. / What day is it? --- It's Thursday. / How is the weather? --- It's sunny. ・How are you today? --- I'm great / good / tired. ・"Hello.How are you?"song
1学期	13	(知及技)自己紹介の基本的な表現を知ることができる。(高１段階) (思判表力)簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の名前や趣味などを含めて自己紹介することができる。(高１段階) (学･人)相手に聞こえるように自己紹介したり、相手の話をよく聞いたりすることができる。(高１段階)	(知・技)自己紹介の基本的な表現を知ろうとする。 (思・判・表)簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の名前や趣味などを含めて自己紹介しようとする。 (主学) 相手に聞こえるように自己紹介したり、相手の話をよく聞いたりしようとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	自己紹介	・初めて会った時の挨拶（My name is ～. / I'm ～. Nice to meet you (too).）のやり取りをする。 ・"My hobby is ～."の表現を使って趣味を伝える。 ・"Let's be friends. --- Of course."のやり取りをする。 ・ローマ字一覧表を見ながら自分の名前を綴る。 ・"What's Your Name?"song
		(知及技)数字（１～20）の読み方を知ることができる。(高１段階) (思判表力)物の数や自分の年齢について数を伝えたり、聞いたりすることができる。(高１段階) (学･人)身近で使う数字を英語ではどう表現するのか興味を示すことができる。(高１段階)	(知・技)数字（１～20）の読み方を知ろうとする。 (思・判・表)物の数や自分の年齢について数を伝えたり、聞いたりしようとする。 (主学)身近で使う数字を英語ではどう表現するのか関心をもって伝えたり、聞こうとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	数(1～20)	・数字（１～20)の読み方や数を尋ねる表現"How many?"に慣れる。 ・"How old are you? --- I'm 16 years old"等の質問の答える。 ・インタビューゲーム"How many ～?"を通して数を尋ねたり答えたりする。 ・リスニングを聴いて、質問を理解し数字で答える。 ・"Number"song
		(知及技)フルーツや動物の英単語を知ることができる。(高１段階) (思判表力)身近なフルーツや動物を英語で表すことができる。(高１段階) (学･人)好きなフルーツや動物を相手に聞いたり、伝えたりし、コミュニケーションを図ることができる。(高１段階)	(知・技)フルーツや動物を表す単語や表現について知ろうとする。 (思・判・表)好きなフルーツや動物を尋ねる表現を使って伝えようとする。 (主学)学習した英単語や表現を使って、相手とコミュニケーションを図ろうとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	単語学習（フルーツ・動物）	・フルーツや動物を表す英単語を学ぶ。 ・好きなフルーツや動物を尋ねる、答える。 Apple,banana,watermelon,etc Elephant,monkey,bear,etc What fruits do you like? I like oranges. What animal do you like? I like gorilla. ・「Touch game」で、指示された単語にタッチする。 "Touch pineapple!" ・「シルエットクイズ」で何のフルーツ、動物か考え、英単語で答える。 "What fruits is this?" ・「word search quiz」で英単語を探し出す。
		(知及技)色や動詞に関する英単語を知ることができる。(高１段階) (思判表力)周りにある色や日常の動作を英語で表すことができる。(高１段階) (学･人)好きな色や動詞を表すアクションを相手に聞いたり、伝えたりし、コミュニケーションを図ることができる。(高１段階)	(知・技)色や動作を表す単語や表現について知ろうとする。 (思・判・表)好きな色や日常の動作を表す表現を使って伝えようとする。 (主学)学習した英単語や表現を使って、相手とコミュニケーションを図ろうとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	単語学習（色・アクション動詞）	・色や日常の動作を表す英単語を学ぶ。 ・好きな色を尋ねる、答える。 Yellow,purple,white,etc Work,run,wash,etc What color do you like? I like blue. ・「Touch game」で、指示された色にタッチする。 "Touch green!" ・「アクションジェスチャーゲーム」でカードにある動詞をジェスチャーで伝える。周りの生徒はジェスチャーを見て、英単語で答える。
		(知及技)基本的な質問の表現を知ることができる。(高１段階) (思判表力)基本的な質問の表現を使って相手を知ることできる。(高１段階) (学･人)相手に聞こえるような声の大きさで質問し伝えることができる。(高１段階)	(知・技)基本的な質問の表現を知ろうとする。 (思・判・表) 質問表現を使って、相手を知ろうとする。 (主学)相手に聞こえるような声の大きさで学習した英単語や表現を使って、相手とコミュニケーションを図ろうとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	whを使った質問 「Guess who Quiz」	・５つの基本的な挨拶や質問を使い、得たヒントからどの有名人かを推測し答える。 Hi,nice to meet you. How old are you? Where are you from? What do you do? What is your name?

2学期	14	(知及技)ハロウィンではどんな活動をするのか知ることができる。(高１段階) (思判表力)ハロウィンの活動に工夫して取り組むことができる。(高１段階) (学･人)外国の風習について知り、文化の違いを感じることができる。(高１段階)	(知・技)ハロウィンではどんな活動をするのか知ろうとする。 (思・判・表)ハロウィンの活動に工夫して取り組もうとする。 (主学) 外国の風習について知り、文化の違いを感じようとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	ハロウィン	・外国で行われているハロウィンの様子を知り、外国と日本の行事の違いを知る。 ・ハロウィンコスチュームの単語マッチング(ghost, witch, spider, skeleton, mummy, etc.) ・”Happy Halloween! / Who are you? ---I’m a witch.”の表現を使って自分が仮装したいものを発表する。 ・ALTとジャコランタン作り ・ハロウィンメイズ遊び ・”Halloween Stomp” song
		(知及技)時間割にある教科の英単語を知ることができる。(高１段階) (思判表力)時間割の教科を英語で表すことができる。(高１段階) (学･人)好きな教科を相手に聞いたり、伝えたりし、コミュニケーションを図ることができる。(高１段階)	(知・技)時間割の教科を表す単語や表現について知ろうとする。 (思・判・表)時間割を尋ねる表現を使って伝えようとする。 (主学)学習した英単語や表現を使って、相手とコミュニケーションを図ろうとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	時間割作成（教科）	・時間割にある教科を表す英単語を学ぶ。 ・好きな教科を尋ねる、答える。 Music,Science,English,etc What subject do you like? I like P.E. ・自分の時間割を英語で作成する。 ・好きな教科で夢の時間割を作り、発表する。
		(知及技)クリスマスに関する単語や表現、歌などを知ることができる。(高１段階) (思判表力)クリスマスに合わせたメッセージを書いたり、自分の好きなクリスマス飾りや歌を伝え合うことができる。(高１段階) (学･人)目的に合わせたメッセージや飾りを選びながらカードやリース作成に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技)クリスマスに関する単語や表現、歌などを知ろうとする。 (思・判・表)クリスマスに合わせたメッセージを書いたり、自分の好きなクリスマス飾りや歌を伝え合おうとする。 (主学)目的に合わせたメッセージや飾りを選びながらカードやリース作成に取り組もうとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	クリスマス	・クリスマスに使う単語（Santa Claus, reindeer, sleigh, Christmas tree, stocking, present, chimney, etc.） ・クリスマスの意味や文化　海外での過ごし方を知る ・ALTとのクリスマスリース、カード作り ・クリスマスソング
		(知及技)体験的な活動を通して、日本と外国の生活、習慣、行事などの違いについて知ることができる。(高１段階) (思判表力)絵カードと単語をマッチングさせたり、グループで福笑いに取り組むことができる。(高１段階) (学･人)日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。(高１段階)	(知・技)干支の動物や日本の伝統的な新年の遊び（福笑い）に関する単語や表現を知ろうとする。 (思・判・表)ALT出身国のお正月の過ごし方を聞き、身振りや表情などで感じたことを表現することができる。絵カードと単語をマッチングさせたり、グループで福笑いに取り組もうとする。 (主学)外国のお正月について知る体験を通して、外国の文化の多様性について興味関心を示そうとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	日本の正月と外国の正月	・新年の挨拶表現について知る（Happy New Years!） ・ALT出身国の新年の過ごし方について知る。 ・絵カードやクイズを通して、干支の動物や鳴き声に親しむ。 ・「おみくじ」を引いて”You will ～.”の表現に親しむ。 ・「福笑い」を通して顔のパーツや上下左右の表現に親しむ(eye/ nose / mouth / eyebrow / up / down / right / left)。
3学期	8	(知及技)バレンタインに関する単語や表現を知ることができる。(高１段階) (思判表力)友だちの良いところをカードに書いて伝えることができる。(高１段階) (学･人)友だちに合ったメッセージを考えてカード作成に取り組むことができる。(高１段階)	(知・技)バレンタインに関する単語や表現を知ろうとする。 (思・判・表)友だちの良いところをカードに書いて伝えようとする (主学)友だちに合ったメッセージを考えてカード作成に取り組もうとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	バレンタインデー(Greeting Cards作り)	・クイズを通して、外国のバレンタインデーの過ごし方について知る。 ・バレンタインデーに関する単語や表現を知る。 ・友だちへバレンタインカードを書く（Happy Valentine’s Day, You are so nice / funny / smart!）。 ・”Skidamarink” song
		(知及技)乗り物や家族に関する英単語を知ることができる。(高１段階) (思判表力)周りにある乗り物や家族構成を英語で表すことができる。(高１段階) (学･人)好きな乗り物や家族構成を相手に聞いたり、伝えたりし、コミュニケーションを図ることができる。(高１段階)	(知・技)乗り物や家族を表す単語や表現について知ろうとする。 (思・判・表)身近な乗り物や家族を表す表現を使って伝えようとする。 (主学)学習した英単語や表現を使って、相手とコミュニケーションを図ろうとする。 [評価資料] 授業プリント/活動の様子で評価	単語学習（乗り物・家族）	・身近な乗り物や家族構成を表す英単語を学ぶ。 ・好きな乗り物を尋ねる、答える。 Air plane,train,helicopter,etc ・「サザエさん一家」のイラストを使って、家族構成に関する英単語を学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 高等部部１年（Ⅱ課程A） 情報科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	高等部1年ⅡA課程		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。（高１段階） （思判表力）身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な力を養う。（高１段階） （学・人）情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。（高１段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技)キーボードを使用し文字や数字のタッチタイピングの技能を身につけることができる。(高1段階) (思判表力)自分で画像を選び、その画像を貼り付けることで印刷することで表現できる。(高1段階) (学･人)情報通信ネットワークにより提供される情報を主体的に利用することができる。(高1段階)	(知・技)キーボードを使用し文字や数字のタッチタイピングの技能を身につけようとしている。 (思・判・表)自分で画像を選び、その画像を貼り付けることで印刷することで表現しようとしている。 (主学) 情報通信ネットワークにより提供される情報を主体的に利用しようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・タッチタイピングに取り組もう。 ・画像を印刷しよう。 ・情報を検索し、利用しよう。	・数字や文字のタッチタイピング。 ・画像を選択し、その画像を貼り付け、印刷。 ・情報を検索し利用。
2学期	13	（知及技）表計算ソフトソフトウェアの基本操作を習得することができる。(高1段階) （思判表）自己紹介や自分の考えを、ワープロソフトを使用し、表現することができる。(高1段階) (学･人)SNSの危険性や個人情報の管理の重要性について主体的に学ぶことができる。(高1段階)	(知・技)表計算ソフトソフトウェアの基本操作を習得しようとしている。 (思・判・表)自己紹介や自分の考えを、ワープロソフトを使用し、表現しようとしている。 (主学) SNSの危険性や個人情報の管理の重要性について主体的に学ぼうとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・表計算ソフトに取り組もう。 ・ワープロソフトを使用し、自己紹介しよう。 ・SNSの危険性と個人情報について学ぼう。	・表計算ソフトの基本的操作。 ・ワープロソフトを使用した、自己紹介。 ・SNSの危険性と個人情報の管理について学ぶ。
3学期	9	(知及技)情報モラルについて、法規や制度を身につけることができる。(高1段階) (思判表力)ペイントソフトを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現することができる。(高1段階) (学･人)データの収集、整理及び結果などを適切に選択し、主体的に実行できる。(高1段階)	(知・技)情報モラルについて、法規や制度を身につけようとしている。 (思・判・表)ペイントソフトを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現しようとしている。 (主学) データの収集、整理及び結果などを適切に選択し、主体的に実行できる。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・情報モラルについての法や制度を学ぼう。 ・情報デザインを実践しよう。 ・Excel関数について学ぼう。	・情報モラルについて、法や制度を学ぶ。 ・３Dペイントを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する。 ・Excel関数（sum,max,min,average,rank）について学ぶ。
留意点引継ぎ等					

令和８年度 高等部部２年（Ⅱ課程A） 情報科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	高等部2年ⅡA課程		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。（高１段階） （思判表力）身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な力を養う。（高１段階） （学・人）情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。（高１段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技)SNSの危険性や個人情報の管理の重要性について知ることができる。(高1段階) (思判表力)ペイントソフトを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現することができる。(高1段階) (学･人)データの収集、整理及び結果などを適切に選択し、主体的に実行できる。(高1段階)	(知・技)SNSの危険性や個人情報の管理の重要性について知ろうとしている。 (思・判・表)ペイントソフトを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現しようとしている。 (主学）データの収集、整理及び結果などを適切に選択し、主体的に実行できる。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・SNSの危険性と個人情報について学ぼう。 ・情報デザインを実践しよう。 ・Excel関数について学ぼう。	・SNSの危険性と個人情報の管理について学ぶ。 ・３Dペイントを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する。 ・Excel関数（sum,max,min,average,rank）について学ぶ。
2学期	13	（知及技）プログラミングの基礎を習得し、問題解決ができる。(高1段階) （思判表）情報技術を活用して複数の解決策から選択し、結果を判断する力を養い、問題解決することができる。(高1段階) (学･人)情報モラルについて、法規や制度を主体的に身につけることができる。(高1段階)	(知・技)プログラミングの基礎を習得し、問題解決をしようとしている。 (思・判・表)情報技術を活用して複数の解決策から選択し、結果を判断する力を養い、問題解決しようとしている。 (主学）情報モラルについて、法規や制度を主体的に身につけようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・プログラミングの基礎に取り組もう。 ・問題（修学旅行の計画等）を解決に取り組もう。 ・情報モラルについての法や制度を学ぼう。	・プログラミングの基礎（「進む」「戻る」「曲がる」「繰り返し」の動作）及び、幾何学模様の作成。 ・問題（修学旅行の計画等）を解決するための解決策を選択、結果を判断する活動。 ・情報モラルについて、法や制度を学ぶ。
3学期	9	(知及技)ネットワークやセキュリティの仕組みと必要性を知ることができる。(高1段階) (思判表力)身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。(高1段階) (学･人)身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について主体的に調べることができる。(高1段階)	(知・技)ネットワークやセキュリティの仕組みと必要性を知ろうとしている (思・判・表)身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えようとしている。 (主学）身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について主体的に調べようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・ネットワークやセキュリティの仕組みと必要性を学ぼう。 ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えよう。 ・身近にある情報技術が人や社会にどのように影響を及ぼすか調べよう。	・ネットワークの仕組み、セキュリティの仕組み。 ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。 ・身近にある情報技術が人や社会にどのように影響を及ぼすか調べる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 高等部部３年（Ⅱ課程A） 情報科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	高等部3年ⅡA課程		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	（知及技）情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。（高１段階） （思判表力）身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な力を養う。（高１段階） （学・人）情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技)SNSの危険性や個人情報の管理の重要性について知ることができる。(高1段階) (思判表力)ペイントソフトを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現することができる。(高1段階) (学･人)データの収集、整理及び結果などを適切に選択し、主体的に実行できる。(高1段階)	(知・技)SNSの危険性や個人情報の管理の重要性について知ろうとしている。 (思・判・表)ペイントソフトを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現しようとしている。 (主学）データの収集、整理及び結果などを適切に選択し、主体的に実行できる。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・SNSの危険性と個人情報について学ぼう。 ・情報デザインを実践しよう。 ・Excel関数について学ぼう。	・SNSの危険性と個人情報の管理について学ぶ。 ・３Dペイントを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する。 ・Excel関数（sum,max,min,average,rank）について学ぶ。
2学期	13	（知及技）プログラミングの基礎を習得し、問題解決ができる。(高1段階) （思判表）情報技術を活用して複数の解決策から選択し、結果を判断する力を養い、問題解決することができる。(高1段階) (学･人)情報モラルについて、法規や制度を主体的に身につけることができる。(高1段階)	(知・技)プログラミングの基礎を習得し、問題解決をしようとしている。 (思・判・表)情報技術を活用して複数の解決策から選択し、結果を判断する力を養い、問題解決しようとしている。 (主学）情報モラルについて、法規や制度を主体的に身につけようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・プログラミングの基礎に取り組もう。 ・問題（修学旅行の計画等）を解決に取り組もう。 ・情報モラルについての法や制度を学ぼう。	・プログラミングの基礎（「進む」「戻る」「曲がる」「繰り返し」の動作）及び、幾何学模様の作成。 ・問題（修学旅行の計画等）を解決するための解決策を選択、結果を判断する活動。 ・情報モラルについて、法や制度を学ぶ。
3学期	9	(知及技)ネットワークやセキュリティの仕組みと必要性を知ることができる。(高1段階) (思判表力)身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。(高1段階) (学･人)身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について主体的に調べることができる。(高1段階)	(知・技)ネットワークやセキュリティの仕組みと必要性を知ろうとしている (思・判・表)身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えようとしている。 (主学）身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について主体的に調べようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・ネットワークやセキュリティの仕組みと必要性を学ぼう。 ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えよう。 ・身近にある情報技術が人や社会にどのように影響を及ぼすか調べよう。	・ネットワークの仕組み、セキュリティの仕組み。 ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。 ・身近にある情報技術が人や社会にどのように影響を及ぼすか調べる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　高等部　3年（Ⅱ課程Ａ　類型）　特別の教科　　道徳　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
37	高等部3年ⅡＡ		

年間目標	(A:自分自身に関すること)望ましい生活習慣を身につけ、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B:人との関わりに関すること)礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関すること)法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり)自然の偉大さやかけがいのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	皆で協力し合ってよりよい学級や学校を作るとともに、集団生活の充実に努める。C(よりよい学校生活、集団生活の充実)	○学級オリエンテーション	学級での約束事や係分担、自分が果たしている役割について考える。スマホの持ち込み・使い方など。
		自主的に考え判断することができる。A(節度、節制 よりよい学校)	○生徒指導オリエンテーション	生徒指導オリエンテーションを受けてルールや決まりの意義について考える。
		思いやりの心を持ち人と接することができる。B(友情、信頼)	○身近な人の特性	身近な人について理解し、お互いを尊重し合うためにはどうすればよいかを考える。
		誰に対しても差別することや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接することができる。C(公正、幸平、社会正義)	○交流学習	他校との交流において様々な個性や特性に触れるとともに、各々について理解する。
		人間として生きることに喜びを見いだすことができる。D(生命の尊さ)	○平和教育	沖縄戦の資料や実際に平和資料館記念公園へ足を運ぶ体験を通して命の大切さについて考える。
2学期	15	自然環境を大切にすることの意義を理解することができる。D(自然愛護)	○SDGs、消費者教育、環境に配慮した消費生活	VTR視聴等を通して身近でできる環境保全について考える。
		自分の考えや意見を相手に伝えることができる。B(礼儀　相互理解)	○キャリアパスポート	普段の言葉遣いや伝え方を振り返るとともに、よりよい伝え方について考える。
		時と場に応じて適切な距離感があることを理解できる。B(礼儀　相互理解)	○他者との距離感	TPOを意識して他者との距離感について考える。
		公共のルールやマナーを学習し、守りながら行動することができる。C(公徳心)	○校外学習	公共のルールやマナーを守りながら校外学習に参加する。
		心身の健康増進を図ることの大切さを知ることができる。A(節度、節制)	○体調管理と生活習慣	日頃の生活習慣を見直し、健康的な生活について考える。
3学期	9	今年度を振り返り、課題や苦手なことを克服・改善するための目標と手立てを設定し、実行に移すことができる。A(希望と勇気、克己と強い意志)	○新年の抱負	自分の課題克服のために、3学期の目標と達成するための手立てについて考える。
		社会生活を送るうえで、公正、公平な態度で接し、差別や偏見を持つことなく正義の実現に務めることができる。C(集団や社会との関わり)D(生命や自然、崇高なもの)	○交流及び共同学習	身近に起こりうる差別や偏見をテーマにした意見を発表しあう。
		学校生活を振り返りながら、お世話になった人々を思い返し、感謝の気持ちを伝えることができる。B(感謝)	○感謝の気持ち	友だちとの楽しかった思い出を絵や文に書いて交換したり、先生方へ手紙を書く。

留意点 引継ぎ等	

令和８年度　　高等部　1年（Ⅱ課程Ｂ）　道徳科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	ⅡＢ1年道徳		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(A:自分自身）望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B:人との関わり）礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わり)法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高なもの)自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期		(C:集団や社会との関わり) 係分担について話し合う事や、学級のルールの確認をすることができる。	新学期オリエンテーション	学級での係分担を決め、学級の約束事の確認
		(C:集団や社会との関わり) 家族への感謝のメッセージとプレゼントを作り、贈ることができる。	家族へ感謝の気持ちを伝えよう。	感謝のメッセージ、プレゼント作成
		(B:人との関わり) 校内実習に向けて、合図や意思表示をすることができる。	あいさつ	相手の顔を見て合図したり意思表示
		(D:生命や自然、崇高なもの) 平和学習で命の大切さを学び、平和のメッセージを教師と一緒に書くことができる。	平和学習	平和について考える。
2学期		(A:自分自身) 1学期を振り返り、自分の課題についての目標を教師と設定し、課題克服に向けて取り組むことができる。	2学期の目標設定	1学期を振り返り、２学期の目標について考える。
		(C:集団や社会との関わり) 後期実習に向けて、周りの人と一緒に作業をすることができる。	現場実習への積極的な参加 キャリアパスポート 実習取り組み	周りの友達と協力しての簡単な作業
		(C:集団や社会との関わり) 集団での約束事やルールを守りながら行動することができる。	校外でのマナーについて	公共のマナーやルールについて
3学期		(A:自分自身) 卒業後の進路に向けて、教師と一緒に今後の目標を設定し行動することができる。	新年の抱負	課題克服のために、目標を考える。
		(B:人との関わり) よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し，人間として生きる喜びを感じることができる。	感謝の気持ちを表してみよう	保護者、先生、級友へ感謝のことばを書く。
留意点 引継ぎ等				

令和８年度　　高等部　２年（Ⅱ課程Ｂ）　道徳科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	ⅡＢ２年道徳		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(A:自分自身）望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B:人との関わり）礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わり)法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高なもの)自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期		(C:集団や社会との関わり) 係分担について話し合う事や、学級のルールの確認をすることができる。	新学期オリエンテーション	学級での係分担を決め、学級の約束事の確認
		(C:集団や社会との関わり) 家族への感謝のメッセージとプレゼントを作り、贈ることができる。	家族へ感謝の気持ちを伝えよう。	感謝のメッセージ、プレゼント作成
		(B:人との関わり) 校内実習に向けて、合図や意思表示をすることができる。	あいさつ	相手の顔を見て合図したり意思表示
		(D:生命や自然、崇高なもの) 平和学習で命の大切さを学び、平和のメッセージを教師と一緒に書くことができる。	平和学習	平和について考える。
2学期		(A:自分自身) 1学期を振り返り、自分の課題についての目標を教師と設定し、課題克服に向けて取り組むことができる。	2学期の目標設定	1学期を振り返り、２学期の目標について考える。
		(C:集団や社会との関わり) 後期実習に向けて、周りの人と一緒に作業をすることができる。	現場実習への積極的な参加 キャリアパスポート 実習取り組み	周りの友達と協力しての簡単な作業
		(C:集団や社会との関わり) 集団での約束事やルールを守りながら行動することができる。	校外でのマナーについて	公共のマナーやルールについて
3学期		(A:自分自身) 卒業後の進路に向けて、教師と一緒に今後の目標を設定し行動することができる。	新年の抱負	課題克服のために、目標を考える。
		(B:人との関わり) よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し，人間として生きる喜びを感じることができる。	感謝の気持ちを表してみよう	保護者、先生、級友へ感謝のことばを書く。
留意点 引継ぎ等				

令和８年度　　高等部　３年（Ⅱ課程Ｂ）　道徳科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	ⅡＢ３年道徳		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(A:自分自身）望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B:人との関わり）礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わり)法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高なもの)自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期		(C:集団や社会との関わり) 係分担について話し合う事や、学級のルールの確認をすることができる。	新学期オリエンテーション	学級での係分担を決め、学級の約束事の確認
		(C:集団や社会との関わり) 家族への感謝のメッセージとプレゼントを作り、贈ることができる。	家族へ感謝の気持ちを伝えよう。	感謝のメッセージ、プレゼント作成
		(B:人との関わり) 校内実習に向けて、合図や意思表示をすることができる。	あいさつ	相手の顔を見て合図したり意思表示
		(D:生命や自然、崇高なもの) 平和学習で命の大切さを学び、平和のメッセージを教師と一緒に書くことができる。	平和学習	平和について考える。
２学期		(A:自分自身) 1学期を振り返り、自分の課題についての目標を教師と設定し、課題克服に向けて取り組むことができる。	2学期の目標設定	1学期を振り返り、２学期の目標について考える。
		(C:集団や社会との関わり) 後期実習に向けて、周りの人と一緒に作業をすることができる。	現場実習への積極的な参加 キャリアパスポート 実習取り組み	周りの友達と協力しての簡単な作業
		(C:集団や社会との関わり) 集団での約束事やルールを守りながら行動することができる。	校外でのマナーについて	公共のマナーやルールについて
３学期		(A:自分自身) 卒業後の進路に向けて、教師と一緒に今後の目標を設定し行動することができる。	新年の抱負	課題克服のために、目標を考える。
		(B:人との関わり) よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し，人間として生きる喜びを感じることができる。	感謝の気持ちを表してみよう	保護者、先生、級友へ感謝のことばを書く。
留意点 引継ぎ等				

令和８年度　　高等部部　１ 年　（Ⅱ課程A）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年Ⅱ課程A		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 様々な集団活動の意義を学び、活動に参加し、自己や他者と協働することの大切さを知り、行動の仕方を身に付ける。 (思判表力) 集団生活や集団活動から課題を見いだし、解決するために話し合ったり意思決定したりすることができるようにする。 (学･人) 様々な集団活動を通して、集団の一員としての自覚と責任感を高め、よりよい学校生活づくりに参加し、協力できる自主的、実践的な態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(ホームルーム活動) ・新たな学校生活に慣れ、積極的に学級活動に取り組むことができる。 ・キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に自己の目標を設定することができる。 ・クラスの目標を協力して設定することができる。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけることができる。 ・夏休みの過ごし方について確認することができる。	(ホームルーム活動) ・新たな学校生活に慣れ、積極的に学級活動に取り組もうとしている。 ・キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に自己の目標を設定しようとしている。 ・クラスの目標を協力して設定しようとしている。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけようとしている。 ・夏休みの過ごし方について教師と一緒に確認しようとしている。	・学級開き ・学年開き ・1学期の振り返り及び夏休みの過ごし方について	・1学期の行事や学習内容について教師と一緒に確認し、個人目標や自己紹介シートの記入、係活動の話し合いや掲示物作製、教室整備などの学級活動に取り組む。 ・自分で立てた目標を達成できたかどうか教師と一緒に振り返り、未達成の課題や新しい課題を見つける。 ・夏休みを安全に有意義に過ごすための目標を教師と一緒に立てる
		(生徒会活動) ・生徒会の活動内容について知り、教師と一緒に積極的に参加することができる。	(生徒会活動) ・生徒会の活動内容について知り、教師と一緒に積極的に参加しようとしている。	・新入生歓迎会 ・生徒総会に向けて	・生徒会の説明を聞き、新入生や在校生の自己紹介及びビンゴゲームで仲良く交流する。 ・生徒会の仕事内容を聞き、生徒総会をはじめ生徒会活動に参加する。
		(学校行事) ・健全な発達や自分心身の健康に興味関心を持つことができる。 ・火災発生時でも､落ち着いて指示をよく聞き、安全かつ迅速に行動して避難できる。	(学校行事) ・教師と一緒に落ち着いて身体測定や校医検診を受けようとする。 ・火災発生時でも､落ち着いて指示に従い、安全かつ迅速に行動して避難しようとしている。	・内科検診 ・火災避難訓練事前事後学習	・検診の結果を通して、自分の健康状態を把握し、教師と一緒に生活習慣の見直しを行う。 ・防災・減災に対する意識を高め、非常時でも落ち着いて指示を聞き、安全に行動できるように訓練を行う。
2学期	14	（ホームルーム活動） ・２学期の行事予定、学習内容を確認することができる。 ・キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に２学期の目標設定ができる。 ・冬休みの過ごし方について確認する。	（ホームルーム活動） ・教師と一緒に２学期の行事予定、学習内容を確認しようとする。 ・キャリアパスポートを振り返りながら、教師と一緒に２学期の目標を設定しようとする。 ・冬休みの過ごし方について確認しようとする。	・２学期の目標を決める ・２学期の行事の確認 ・２学期の振り返りと冬休みの過ごし方	・学級の教室整備や係活動、目標設定に教師と一緒に参加しながら取り組む。 ・２学期の見通しを立て、自分の頑張りたい事を明確にし、目標を定めやすくする。 ・自分で立てた目標を達成できたかを振り返り、さらに新しい課題を見つける。 冬休みを安全に有意義に過ごすための目標を教師と一緒に立てる。 【冬休みの過ごし方について】
		（生徒会活動） ・同年代の高校生との交流協働学習と通して、他者との関わりを学ぶことができる。	（生徒会活動） ・同年代の高校生との交流協働学習と通して、他者との関わりを学ぼうとしている。	・交流及び共同学習（球陽高校・北谷高校・宜野湾高校）	・同年代の高校生との交流で、互いの親睦を深め、協力して学習活動を行えるように、教師と一緒に活動内容を考え準備する。

		（学校行事） ・運動会の日程や目的を知り、教師と一緒に意欲的に参加できる。 ・特別支援学校体育大会のねらいを理解し、自己の目標を設定することができる。 ・突然の災害発生時に備えた訓練でも、教師と一緒に指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難できるようにする。 ・公共施設を利用時のルールやマナーを学ぶことができる。	（学校行事） ・運動会の日程や目的に関心を示し、教師と一緒に意欲的に参加しようとする。 ・特体連のねらいを理解し、自己の目標を設定しようとすることができた。 ・突然の災害発生時を想定した訓練では、でも教師と一緒に指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難しようとしている。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを教師と一緒に学ぼうとしている。	・運動会にむけて ・特別支援学校体育大会に向けて ・地震津波土砂災害避難訓練事前事後学習 ・校外学習 ：公共施設の利用	・自分の体調や目標を設定して、運動会に参加する。 ・体育大会の狙いや日程、種目について学習し、大会に向け、体力づくりや体調管理、情緒の安定を図りながら練習に取り組む。 ・地震が起きたときの注意事項を理解し、集団で安全に落ち着いて避難行動が取れるよう、避難訓練に向け事前学習を行う。 ・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・公共施設のルールやマナーを事前学習や体験を通して学ぶ。
3学期		（ホームルーム活動） ・３学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。 ・教師と一緒に３学期の目標設定ができる。 ・教師と一緒に1年間を振り返りを行い、目標の達成度を確認する。	（ホームルーム活動） ・３学期の学習内容に興味を持っている様子がみられる。 ・教師と一緒に３学期の目標設定を考えようとする。 ・教師と一緒に1年間を振り返り、目標の達成度を確認しようとする。	・３学期に向けて ・1年間の振り返り	・３学期の行事について知り、教師と一緒に学級の教室整備や係活動、キャリアパスポートを活用して、個人目標設定を行う。 ・教師と一緒に、一年間を振り返り、目標の達成度を確認してできるようになったことを認め、自己肯定感を高めたり、新たな課題を確認したりする。
	8	（生徒会活動） ・生徒会役員選挙告示や立ち会い演説に教師と一緒に参加し、投票することができる。	（生徒会活動） ・生徒会役員選挙告示や立ち会い演説や投票まで教師と一緒に参加しようとする様子がみられる。	・生徒会役員選投票	・生徒会役員選挙立候補者の立ち会い演説を聞き、立候補者から選んで投票する。
		（学校行事） ・身なりを整え、制服を正しく着用し、行事に参加することができる。	（学校行事） ・身なりを整え、制服を正しく着用し、行事に参加しようとしている。	・始業式 ・高等部卒業式 ・修了式 ・離任式	・身なりを整え、儀式に最後まで参加することができ、新しい気持ちで学期を迎えたりできるようにする。
年間を通して		・安全で楽しく過ごすためのルールやマナーを学ぶことができる。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを学ぶことができる。	・安全で楽しく過ごすためのルールやマナーに興味をもち学ぼうとする。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを教師と一緒に学ぼうとする。	・校外学習 ：公共施設の利用 ：バスの利用 ：遊戯施設の利用	・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・公共施設のルールやマナーを事前学習や体験を通して学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　　高等部　２　年　（Ⅱ課程A）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部２学年ⅡＡ		PowerPoint、ワークシート等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学･人) 自主的、実践的な集団活動を通して、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	【ホームルーム活動】 (知及技) クラスメイトと話し合い、係分担や委員会、目標を決めることができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して取り組むことができる。 (学･人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができる。	（知･技） クラスメイトと話し合い、係分担や委員会、目標を決めている。 （思･判･表） 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して取り組むことができている。 （主学） クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・学年学級開き ・係決め、委員会決め ・目標決め（個人、学級） ・夏休みの過ごし方について ・1学期の振り返り	・新しい学級の中で、生徒同士で相談をし、係や委員会、目標を決める。 ・前年度の自分の活動を振り返り、個人目標を立てる。 ・夏休みを安全に有意義に過ごすための目標を立てる。 ・自分で立てた目標を達成できたかどうか振り返り、未達成の課題や新しい課題を見つける。
		【生徒会活動】 (知及技) 高等部内の異年齢の生徒同士で交流することができる。 (思判表力) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学･人) 生徒会の一員として、生徒会活動に取り組むことができる。	（知･技） 高等部内の異年齢の生徒同士で交流することができている。 （思･判･表） 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができている。 （主学） 生徒会の一員として、生徒会活動に取り組むことができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・新入生歓迎会 ・沖縄ろう学校との交流会 ・生徒総会	・自己紹介をし、新入生を歓迎する。 ・異年齢の生徒同士でゲームを通して交流を深める。 ・隣接する沖縄ろう学校の生徒とゲームを通して交流を深める。 ・生徒会役員紹介や活動内容を知る。
		【学校行事（儀式的行事/健康安全･体育的/旅行･集団的）】 (知及技) 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学･人) 儀式的行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。	（知･技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができている。 （思･判･表） これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動をとることができている。 （主学） 儀式的行事を通して、新たな生活へと意欲を持つことができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・1学期始業式、入学式 ・健康診断（身体測定、視力検査、歯科検診、聴力検査、内科検診、心電図検査） ・火災避難訓練 ・１学期終業式	・儀式の目的を理解し、ＴＰＯを踏まえた態度や服装で参加する。 ・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方を学ぶ。 ・指示と順番を守り静かに検査を受け、自分の身体や健康状態について知る。 ・治療が必要な場合はしっかりと保護者に伝える。 ・火災発生時に生徒が教師の指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難する。 ・儀式的行事を節目としてこれまでの活動を振り返り、これからの生活の見通しを立てる。
2学期	14	【ホームルーム活動】 (知及技) ２学期の学習内容を知り見通しを立て、個人目標を設定することができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して活動に取り組むことができる。 (学･人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができる。	（知･技） ２学期の学習内容を知り見通しを立て、個人目標を設定することができている。 （思･判･表） 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して活動に取り組むことができている。 （主学） クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・２学期の目標決め ・夏休みの過ごし方を振り返る。 ・修学旅行事前学習 ・修学旅行事後学習 ・２学期の振り返り	・１学期や夏休みの自分の活動を振り返る。 ・２学期の行事について知り、キャリアパスポートも活用して２学期の目標設定をする。 ・教室の環境整備や係活動の確認。 ・修学旅行事前学習において、学級の意見をまとめる。 ・修学旅行事後学習で、反省や体験談を書く。 ・自分で立てた目標を達成できたかどうか振り返り、未達成の課題や新しい課題を見つける。
		【生徒会活動】 (知及技) 校種が異なる同年代の生徒同士で交流をすることができる。 (思判表力) 交流会を通して、新しい人間関係を形成することができる。 (学･人) 本校生徒の一員として、活動に取り組むことができる。	（知･技） 校種が異なる同年代の生徒同士で交流をすることができている。 （思･判･表） 交流会を通して、新しい人間関係を形成することができている。 （主学） 本校生徒の一員として、活動に取り組むことができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・県立高校交流会（北谷高校、球陽高校、宜野湾高校）	・学校間交流会で、同年代の生徒同士で交流をする。

		【学校行事（儀式的行事/健康安全･体育的/旅行･集団的）】 (知及技) 行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) 学校生活に見通しを立て、各行事や場面にふさわしい行動を取ることができる。 (学･人) 行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。	（知･技） 行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができている。 （思･判･表） 学校生活に見通しを立て、各行事や場面にふさわしい行動を取ることができている。 （主学） 行事を通して、新たな生活へと意欲を持つことができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・２学期始業式 ・身体測定 ・地震・津波・土砂災害避難訓練 ・運動会 ・特別支援学校体育大会 ・修学旅行 ・２学期終業式	・儀式の目的を理解し、ＴＰＯを踏まえた態度や服装で参加する。 ・指示と順番を守り静かに検査を受け、自分の身体や健康状態について知る。 ・地震、津波、土砂災害時に生徒が教師の指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難する。 ・運動会や体育大会のねらいを知り、体力作りや自己記録に関心を持ちながら意欲的に取り組む。 ・安全で充実した旅行にするためのルールやマナーを学ぶ。 ・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・儀式的行事を節目としてこれまでの活動を振り返り、これからの生活の見通しを立てる。
３学期	8	【ホーム ルーム活動】 (知及技) ３学期の学習内容を知り見通しを立て、個人目標を設定することができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して活動に取り組むことができる。 (学･人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができる。	（知･技） ３学期の学習内容を知り見通しを立て、個人目標を設定することができている。 （思･判･表） 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して活動に取り組むことができている。 （主学） クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・３学期の目標決め ・３学期の振り返り	・２学期の自分の活動を振り返る。 ・３学期の行事について知り、キャリアパスポートも活用して３学期の目標設定をする。 ・教室の環境整備や係活動の確認。 ・自分で立てた目標を達成できたかどうか振り返り、未達成の課題や新しい課題を見つけ、３年生への心構えをする。
		【生徒会活動】 (知及技) 生徒会活動の意義を知り、役員へ立候補したり、立候補者の演説を聴いたりするなど、自分の考えをまとめることができる。 (思判表力) 生徒会役員へ立候補したり､選挙では自分の判断で候補者を選び投票を行うことができる。 (学･人) 学部、学年の一員として活動の意義を知り、主体的に参加することができる。	（知･技） 生徒会活動の意義を知り、役員へ立候補したり、立候補者の演説を聴いたりするなど、自分の考えをまとめることができている。 （思･判･表） 生徒会役員へ立候補したり､選挙では自分の判断で候補者を選び投票を行うことができている。 （主学） 学部、学年の一員として活動の意義を知り、主体的に参加することができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・生徒会役員選挙（告示･投票） ・３年生を送る会	・生徒会役員選挙に立候補を決めた際には、自分の考えをまとめ、演説をする。 ・生徒会役員選挙立候補者の立ち会い演説を聞き、自分で決めた立候補者に投票する。 ・３年生の進路報告（進路先、仕事内容）を聞いたり、学年による余興や贈る言葉などで３年生を祝福し、激励する会に参加する。
		【学校行事（儀式的行事/健康安全･体育的/旅行･集団的）】 (知及技) 行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) 学校生活に見通しを立て、各行事や場面にふさわしい行動を取ることができる。 (学･人) 行事や学校生活を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。	（知･技） 行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができている。 （思･判･表） 学校生活に見通しを立て、各行事や場面にふさわしい行動を取ることができている。 （主学） 行事や学校生活を通して、新たな生活へと意欲を持つことができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・３学期始業式 ・身体測定 ・卒業式 ・修了式・離任式	・各儀式の目的や内容について知り、儀式にふさわしい服装や態度で参加する。 ・指示と順番を守り静かに検査を受け、自分の身体や健康状態について知る。 ・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方を学ぶ。 ・儀式的行事を節目としてこれまでの活動を振り返り、これからの生活の見通しを立てる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　　高等部　　３年　（Ⅱ課程A）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部３学年ⅡＡ		PowerPoint、ワークシート等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学･人) 自主的、実践的な集団活動を通して、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	【ホームルーム活動】 (知及技) クラスメイトと話し合い、係分担や委員会、目標を決めることができる。１学期の学習内容を知り見通しを立て、キャリアパスポートを活用して個々の目標の設定や自己理解を深めることができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して取り組むことができる。 (学･人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができる。	（知･技） クラスメイトと話し合い、係分担や委員会、目標を決めている。１学期の学習内容を知り見通しを立て、キャリアパスポートを活用して個々の目標の設定や自己理解を深めることができている。 （思･判･表） 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して取り組むことができている。 （主学） クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・学年学級開き ・係決め、委員会決め ・１学期の行事の確認 ・目標決め（個人、学級） ・1学期の振り返り ・夏休みの過ごし方について	・新しい学級の中で、生徒同士で相談をし、係や委員会、目標を決める。 ・前年度の自分の活動を振り返り、キャリアパスポートを活用して個人目標を立てる。 ・夏休みを安全で有意義に過ごすための目標を立てる。 ・自分で立てた目標を達成できたかどうか振り返り、評価をもとに未達成の課題や新しい課題を見つける。
		【生徒会活動】 (知及技) 最上級生として自覚し、高等部内の異年齢の生徒同士で交流することができる。 (思判表力) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学･人) 生徒会の一員として、生徒会活動に取り組むことができる。	（知･技） 最上級生として自覚し、高等部内の異年齢の生徒同士で交流することができている。 （思･判･表） 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができている。 （主学） 生徒会の一員として、生徒会活動に取り組むことができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・新入生歓迎会 ・沖縄ろう学校との交流会 ・生徒総会	・自己紹介をし、新入生を歓迎する。 ・異年齢の生徒同士による活動を通して交流を深める。 ・隣接する沖縄ろう学校の生徒と活動を通して交流を深める。 ・生徒会役員紹介や活動内容を知る。
		【学校行事（儀式的行事/健康安全･体育的/旅行･集団的）】 (知及技) 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。公共施設を利用する時のルールやマナーを学ぶことができる。 (思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学･人) 儀式的行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。	（知･技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができている。公共施設の利用の仕方を学ぼうとしている。 （思･判･表） これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動をとることができている。 （主学） 儀式的行事を通して、新たな生活へと意欲を持つことができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・1学期始業式、入学式 ・健康診断（身体測定、視力検査、歯科検診、聴力検査、内科検診、心電図検査） ・火災避難訓練 ・校外学習(公共施設の利用) ・１学期終業式	・儀式の目的を理解し、ＴＰＯを踏まえた態度や服装で参加する。 ・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方を学ぶ。 ・指示と順番を守り静かに検査を受け、自分の身体や健康状態について知る。 ・治療が必要な場合はしっかりと保護者に伝える。 ・火災発生時に生徒が教師の指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難する。 ・公共施設のルールやマナーを、事前学習や体験を通して学ぶ。 ・儀式的行事を節目としてこれまでの活動を振り返り、これからの生活の見通しを立てる。
		【ホームルーム活動】 (知及技) ２学期の学習内容を知り見通しを立てることができる。キャリアパスポートを活用し、個々の目標の設定や自己理解を深めることができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して活動に取り組むことができる。 (学･人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができる。	（知･技） ２学期の学習内容を知り見通しを立てることができている。キャリアパスポートを活用し、個々の目標の設定や自己理解を深めることができている。 （思･判･表） 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して活動に取り組むことができている。 （主学） クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・２学期の行事の確認 ・２学期の目標決め ・２学期の振り返り ・冬休みの過ごし方について	・２学期の行事について知り、キャリアパスポートを活用して２学期の目標設定をする。 ・教室の環境整備や係活動の確認。 ・自分で立てた目標を達成できたかどうか振り返り、評価をもとに未達成の課題や新しい課題を見つける。

2学期	14	【生徒会活動】 (知及技) 校種が異なる同年代の生徒同士で交流をすることができる。 (思判表力) 交流会を通して、新しい人間関係を形成することができる。 (学･人) 本校生徒の一員として、活動に取り組むことができる。	(知･技) 校種が異なる同年代の生徒同士で交流をすることができている。 (思･判･表) 交流会を通して、新しい人間関係を形成することができている。 (主学) 本校生徒の一員として、活動に取り組むことができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・県立高校交流会（北谷高校、球陽高校、宜野湾高校）	・交流校の特色や生徒の様子について学び、自己紹介やレクを通して同年代の生徒同士で交流をする。
		【学校行事（儀式的行事/健康安全･体育的/旅行･集団的）】 (知及技) 行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) 学校生活に見通しを立て、各行事や場面にふさわしい行動を取ることができる。 (学･人) 行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。	(知･技) 行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができている。 (思･判･表) 学校生活に見通しを立て、各行事や場面にふさわしい行動を取ることができている。 (主学) 行事を通して、新たな生活へと意欲を持つことができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・２学期始業式 ・身体測定 ・地震・津波・土砂災害避難訓練 ・運動会 ・特別支援学校体育大会 ・２学期終業式	・儀式の目的を理解し、ＴＰＯを踏まえた態度や服装で参加する。 ・指示と順番を守り静かに検査を受け、自分の身体や健康状態について知る。 ・地震、津波、土砂災害時に生徒が教師の指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難する。 ・運動会や体育大会のねらいを知り、体力作りや自己記録に関心を持ちながら意欲的に取り組む。 ・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・儀式的行事を節目としてこれまでの活動を振り返り、卒業にむけて見通しを立てる。
3学期	8	【ホームルーム活動】 (知及技) ３学期の学習内容を知り見通しを立てることができる。キャリアパスポートを活用し、個々の目標の設定や自己理解を深めることができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して活動に取り組むことができる。 (学･人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができる。	(知･技) ３学期の学習内容を知り見通しを立てることができている。キャリアパスポートを活用し、個々の目標の設定や自己理解を深めることができている。 (思･判･表) 互いの意見を認め合いながら話し合い、協働して活動に取り組むことができている。 (主学) クラス、学年の一員として、話し合いに参加し意見をまとめることができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・３学期の行事の確認 ・３学期の目標決め ・１年間の振り返り	・３学期の行事について知り、キャリアパスポートを活用して３学期の目標設定をする。 ・教室の環境整備や係活動の確認。 ・自分で立てた目標の達成度を確認し、社会生活に向けて新たな課題を見つけ、社会人になる心構えをする。
		【生徒会活動】 (知及技) 生徒会活動の意義を知り、立候補者の演説を聴いて、自分の考えをまとめることができる。 (思判表力) 生徒会役員選挙で、立候補者の演説を聴いて投票する候補者を選び、投票を行うことができる。 (学･人) 学部、学年の一員として活動の意義を知り、主体的に参加することができる。	(知･技) 生徒会活動の意義を知り、立候補者の演説を聴いて、自分の考えをまとめることができている。 (思･判･表) 生徒会役員選挙で、立候補者の演説を聴いて投票する候補者を選び、投票を行うことができている。 (主学) 学部、学年の一員として活動の意義を知り、主体的に参加することができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・生徒会役員選挙（告示･投票） ・３年生を送る会	・生徒会役員選挙立候補者の立ち会い演説を聞き、自分で決めた立候補者に投票する。 ・自らの進路報告（進路先、仕事内容）をし、異年齢の生徒との交流を通して、卒業や社会人になる自覚をする。
		【学校行事（儀式的行事/健康安全･体育的/旅行･集団的）】 (知及技) 行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) 高等部の３年間を振り返り、各行事や卒業式にふさわしい行動を取ることができる。 (学･人) 行事や学校生活を通して学んだ事を、卒業後の新たな社会生活につなげようとすることができる。	(知･技) 行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができている。 (思･判･表) 高等部の３年間を振り返り、各行事や卒業式にふさわしい行動を取ることができている。 (主学) 行事や学校生活を通して学んだ事を、新たな社会生活につなげようとすることができている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・３学期始業式 ・身体測定 ・卒業式	・各儀式の目的や内容について知り、儀式にふさわしい服装や態度で参加する。 ・指示と順番を守り静かに検査を受け、自分の身体や健康状態について知る。 ・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動を学ぶ。 ・高等部の３年間を振り返り、卒業式にふさわしい態度で参加し、これからの社会生活の見通しを持つ。
年間を通して		・安全で楽しく過ごすためのルールやマナーを学ぶことができる。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを学ぶことができる。	・安全で楽しく過ごすためのルールやマナーに興味をもち学ぼうとする。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを教師と一緒に学ぼうとする。	・校外学習 ・公共施設の利用 ・バス等公共の乗り物の利用 ・遊戯施設の利用	・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・公共施設のルールやマナーを事前学習や体験を通して学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　　高等部部１年　（Ⅱ課程B）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1学年Ⅱ課程B類型		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 集団活動の意義や活動する上で必要となることについて理解し、多様な他者と協働していく方法を身につける。 (思判表力) 学校での集団や自己の生活から人間関係の課題を見つけ出し、解決するために話し合いを行ったり、意思決定をしたりすることができるようにする。 (学･人) 多様な他者との集団活動を通してよりよい人間関係を形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、周りと協力しながら自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(ホームルーム活動) ・新しい学級の雰囲気に慣れ、積極的に学級活動に取り組むことができる。 ・１学期の学習内容について確認することができる。 ・キャリアパスポートを教師と一緒に作成活用することができる。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけることができる。 ・夏休みの過ごし方について確認することができる。 (生徒会活動) ・生徒会の活動内容に教師と一緒に積極的に参加することができる。 (学校行事) ・健全な発達や心身の健康に関心を持つことができる。 ・突然の火災発生時でも､教師と一緒に指示をよく聞き、安全かつ迅速に行動して避難できる。	(ホームルーム活動) ・新しい学校生活に慣れ、積極的に学級活動に取り組もうとしている。 ・１学期の学習内容について確認しようとする。 ・キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に1学期の目標を考え書こうとしている。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけようとしている。 ・夏休みの過ごし方について教師と一緒に確認しようとしている。 (生徒会活動) ・生徒会の活動内容に教師と一緒に積極的に参加しようする態度がみられる。 (学校行事) ・教師と一緒に落ち着いて身体測定や内科検診を受けようとしている。 ・突然の火災発生時でも、教師と一緒に指示に従い、安全かつ迅速に行動して避難しようとしている。	・学級開き ・学年開き ・1学期の振り返り及び夏休みの過ごし方について ・新入生歓迎会 ・生徒総会に向けて ・内科検診 ・火災避難訓練事前事後学習	・1学期の行事や学習内容について教師と一緒に確認し、個人目標や自己紹介シートの記入、係活動の話し合いや掲示物作製、教室整備などの学級活動に取り組む。 ・自分で立てた目標やキャリアパスポートを確認しながら達成できたかどうか教師と一緒に振り返り、未達成の課題や新しい課題を見つける。夏休みを安全に有意義に過ごすための目標を教師と一緒に立てる ・生徒会の説明をよく聞き、新入生や在校生の自己紹介及びゲームで仲良く交流する。 ・生徒会の仕事内容を聞き、生徒総会をはじめ生徒会活動に参加する。 ・検診の結果を通して、自分の健康状態を把握し、教師と一緒に生活習慣の見直しを行う。 ・防災に対する意識を高め、非常時でも指示を聞きながら安全に行動できるように訓練を行う。
2学期	14	（ホームルーム活動） ・2学期の学習内容について確認することができる。 ・キャリアパスポートを通じて、教師と一緒に1学期を振り返り、2学期の新しい目標を設定することができる。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけることができる。 ・冬休みの過ごし方について確認する。 （生徒会活動） ・他校との交流協働学習を通して、人との関わりを学び適切な関わり方を学ぶことができる。	（ホームルーム活動） ・2学期の学習内容について確認しようとする。 ・キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に１学期を振り返り、2学期の目標を考え書こうとしている。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけようとしている。 ・冬休みの過ごし方について教師と一緒に確認しようとしている。 （生徒会活動） ・他校との交流協働学習を通して、人との関わりを学び適切な関わり方を学ぼうとする態度がみられる。	・2学期に向けて ・2学期の振り返りと冬休みの過ごし方 ・交流協働学習	・学級の教室整備や係活動、目標設定に教師と一緒に参加しながら取り組む。 ・自分で立てた目標を達成できたかどうか教師と一緒に振り返り、未達成の課題や新しい課題を見つける。 ・冬休みを安全に有意義に過ごすための目標を教師と一緒に立てる。 ・交流高と交流を深め互いに協力して学習活動を行えるように、教師と一緒に活動内容を考え準備する。

2学期	14	（学校行事） ・運動会の日程や目的を知り、教師と一緒に意欲的に参加できる。 ・体育大会の日程やねらいを知り、情緒の安定を図りながら、教師と一緒に特体連体育大会に意欲的に参加できる。 ・突然の地震・津波・土砂災害発生時でも教師と一緒に指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難できるようにする。 ・安全で楽しい旅行にするためのルールやマナーを学ぶ。	（学校行事） ・運動会の日程や目的に関心を示し、教師と一緒に意欲的に参加しようとする。 ・体育大会の日程やねらいに関心を示す。 ・突然の地震・津波・土砂災害発生時でも教師と一緒に指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難しようとしている。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを教師と一緒に学ぼうとする。	・運動会に向けて ・特別支援学校体育大会に向けて ・地震津波土砂災害避難訓練事前事後学習 ・校外学習（公共施設の利用について）	・体育大会の狙いや日程、種目について学習し、大会に向け、体力づくりや体調管理、情緒の安定を図りながら練習に取り組む。 ・地震が起きたときの注意事項を理解し、集団で安全に落ち着いて避難行動が取れるよう、避難訓練に向け事前学習を行う。 ・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・公共施設のルールやマナーを事前学習や体験を通して学ぶ。
3学期	8	（ホームルーム活動） ・3学期の学習内容について確認することができる。 ・キャリアパスポートを通じて、教師と一緒に2学期を振り返り、3学期の新しい目標を設定することができる。 ・教師と一緒に1年間を振り返り、できるようになったこと等を確認する。 （生徒会活動） ・生徒会役員選挙告示や立ち会い演説に教師と一緒に参加し、投票することができる。 （学校行事） ・高等部の仲間として3年生と楽しい思い出を作り卒業を祝う。 ・卒業式の意義を知り、落ち着いて参加することができる。	（ホームルーム活動） ・3学期の学習内容について確認しようとする。 ・キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に2学期を振り返り、3学期の目標を考え書こうとしている。 ・教師と一緒に1年間を振り返り、できるようになったこと等を確認しようとする。 （生徒会活動） ・生徒会役員選挙告示や立ち会い演説や投票まで教師と一緒に参加しようとする様子がみられる。 （学校行事） ・3年生の卒業を祝い、喜ぶ様子がみられる。 ・卒業式の意義を知り、落ち着いて参加する態度がみられる。	・３学期に向けて ・1年間の振り返り ・生徒会役員選挙告示・投票 ・３年生を送る会 ・卒業式	・３学期の行事について知り、教師と一緒に学級の教室整備や係活動、個人目標設定を行う。 ・教師と一緒に、一年間を振り返り、目標の達成度を確認して自己肯定感を高めたり、新たな課題を確認したりする。 ・生徒会役員選挙立候補者の立ち会い演説を聞き、立候補者から選んで投票する。 ・卒業式に参加し、教師と一緒に落ち着いて最後まで式にふさわしい態度で臨む。
年間を通して		・安全で楽しく過ごすためのルールやマナーを学ぶことができる。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを学ぶことができる。	・安全で楽しく過ごすためのルールやマナーに興味をもち学ぼうとする。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを教師と一緒に学ぼうとする。	・校外学習 ：公共施設の利用 ：バス、モノレールの利用 ：遊戯施設の利用	・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・公共施設のルールやマナーを事前学習や体験を通して学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　　高等部部２年　（Ⅱ課程B）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	２学年Ⅱ課程B類型		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 集団活動の意義や活動する上で必要となることについて理解し、多様な他者と協働していく方法を身につける。 (思判表力) 学校での集団や自己の生活から人間関係の課題を見つけ出し、解決するために話し合いを行ったり、意思決定をしたりすることができるようにする。 (学･人) 多様な他者との集団活動を通してよりよい人間関係を形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、周りと協力しながら自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(ホームルーム活動) ・新しい学級の雰囲気に慣れ、積極的に学級活動に取り組むことができる。 ・１学期の学習内容について確認することができる。 ・キャリアパスポートを教師と一緒に作成活用することができる。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけることができる。 ・夏休みの過ごし方について確認することができる。	(ホームルーム活動) ・新しい学校生活に慣れ、積極的に学級活動に取り組もうとしている。 ・１期の学習内容について確認しようとする。 ・キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に1学期の目標を考え書こうとしている。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけようとしている。 ・夏休みの過ごし方について教師と一緒に確認しようとしている。	・学級開き ・学年開き ・1学期の振り返り及び夏休みの過ごし方について	・1学期の行事や学習内容について教師と一緒に確認し、個人目標や自己紹介シートの記入、係活動の話し合いや掲示物作製、教室整備などの学級活動に取り組む。 ・自分で立てた目標やキャリアパスポートを確認しながら達成できたかどうか教師と一緒に振り返り、未達成の課題や新しい課題を見つける。夏休みを安全に有意義に過ごすための目標を教師と一緒に立てる
		(生徒会活動) ・生徒会の活動内容に教師と一緒に積極的に参加することができる。	(生徒会活動) ・生徒会の活動内容に教師と一緒に積極的に参加しようする態度がみられる。	・新入生歓迎会 ・生徒総会に向けて	・生徒会の説明をよく聞き、新入生や在校生の自己紹介及びゲームで仲良く交流する。 ・生徒会の仕事内容を聞き、生徒総会をはじめ生徒会活動に参加する。
		(学校行事) ・健全な発達や心身の健康に関心を持つことができる。 ・突然の火災発生時でも、教師と一緒に指示をよく聞き、安全かつ迅速に行動して避難できる。	(学校行事) ・教師と一緒に落ち着いて身体測定や内科検診を受けようとしている。 ・突然の火災発生時でも、教師と一緒に指示に従い、安全かつ迅速に行動して避難しようとしている。	・内科検診 ・火災避難訓練事前事後学習	・検診の結果を通して、自分の健康状態を把握し、教師と一緒に生活習慣の見直しを行う。 ・防災に対する意識を高め、非常時でも指示を聞きながら安全に行動できるように訓練を行う。

2学期	14	（ホームルーム活動） ・2学期の学習内容について確認することができる。 ・キャリアパスポートを通じて、教師と一緒に1学期を振り返り、2学期の新しい目標を設定することができる。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけることができる。 ・冬休みの過ごし方について確認する。 （生徒会活動） ・他校との交流協働学習を通して、人との関わりを学び適切な関わり方を学ぶことができる。	（ホームルーム活動） ・2学期の学習内容について確認しようとする。 ・キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に１学期を振り返り、2学期の目標を考え書こうとしている。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけようとしている。 ・冬休みの過ごし方について教師と一緒に確認しようとしている。 （生徒会活動） ・他校との交流協働学習を通して、人との関わりを学び適切な関わり方を学ぼうとする態度がみられる。	・2学期に向けて ・2学期の振り返りと冬休みの過ごし方 ・交流協働学習	・学級の教室整備や係活動、目標設定に教師と一緒に参加しながら取り組む。 ・自分で立てた目標を達成できたかどうか教師と一緒に振り返り、未達成の課題や新しい課題を見つける。 ・冬休みを安全に有意義に過ごすための目標を教師と一緒に立てる。 ・交流高と交流を深め互いに協力して学習活動を行えるように、教師と一緒に活動内容を考え準備する。
2学期	14	（学校行事） ・体育大会の日程やねらいを知り、情緒の安定を図りながら、教師と一緒に特体連体育大会に意欲的に参加できる。 ・突然の地震・津波・土砂災害発生時でも教師と一緒に指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難できるようにする。 ・安全で楽しい旅行にするためのルールやマナーを学ぶ。	（学校行事） ・体育大会の日程やねらいに関心を示す。 ・教師と一緒に特体連体育大会に意欲的に参加しようとする姿がみられる。 ・突然の地震・津波・土砂災害発生時でも教師と一緒に指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難しようとしている。 ・修学旅行に関するルールやマナー学習に興味関心を示している。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを教師と一緒に学ぼうとする。	・特別支援学校体育大会に向けて ・地震津波土砂災害避難訓練事前事後学習 ・修学旅行に向けて ・校外学習（公共施設の利用について）	・体育大会の狙いや日程、種目について学習し、大会に向け、体力づくりや体調管理、情緒の安定を図りながら練習に取り組む。 ・地震が起きたときの注意事項を理解し、集団で安全に落ち着いて避難行動が取れるよう、避難訓練に向け事前学習を行う。 ・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・公共施設のルールやマナーを事前学習や体験を通して学ぶ。

3学期	8	（ホームルーム活動） ・3学期の学習内容について確認することができる。 ・キャリアパスポートを通じて、教師と一緒に2学期を振り返り、3学期の新しい目標を設定することができる。 ・教師と一緒に1年間を振り返り、できるようになったこと等を確認する。 （生徒会活動） ・生徒会役員選挙告示や立ち会い演説に教師と一緒に参加し、投票することができる。 （学校行事） ・高等部の仲間として3年生と楽しい思い出を作り卒業を祝う。 ・卒業式の意義を知り、落ち着いて参加することができる。	（ホームルーム活動） ・3学期の学習内容について確認しようとする。 ・キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に2学期を振り返り、3学期の目標を考え書こうとしている。 ・教師と一緒に1年間を振り返り、できるようになったこと等を確認しようとする。 （生徒会活動） ・生徒会役員選挙告示や立ち会い演説や投票まで教師と一緒に参加しようとする様子がみられる。 （学校行事） ・3年生の卒業を祝い、喜ぶ様子がみられる。 ・卒業式の意義を知り、落ち着いて参加する態度がみられる。	・３学期に向けて ・1年間の振り返り ・生徒会役員選挙告示・投票 ・３年生を送る会 ・卒業式	・３学期の行事について知り、教師と一緒に学級の教室整備や係活動、個人目標設定を行う。 ・教師と一緒に、一年間を振り返り、目標の達成度を確認して自己肯定感を高めたり、新たな課題を確認したりする。 ・生徒会役員選挙立候補者の立ち会い演説を聞き、立候補者から選んで投票する。 ・卒業式に参加し、教師と一緒に落ち着いて最後まで式にふさわしい態度で臨む。
年間を通して		・安全で楽しく過ごすためのルールやマナーを学ぶことができる。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを学ぶことができる。	・安全で楽しく過ごすためのルールやマナーに興味をもち学ぼうとする。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを教師と一緒に学ぼうとする。	・校外学習 ：公共施設の利用 ：バズ、モノレールの利用 ：遊戯施設の利用	・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・公共施設のルールやマナーを事前学習や体験を通して学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　　高等部　　３年　（Ⅱ課程B）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部３学年ⅡＢ		PowerPoint、動画等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 様々な集団活動を通して、自己や他者と協働することの大切さを知り、行動の仕方を身に付ける。 (思判表力) 集団生活や集団活動から課題を見いだし、解決するために話し合ったり意思決定したりすることができるようにする。 (学･人) 様々な集団活動を通して、集団の一員としての自覚と責任感を高め、よりよい学校生活づくりに参加し、協力できる自主的、実践的な態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(ホームルーム活動) ・学校生活に慣れ、積極的に学級活動に取り組むことができる。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけることができる。 ・夏休みの過ごし方について確認することができる。	(ホームルーム活動) ・学校生活に慣れ、積極的に学級活動に取り組もうとしている。 ・教師と一緒に目標を振り返り、評価を基に課題を見つけようとしている。 ・夏休みの過ごし方について教師と一緒に確認しようとしている。 [評価資料] ・学年開きPP ・夏休みの過ごし方講話	・学級開き ・1学期の振り返り及び夏休みの過ごし方について	・1学期の行事や学習内容について教師と一緒に確認し、個人目標や自己紹介シートの記入、係活動の話し合いや掲示物作製、教室整備などの学級活動に取り組む。 ・自分で立てた目標を達成できたかどうか教師と一緒に振り返り、未達成の課題や新しい課題を見つける。夏休みを安全に有意義に過ごすための目標を教師と一緒に立てる
		(生徒会活動) ・生徒会の活動内容に教師と一緒に積極的に参加することができる。 ・交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。	(生徒会活動) ・生徒会の活動内容に教師と一緒に積極的に参する態度が見られる。 ・交流を通して、よりよい人間関係を形成することができている。	・新入生歓迎会 ・沖縄ろう学校との交流会 ・生徒総会に向けて	・生徒会の説明をよく聞き、新入生や在校生の自己紹介及びゲームで仲良く交流する。 ・隣接する沖縄ろう学校の生徒と活動を通して交流を深める。 ・生徒会の仕事内容を聞き、生徒総会をはじめ生徒会活動に参加する。
		(学校行事) ・健全な発達や心身の健康に関心を持つことができる。 ・突然の火災発生時でも､教師と一緒に指示をよく聞き、安全かつ迅速に行動して避難できる。 ・安全で楽しい校外学習にするためのルールやマナーを学ぶ。	(学校行事) ・教師と一緒に落ち着いて身体測定や内科検診を受けようとする。 ・突然の火災発生時でも､教師と一緒に指示に従い、安全かつ迅速に行動して避難しようとしている。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを教師と一緒に学ぼうとする。 [評価資料] ・事前事後動画、PP	・内科検診 ・火災避難訓練事前事後学習 ・校外学習(公共施設の利用)	・検診の結果を通して、自分の健康状態を把握し、教師と一緒に生活習慣の見直しを行う。 ・防災に対する意識を高め、非常時でも指示を聞きながら安全に行動できるように訓練を行う。 ・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・公共施設のルールやマナーを事前学習や体験を通して学ぶ。
2学期	14	(ホームルーム活動) ・2学期の学習内容を確認することができる。 ・キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に2学期の目標設定ができる。 ・冬休みの過ごし方について確認する。	(ホームルーム活動) ・教師と一緒に2学期の学習内容を確認しようとする。 ・教師と一緒に2学期の目標を考え一緒に書くことができる。 ・冬休みの過ごし方について確認しようとする。 [評価資料] ・学年開きPP ・冬休みの過ごし方講話	・2学期に向けて ・2学期の振り返りと冬休みの過ごし方	・学級の教室整備や係活動、目標設定に教師と一緒に参加しながら取り組む。 ・自分で立てた目標を達成できたかどうか教師と一緒に振り返り、未達成の課題や新しい課題を見つける。冬休みを安全に有意義に過ごすための目標を教師と一緒に立てる。
		(生徒会活動) ・他校との交流協働学習と通して、人との関わりを学び適切な関わり方を学ぶことができる。	(生徒会活動) ・他校との交流協働学習と通して、人との関わりを学び適切な関わり方を学ぶことができる。	・県立高校交流会（北谷高校、球陽高校、宜野湾高校）	・交流高と交流を深め互いに協力して学習活動を行えるように、教師と一緒に活動内容を考え準備する。
		(学校行事) ・運動会や体育大会のねらいを知り、体調や情緒の安定を図りながら、教師と一緒に意欲的に参加できる。 ・突然の地震・津波・土砂災害発生時でも教師と一緒に指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難できるようにする。	(学校行事) ・運動会や体育大会の日程やねらいに関心を示す。 ・教師と一緒に特体連体育大会に意欲的に参加する様子が見られた。 ・突然の地震・津波・土砂災害発生時でも教師と一緒に指示を聞き、安全かつ迅速に行動して避難しようとしている。	・運動会 ・特別支援学校体育大会に向けて ・地震津波土砂災害避難訓練事前事後学習	・運動会や体育大会の狙いや日程、種目について学習し、大会に向け、体力づくりや体調管理、情緒の安定を図りながら練習に取り組む。 ・地震が起きたときの注意事項を理解し、集団で安全に落ち着いて避難行動が取れるよう、避難訓練に向け事前学習を行う。

3学期	8	（ホームルーム活動） ・教師と一緒に３学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。 ・教師と一緒に３学期の目標設定ができる。 ・教師と一緒に1年間を振り返り、できるようになったこと等を確認する。	（ホームルーム活動） ・教師と一緒に３学期の学習内容に興味を持っている様子がみられる。 ・教師と一緒に３学期の目標設定を考えようとする。 ・教師と一緒に1年間を振り返り、できるようになったこと等を確認しようとする。	・３学期に向けて ・1年間の振り返り	・３学期の行事について知り、教師と一緒に学級の教室整備や係活動、個人目標設定を行う。 ・教師と一緒に、一年間を振り返り、目標の達成度を確認して自己肯定感を高めたり、新たな課題を確認したりする。
		（生徒会活動） ・生徒会役員選挙告示や立ち会い演説に教師と一緒に参加し、投票することができる。	（生徒会活動） ・生徒会役員選挙告示や立ち会い演説や投票まで教師と一緒に参加しようとする様子がみられる。	・生徒会役員選挙告示・投票 ・３年生を送る会	・生徒会役員選挙立候補者の立ち会い演説を聞き、立候補者から選んで投票する。 ・教師と一緒に、自分の進路報告を行い、同学年の仲間の進路報告について聞く。各学年による余興、贈る言葉等を聞いて楽しむ。
		（学校行事） ・卒業を祝ってもらい、共に過ごした高等部の仲間と楽しい思い出をつくる。 ・卒業式の意義を知り、落ち着いて参加することができる。	（学校行事） ・卒業を祝ってもらい、喜ぶ様子がみられる。 ・卒業式の意義を知り、落ち着いて参加する態度がみられる。	・卒業式	・卒業式に参加し、教師と一緒に落ち着いて最後まで式にふさわしい態度で卒業証書授与や挨拶等に臨む。
年間を通して		・安全で楽しく過ごすためのルールやマナーを学ぶことができる。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを学ぶことができる。	・安全で楽しく過ごすためのルールやマナーに興味をもち学ぼうとする。 ・公共施設の利用の仕方やマナーを教師と一緒に学ぼうとする。	・校外学習 ・公共施設の利用 ・バス等公共の乗り物の利用 ・遊戯施設の利用	・集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・公共施設のルールやマナーを事前学習や体験を通して学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和　８年度　　高等部　1年　（Ⅱ課程A）　総合的な探求の時間　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	高等部1学年（19名）		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 校内実習や就業体験を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。（高１段階） (思判表力) 校内実習や就業体験に向けて、目標を設定すうために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。（高１段階） (学･人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・校内実習事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・校内実習の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学･人) 主体的・協働的に就業体験に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期校内実習	・校内実習を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・各班に分かれて各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。
2学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・後期校内事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・校内実習の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学･人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・後期校内実習	・校内実習を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・各班に分かれて各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。
3学期	35	(知及技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学･人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだしている。 (思・判・表) 自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。	・次年度に向けて準備しよう。 ・自分について考えよう。 ・一年間の振り返りをして次年度の目標を考えよう。	・体験したことと合わせて卒業後の進路先や自分の将来について考える。 ・様々な職種をイメージするための学習をする。 ・これまでの一年間を振り返り、課題を解決に向けて、やるべきことを見いだす。 ・次年度の取り組みたい目標を考え、発表する。
留意点引継ぎ等					

令和　８年度　高等部　２年　（Ⅱ課程A）　総合的な探求の時間　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	高等部2学年（１４名）		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 校内実習や就業体験を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。（高１段階） (思判表力) 校内実習や就業体験に向けて、目標を設定すうために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。（高１段階） (学･人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・前期就業体験・校内実習事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・前回の実習評価を読み取り、７ルールが実習でどの程度できたか自己評価する。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・就業体験の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学･人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期就業体験	・就業体験を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・就業体験先で各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。
２学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・後期就業体験事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・前回の実習評価を読み取り、７ルールが実習でどの程度できたか自己評価する。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・就業体験の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学･人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・後期就業体験	・就業体験を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・就業体験先で各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。
３学期	35	(知及技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学･人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだしている。 (思・判・表) 自分の課題を見いだし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。	・次年度に向けて準備しよう。 ・自分について考えよう。 ・一年間の振り返りをして次年度の目標を考えよう。	・体験したことと合わせて卒業後の進路先や自分の将来について考える。 ・様々な職種をイメージするための学習をする。 ・これまでの一年間を振り返り、課題を解決に向けて、やるべきことを見いだす。 ・次年度の取り組みたい目標を考え、発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和　８年度　　高等部　３年　（Ⅱ課程A）　総合的な探求の時間　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	高等部３学年（２２名）		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 校内実習や就業体験を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。（高１段階） (思判表力) 校内実習や就業体験に向けて、目標を設定すうために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。（高１段階） (学･人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・進路について ・実習前、身だしなみ週間 ・前期就業体験・校内実習事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・前回の実習評価を読み取り、７ルールが実習でどの程度できたか自己評価する。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・就業体験の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学･人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期就業体験	・就業体験を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・就業体験先で各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。
2学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・後期就業体験事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・前回の実習評価を読み取り、７ルールが実習でどの程度できたか自己評価する。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・就業体験の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学･人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・後期就業体験	・就業体験を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・就業体験先で各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。
3学期	35	(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学･人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・抽出現場実習	・体験したことと合わせて卒業後の進路先や自分のしょうらいについて考える。 ・抽出実習を行い、卒業後の進路先についてのイメージを持つ。
留意点 引継ぎ 等					

令和　８年度　高等部　1年　（Ⅱ課程Ｂ）　総合的な探求の時間　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	高等部1学年（３名）		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 校内実習や就業体験を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。（高１段階） (思判表力) 校内実習や就業体験に向けて、目標を設定すうために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。（高１段階） (学･人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・校内実習事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・校内実習の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学･人) 主体的に就業体験に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけることができた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に就業体験に取り組もうとしている。	・前期校内実習	・校内実習を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・各班に分かれて皆と一緒に活動する。
2学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・校内実習事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・校内実習の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学･人) 主体的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけることができた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に現場実習に取り組もうとしている。	・後期校内実習	・校内実習を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・各班に分かれて皆と一緒に活動する。
3学期	35	(知及技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決について、考えることができる。 (思判表力) 今後の自分の目標を考え、発表することができる。 (学･人) クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、考えることができている。 (思・判・表) 今後の自分の目標を考え、発表している。 (主学) クラスメイトのよさを理解している。	・次年度に向けて準備しよう。	・卒業後の進路先についてのイメージを持つ。
留意点 引継ぎ 等					

令和　８年度　高等部　２年　（Ⅱ課程Ｂ）　総合的な探求の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	高等部2学年（２名）		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 校内実習や就業体験を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。（高１段階） (思判表力) 校内実習や就業体験に向けて、目標を設定するために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。（高１段階） (学･人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・前期就業体験事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・就業体験の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学･人) 主体的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけることができた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期就業体験	・就業体験を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・就業体験先で各自取り組む。
２学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・後期就業体験事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・就業体験の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学･人) 主体的に就業体験に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけることができた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に就業体験に取り組もうとしている。	・後期就業体験	・就業体験を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・就業体験先で各自取り組む。
３学期	35	(知及技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決について、考えることができる。 (思判表力) 今後の自分の目標を考え、発表することができる。 (学･人) クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、考えることができている。 (思・判・表) 今後の自分の目標を考え、発表している。 (主学) クラスメイトのよさを理解している。	・次年度に向けて準備しよう。	・卒業後の進路先についてのイメージを持つ。
留意点引継ぎ等					

令和　８年度　高等部　３年　（Ⅱ課程Ｂ）　総合的な探求の時間　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	高等部３学年（１名）		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 校内実習や就業体験を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。（高１段階） (思判表力) 校内実習や就業体験に向けて、目標を設定すうために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。（高１段階） (学･人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・前期就業体験事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・就業体験の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学･人) 主体的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけることができた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期就業体験	・就業体験を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・就業体験先で各自取り組む。
２学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学･人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・後期就業体験事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・就業体験の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学･人) 主体的に就業体験に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけることができた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に就業体験に取り組もうとしている。	・後期就業体験	・就業体験を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・就業体験先で各自取り組む。
３学期	35	(知及技) 働くために必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学･人) 主体的に就業体験に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけることができた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に就業体験に取り組もうとしている。	・抽出就業体験	・就業体験を行い、卒業後の進路先についてのイメージを持つ。
留意点引継ぎ等					

令和8年度　高等部　1～3年（Ⅱ課程A・Ⅱ課程B）職業（家庭班）　年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
11/385	1～3年　Ⅱ課程A・Ⅱ課程B　13名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知乃技) 働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能を身につけることができる。(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、自らの課題を設定し、解決策を考え、学習したことを振り返り表現することができる。(高1段階) (学・人) よりよい将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとすることができる。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	137	(知及技)職業学習意義を確認し、職業生活に必要な知識や技能を身につけることができる。(高1段階) (知及技)作業課題がわかり、道具の準備や片付けができる。(中2段階) (思判表力)作業環境を自ら整えることができる。(中2段階) (思判表力)布を用いた製作に関わる学習を通して、目的に応じた縫い方ができる。(高1段階) (知及技、思判表力)用具の安全な取り扱いを理解し、適切に使用することができる。(高1段階) (学・人)布を用いたかんたんな物の製作計画を考え(対象者の性別、年齢、使用場面等)、工夫することができる。(高2段階)	(知及技)職業学習の意義を確認し、職業生活に必要な知識や技能を理解している。 (知及技)作業課題がわかり、道具の準備や片付けができている。 (思判表力)作業環境を自ら整えることができている。 (思判表力)布を用いた製作に関わる学習を通して、目的に応じた縫い方ができている。 (知及技、思判表力)用具の安全な取り扱いを理解し、適切に使用することができている。 (学・人)布を用いたかんたんな物の製作計画を考え(対象者の性別、年齢、使用場面等)、工夫することができている。 [評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/活動の様子で評価する。	①職業について ②被服実習	①職業について ・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・作業場面でのあいさつや報告・連絡・相談の実践 ②被服実習(縫製作業) ・客層と需要をしらべる ・製作計画 ・布の選択 ・裁断 ・手縫い ・ミシン縫い (ミシン、ロックミシン) ・仕上げ ・ラッピング ・販売用装飾 ・販売 ・在庫、売り上げ管理
	153	(知及技、思判表力)衛生面や安全面を理解し、身支度を整えることができる。(中2段階) (知及技、思判表力)・調理に必要な材料の分量や手順について理解し、適切に準備することができる。(中2段階) (学・人)調理計画に沿って調理の手順や方法を工夫することができる。(中2段階)	(知及技、思判表力)衛生面や安全面を理解し、身支度を整えることができている。 (知及技、思判表力)・調理に必要な材料の分量や手順について理解し、適切に準備することができている。 (学・人)調理計画に沿って調理の手順や方法を工夫することができている。 [評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/活動の様子で評価する。	②調理実習	③調理実習 ・調理計画 ・レシピの検索 ・衛生、身支度の整え ・道具の安全な使用 ・食品の取り扱い ・計量 ・菓子製作 ・片付け ・ラッピング ・販売用装飾 ・販売 ・在庫、売り上げ管理
	95	(思判表力)各学期や年間の作業を振り返り、自身の課題をみつけ、これからの目標を設定することができる。(高1段階)	(思判表力)各学期や年間の作業を振り返り、自身の課題をみつけ、目標を設定することができている。	④販売学習 ⑤学年度の振り返りと目標設定	④販売学習 ・販売ポスターの作成 ・接客と金銭の計算 ・作業記録と写真での振り返り ・売り上げの給料で計画的な購買活動を行う。 ⑤学年度の振り返り 年間の取り組み 自分の課題 目標の設定

留意点 引継ぎ等	身のまわりの整理整頓、清掃活動を年間を通して指導する。

令和 8年度　高等部　1～3 年(Ⅱ課程AB) 職業(木工班)　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
11/385	1～3年Ⅱ課程A・Ⅱ課程B　12名		なし

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	136	(知及技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解することができる。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高1段階) (思判表力) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養う。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養う。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)	(知・技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解しようとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業しようとしている。(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解しようとしている。(高1段階) (思・判・表) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養おうとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養おうとしている。(高1段階) (主・学) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養おうとしている。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養おうとしている。(高1段階)	・職業について ・木工作品について ・毎時間の活動の振り返りと自己評価 ・1学期のまとめ	・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・作業場面でのあいさつや報告・連絡・相談の実践 ・安全教育の徹底 ・木工作業で使用する道具・工具の使い方 ・木工作業の方法と手順 ・コースター、小物ボックス、ティッシュケース ・カッティングボード・おぼん・なべしき・ラック レーザー加工、ボックス、 ・振り返り学習 ・始めミーティング・終わりのミーティング

2学期	154	(知及技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解することができる。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高1段階) (思判表力) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養う。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養う。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)	(知・技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解しようとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解しようとしている。(高1段階) (思・判・表) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養おうとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養おうとしている。(高1段階) (主・学) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養おうとしている。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養おうとしている。(高1段階)	・職業について ・木工作品について ・毎時間の活動の振り返りと自己評価 ・2学期のまとめ	・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・作業場面でのあいさつや報告・連絡・相談の実践 ・安全教育の徹底 ・木工作業で使用する道具・工具の使い方 ・木工作業の方法と手順 ・サイドワゴン、テーブル、椅子、スパイスラック ・スマホスピーカー、マルチラック、ダストボックス ・ ・振り返り学習 ・始めミーティング・終わりのミーティング
		(知及技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解することができる。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高1段階) (思判表力) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養う。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。(高1段階)	(知・技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解しようとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解しようとしている。(高1段階) (思・判・表) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養おうとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力	・職業について ・木工作品について ・毎時間の活動の振り返りと自己評価 ・1年間のまとめ	・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・作業場面でのあいさつや報告・連絡・相談の実践 ・安全教育の徹底 ・木工作業で使用する道具・工具の使い方 ・木工作業の方法と手順 ・サイドワゴン、テーブル、椅子、スパイスラック ・スマホスピーカー、マルチラック、ダストボックス ・サイドテーブル ・振り返り学習 ・始めミーティング・終わりのミーティング

3学期	95	を養う。（高1段階） （学・人） 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養う。（高1段階） 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）	長や課題に沢て考え、表現する力を養おうとしている。（高1段階） （主・学） 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養おうとしている。（高1段階） 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養おうとしている。（高1段階）		
		（知及技） ・職業生活で使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して表現、記録、計算、通信等に係わるコンピュター等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方がわかり、扱うことができる。（高1段階） （思判表力） 職業生活に使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、情報セキュリティー及び情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い収集した情報をまとめ考えたことを発表する力を養う。（高1段階） （学・人） 職業生活に使われているコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫使用とする実践的な態度を養う。（高1段階）	（知及技） ・職業生活で使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して表現、記録、計算、通信等に係わるコンピュター等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方がわかり、扱おうとしている。（高1段階） （思判表力） 職業生活に使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、情報セキュリティー及び情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い収集した情報をまとめ考えたことを発表する力を養おうとしている。（高1段階） （学・人） 職業生活に使われているコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫使用とする実践的な態度を養おうとしている。（高1段階）	情報機器の活用 職業作業での活用	・販売ポスターの作成 ・アプリと活用しての販売会でのレジの活用。
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度　高等部　1～3 年（Ⅱ課程AB ）職業（産業サービス班）　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
14/385	1～3年Ⅱ課程AB		なし

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身につけるようにすること（高1段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。（高1段階） (学・人) よりよい社会生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得すること。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	137	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。（高1段階） ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。（高1段階） ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。（高1段階） (思判表力) ・校内・現場実習の成果と課題を 考えることができる。（高1段階） ・学期の活動を振り返り自己の改善点を発表する（高1段階） (学・人) ・作業内容に見通しと目標をもち、自己評価ができる。（高1段階）	(知・技) ・職業の心得や「セブンルール」を唱和し内容を理解している。 ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 ・道具の名称と使用方法が分かり、大切に取り扱うことができている。 (思・判・表) ・ワークシートや情報機器を用いて校内実習の内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめようとしている。 ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題・目標を見つけようとしている。 (主学) ・作業日誌へ記入し、自己評価することができる。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/活動の様子で評価する。	①職業について ② ・ビルメンテナンス ・喫茶サービス、カフェの運営 ③ ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内実習に関すること ・1学期のまとめ	① ・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・作業場面でのあいさつや報告・連絡・相談の実践 ・ビジネスマナーを活動の中で実践 ② ・ビルメンテナンス（清掃）で使う道具の名前や扱い方について ・接客の基本、喫茶サービス、「はなさきカフェ」の運営、地域施設でのカフェの運営 ・校外での活動（関連施設の見学、地域連携） ③ ・振り返り学習と報告会の実施
2 学 期	153	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。（高1段階） ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。（高1段階） ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。（高1段階） ・技能検定（ビルメンテナンス、喫茶サービス）への取り組みを通して働く上での基本的なマナーと挑戦する心を養う。 (思判表力) ・校内・現場実習の成果と課題を 考えることができる。（高1段階） ・学期の活動を振り返り自己の改善点を発表する（高1段階） (学・人) ・作業内容に見通しと目標をもち、自己評価ができる。（高1段階）	(知・技) ・職業の心得や「セブンルール」を唱和し内容を理解している。 ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 ・道具の名称と使用方法が分かり、大切に取り扱うことができている。 ・技能検定（ビルメンテナンス、喫茶サービス）への練習に取り組み、検定へ挑戦しようとしている。 (思・判・表) ・ワークシートや情報機器を用いて校内実習の内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめようとしている。 ・2学期を振り返り、成果と次学期への課題・目標を見つけようとしている。 (主学) ・作業日誌へ記入し、自己評価することができる。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/活動の様子で評価する。	① 職業について ② ・ビルメンテナンス ・喫茶サービス、カフェの運営 ③ 技能検定への取り組み ④ ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内実習に関すること ・2学期のまとめ	① ・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・作業場面でのあいさつや報告・連絡・相談の実践 ・ビジネスマナーを活動の中で実践 ② ・ビルメンテナンス（清掃）で使う道具の名前や扱い方について ・接客の基本、喫茶サービス、「はなさきカフェ」の運営、地域施設でのカフェの運営 ・校外での活動（関連施設の見学、地域連携） ③ 技能検定（ビルメンテナンス、喫茶サービス）での基本的な動作を確認 ④ ・振り返り学習と報告会の実施
3 学 期	95	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。（高1段階） ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。（高1段階） ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。（高1段階） ・技能検定（ビルメンテナンス、喫茶サービス）への取り組みを通して働く上での基本的なマナーと挑戦する心を養う。 (思判表力) ・年間の活動を振り返り自己の改善点を発表する（高1段階） (学・人) ・作業内容に見通しと目標をもち、自己評価ができる。（高1段階）	(知・技) ・職業の心得や「セブンルール」を唱和し内容を理解している。 ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 ・道具の名称と使用方法が分かり、大切に取り扱うことができている。 ・技能検定（ビルメンテナンス、喫茶サービス）への練習に取り組み、検定へ挑戦しようとしている。 (思・判・表) ・1年を振り返り、成果と次学年への課題・目標を見つけようとしている。 (主学) ・作業日誌へ記入し、自己評価することができる。 [評価資料] 授業プリント（振り返りシート）/活動の様子で評価する。	① 職業について ② ・ビルメンテナンス ・喫茶サービス、カフェの運営 ③ 技能検定への取り組み ④ ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・1年間のまとめ	① ・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・作業場面でのあいさつや報告・連絡・相談の実践 ・ビジネスマナーを活動の中で実践 ② ・ビルメンテナンス（清掃）で使う道具の名前や扱い方について ・接客の基本、喫茶サービス、地域施設でのカフェの運営 ・校外での活動（関連施設の見学、地域連携） ③ 技能検定（ビルメンテナンス、喫茶サービス）での基本的な動作の確認と正確性を高める ④ ・1年間の振り返りと報告会の実施

留意点 引継ぎ等	

令和 8年度　高等部　1～3 年(Ⅱ課程A) 職業(窯業班) 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
11/385	1～3年Ⅱ課程A・B　12名		なし

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 勤労に対する関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中2段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	135	(知及技) ・働くことに対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解することができる。(中2段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料の特性や扱い方及び生産課程に関わる技術について理解することができる。(高1段階) (思判表力) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養う。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養う。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)	(知・技) ・働くことに対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解しようとしている。(中2段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業しようとしている。(高1段階) ・材料の特性や扱い方及び生産課程に関わる技術について理解しようとしている。(高1段階) (思・判・表) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養おうとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養おうとしている。(高1段階) (主・学) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養おうとしている。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養おうとしている。(高1段階)	・職業について ・窯業の工程について ・毎時間の活動の振り返りと自己評価 ・1学期のまとめ	・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・作業場面でのあいさつや報告・連絡・相談の実践 ・窯業で使用する道具・工具の使い方 ・作業方法と手順 ・土くだき、皿の成形、削り、磨き、土練機作業、シーサーづくり ・振り返り学習 ・始めミーティング・終わりのミーティング

2学期	135	(知及技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解することができる。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料の特性や扱い方及び生産課程に関わる技術について理解することができる。(高1段階) (思判表力) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養う。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養う。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)	(知・技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解しようとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業しようとしている。(高1段階) ・材料の特性や扱い方及び生産課程に関わる技術について理解しようとしている。(高1段階) (思・判・表) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養おうとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養おうとしている。(高1段階)	・職業について ・窯業の工程について ・毎時間の活動の振り返りと自己評価 ・2学期のまとめ	・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・作業場面でのあいさつや報告・連絡・相談の実践 ・窯業で使用する道具の使い方 ・窯業の方法と手順 ・撥水剤の使い方、釉薬の扱い方、成形、削り、磨き ・振り返り学習 ・始めミーティング・終わりのミーティング

3学期	99	(知及技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解することができる。(中2段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料の特性や扱い方及び生産課程に関わる技術について理解することができる。(高1段階) (思判表力) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養う。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 働くことに対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養う。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(中2段階)	(知・技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解しようとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業しようとしている。(高1段階) ・材料の特性や扱い方及び生産課程に関わる技術について理解しようとしている。(高1段階) (思・判・表) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養おうとしている。(高1段階) ・働くことに関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養おうとしている。(中2段階)	・職業について ・焼き物について ・毎時間の活動の振り返りと自己評価 ・1年間のまとめ	・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・作業場面でのあいさつや報告・連絡・相談の実践 ・作業で使用する道具・工具の使い方 ・窯業の方法と手順 ・大皿の成形、撥水剤の使い方、釉薬の扱い方、削り、磨き ・振り返り学習 ・始めミーティング・終わりのミーティング
		(知及技) ・職業生活で使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して表現、記録、計算、通信等に係わるコンピュター等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方がわかり、扱うことができる。(高1段階) (思判表力) 職業生活に使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、情報セキュリティー及び情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い収集した情報をまとめ考えたことを発表する力を養う。(高1段階) (学・人) 職業生活に使われているコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫使用とする実践的な態度を養う。(中2段階)	(知及技) ・職業生活で使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して表現、記録、計算、通信等に係わるコンピュター等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方がわかり、扱おうとしている。(高1段階) (思判表力) 職業生活に使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、情報セキュリティー及び情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い収集した情報をまとめ考えたことを発表する力を養おうとしている。(高1段階) (学・人) 職業生活に使われているコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫使用とする実践的な態度を養おうとしている。(中2段階)	情報機器の活用	・販売学習 販売ポスターの作成 iPadを使った販売会でのレジの活用。 作業記録の撮影と写真での振り返り ・購買学習 売り上げの給料で、計画的な購買活動を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度　高等部　1～3 年(Ⅱ課程A) 職業(農業班) 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
11/385	1～3年Ⅱ課程AB　12名		なし

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	136	(知及技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解することができる。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高1段階) (思判表力) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養う。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養う。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)	(知・技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解しようとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業しようとしている。(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解しようとしている。(高1段階) (思・判・表) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養おうとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養おうとしている。(高1段階) (主・学) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養おうとしている。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養おうとしている。(高1段階)	職業について 毎時間の振り返りと自己評価 野菜の栽培管理、収穫、販売 草花・観葉植物の栽培管理、販売 1学期のまとめ	・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・学期毎に個人目標を立てる。 ・始めのミーティング、反省会 ・栽培管理の指導(播種、鉢上げ、挿し木、施肥、鉢替え、定植、誘引、整枝、中耕、除草、収穫、調整、灌水、環境整備など) ・安全教育の確認(台車、はさみ、カマ、ショベル等を安全に使用することができる。) ・堆肥の運搬、鉢運び、収穫物の運搬 ・野菜の収穫、販売準備(調整、計量、袋詰め、ラベル貼り) ・販売学習(陳列、接客応対、商品の説明、計算、金銭管理) ・日々の天気に関心を持ち、雨天時の作業内容や注意することを考える事ができる。また、台風が接近した時には、台風対策が必要かどうか判断し、実行することができる。 ・作物の調理方法や野菜の栄養成分を調べ、販売時に商品アピールができるる。 ・作物の調理方法を調べたり、調理器具や資材の正しい使用方法を学習する。 ・儀式における草花の装飾や学校美化に取り組む。 ・学期末ごとに振り返りを行い、次学期、次年度の課題を確認して発表する。
2 学 期	154	(知及技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解することができる。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高1段階) (思判表力) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養う。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養う。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)	(知・技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解しようとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解しようとしている。(高1段階) (思・判・表) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養おうとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養おうとしている。(高1段階) (主・学) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養おうとしている。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養おうとしている。(高1段階)	職業について 毎時間の振り返りと自己評価 野菜の栽培管理、収穫、販売 草花・観葉植物の栽培管理、販売 2学期のまとめ	・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・学期毎に個人目標を立てる ・始めのミーティング、反省会 ・栽培管理の指導(播種、鉢上げ、挿し木、施肥、鉢替え、定植、誘引、整枝、中耕、除草、収穫、調整、灌水、環境整備など) ・安全教育の確認(台車、はさみ、カマ、ショベル等を安全に使用することができる) ・堆肥の運搬、鉢運び、収穫物の運搬 ・野菜の収穫、販売準備(調整、計量、袋詰め、ラベル貼り) ・販売学習(陳列、接客応対、商品の説明、計算、金銭管理) ・日々の天気に関心を持ち、雨天時の作業内容や注意することを考える事ができる。また、台風が接近した時には、台風対策が必要かどうか判断し、実行することができる。 ・作物の調理方法や野菜の栄養成分を調べ、販売時に商品アピールができるる。 ・作物の調理方法を調べたり、調理器具や資材の正しい使用方法を学習する。 ・儀式における草花の装飾や学校美化に取り組む。 ・学期末ごとに振り返りを行い、次学期、次年度の課題を確認して発表する。

3 学 期	95	(知及技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解することができる。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高1段階) (思判表力) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養う。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養う。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)	(知・技) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して、勤労の意義を理解しようとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。(高1段階) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる(高1段階) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解しようとしている。(高1段階) (思・判・表) ・勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習活動の目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現する力を養おうとしている。(高1段階) ・職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して自分の成長や課題について考え、表現する力を養おうとしている。(高1段階) (主・学) 勤労に対する意欲や関心を高め、他者との協働して取り組む作業や実習等を通して達成感を得て、計画性を持って主体的に取り組む態度を養おうとしている。(高1段階) 職業に関する事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会の参画い向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養おうとしている。(高1段階)	職業について 毎時間の振り返りと自己評価 野菜の栽培管理、収穫、販売 草花・観葉植物の栽培管理、販売 1年間のまとめ	・働くことの目的、意義について ・「セブンルール」の確認 ・学期毎に個人目標を立てる。 ・始めのミーティング、反省会 ・栽培管理の指導(播種、鉢上げ、挿し木、施肥、鉢替え、定植、誘引、整枝、中耕、除草、収穫、調整、灌水、環境整備など) ・安全教育の確認(台車、はさみ、カマ、ショベル等を安全に使用することができる。) ・堆肥の運搬、鉢運び、収穫物の運搬 ・野菜の収穫、販売準備(調整、計量、袋詰め、ラベル貼り) ・販売学習(陳列、接客応対、商品の説明、計算、金銭管理) ・日々の天気に関心を持ち、雨天時の作業内容や注意することを考える事ができる。また、台風が接近した時には、台風対策が必要かどうか判断し、実行することができる。 ・作物の調理方法や野菜の栄養成分を調べ、販売時に商品アピールができるる。 ・作物の調理方法を調べたり、調理器具や資材の正しい使用方法を学習する。 ・儀式における草花の装飾や学校美化に取り組む。 ・学期末ごとに振り返りを行い、次学期、次年度の課題を確認して発表する。
年間を通して		(知及技) ・職業生活で使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して表現、記録、計算、通信等に係わるコンピューター等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方がわかり、扱うことができる。(高1段階) (思判表力) 職業生活に使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、情報セキュリティー及び情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い収集した情報をまとめ考えたことを発表する力を養う。(高1段階) (学・人) 職業生活に使われているコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫使用する実践的な態度を養う。(高1段階)	(知及技) ・職業生活で使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して表現、記録、計算、通信等に係わるコンピューター等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方がわかり、扱おうとしている。(高1段階) (思判表力) 職業生活に使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、情報セキュリティー及び情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い収集した情報をまとめ考えたことを発表する力を養おうとしている。(高1段階) (学・人) 職業生活に使われているコンピューター等の情報機器を扱うことに関する学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫使用する実践的な態度を養おうとしている。(高1段階)	情報機器の活用 職業作業での活用	・情報機器の基本操作を学び記録や計算の仕方や画像、情報を取得しまとめ発表することができる。 ・販売ポスターや表示物の作成
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　高等部　　１～３年　（Ⅱ課程Ｂ）　生単　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1,2.3年105	高等部１～３学年Ⅱ課程Ｂ類型		教師作成プリント、地図帳、動画等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）・生活に関わることや、問題解決のための様々な体験的な学習活動を通して知識や技能を身に付ける。（高１段階） (思判表力)・様々な体験的な学習活動を活かして、よりよく生きるために必要な判断力を養う。（高１段階） (学・人)・将来の社会生活に向けて、目標を持ち、見通しを持って積極的に取り組む態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期～3学期		（家庭） （知･技） 衣食住に係わる学習に興味関心を持つことができる。(高１段階) （思判表力） 家庭科に関する内容でやってみたいこと、作りたいこと等を考えたり伝えたりすることができる。(高１段階) （主学） お約束や使用する道具等に関心を示し、教師と一緒に安全に使用することができる。(高１段階)	（知･技） 衣食住に係わる学習に興味関心を示している。 （思判表力） 家庭科に関する内容でやってみたいこと、作りたいこと等を伝えようとする。 （主学） お約束や使用する道具等に関心を示している。道具を教師と一緒に安全に使用することができる。	B　衣食住の生活 ウ調理の基礎	・作って食べよう ：栽培学習 ：育てた野菜の調理 ・調理実習 ：簡単なお菓子作り ：日常食作り
		(英語) （知及技）英語の音声や文字、表現などについて、日本語と英語との違いに気付くことができる。（高１段階） （思判表力）身近で簡単な事柄について、音声で充分に慣れ親しんだ語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりすることができる。（高１段階） （学・人）外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高１段階）	(知・技)英語を聞いて、対象物を選択したり、教師の動作に注目することができる。 (思・判・表)教師の言葉掛けに対して、発声や表情の変化で応答しようとしている。 (主学）関心をもって主体的に活動したり、教師の働きかけに応じて発声する等、活動に参加しようとしている様子が見られる。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・あいさつ ・ハロウィン ・クリスマス ・歌 ・ALTとの交流	・日本語でもなじみのある歌や季節の行事にちなんだ歌を取りあげる。 ・給食をALTと一緒に食べる。
		(情報) （知及技）情報機器の簡単な操作ができる。(高１段階) （思判表力）必要な情報を選択したり、活用できる。(高１段階) （学・人）適切に情報を活用することができる。(高１段階)	(知・技)情報機器の簡単な操作をしようとしている。 (思・判・表)必要な情報を選択したり、活用しようとしている。。 (主学）適切に情報を活用しようとしている。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	・タブレット端末の操作 ・タブレット端末を活用したインターネット閲覧および選択 ・タブレット端末を活用した写真動・画等の閲覧および選択	・タブレットの操作 ・動画や写真を通した振り返り

留意点 引継ぎ等	・学習の進度によって内容が前後する場合がある。 ・実習・実験・観察を伴う学習は生徒の実態に応じて行う。